千葉醫學會雜誌 第一部

第九卷 第四號

昭和六年 四月

原　著

實驗的家兎黴毒の研究補遺（第3回報告）

臨床的症候と其の血清反應に就て

千葉醫科大學細菌學教室（主任 緒方 教授）

茅　野　要　治

目　次

第1章 緒　論
第1項 臨床的症候
第2項 血清反應
第2章 實驗方法
第1項 實驗家兎
第2項 實驗材料
第3項 實驗時期
第4項 接種部位及び術式
第5項 睪丸切除
第6項 再接種
第7項 リポイド蛋白注射
第8項 血清反應檢査法
第9項 觀察要項
第3章 實驗成績
第1項 實驗例に於ける臨床的症候及び其の血清反應との概要
第2項 睪丸實質內接種によるもの
第3項 睪丸實質內接種を施し局所發病後之を摘出せるもの
第4項 腹腔內接種によるもの
第5項 靜脈內接種によるもの
第6項 前房內接種によるもの
第7項 硬腦膜下に接種せるもの
第8項 腦實質內接種によるもの
第9項 脾臟內接種によるもの
第10項 血清反應と實驗家兎黴毒との關係
第11項 リポイド蛋白注射と血清反應との關係
第12項 再接種と血清反應との關係
第4章 總括及び考按
第5章 結　論
主要文獻
附　圖

第1章 緒　論

黴毒の爲めに人類の被る慘害は實に結核と共に絶大なるものにして，其蔓延は一國の盛衰に深甚なる關係を有するを以て，文明諸國は目して二大亡國病となし，之が豫防撲滅に對し其

力を傾注しつゝある現狀なり。而して黴毒に對しては我國に於ても夙に花柳病豫防協會の設立，花柳病豫防法の實施等を見たれども，前途尙未だ遠きの憾無くんばあらず。

Schaudin u. Hoffmann (1905) による黴毒病原体の發見，Bertarelli (1906) による實驗的家兎黴毒の確立，Wassermann, Neisser u. Bruch (1906) 等の補体結合反應を黴毒の診斷に應用せる事績等は，黴毒學現時の進境に到達する上に於て貢獻する所洵に大なりと謂ふべし。

實驗的家兎黴毒は Bertarelli が家兎に對して感染を確立せし以來，幾多の研究家續出し，就中 Uhlenhuth u. Mulzer (1913) の廣汎なる研究により，家兎は黴毒に對して頗る感受し易き動物にして，適當なる方法を以てすれば人間の黴毒と全く同樣なる病變を局所のみならず，全身に發現せしめ得る事立証せられ，玆に黴毒學上一大進步を爲し，黴毒に對する試驗動物としては家兎が最も可なる事今日一般の承認する所となれり，斯くして實驗家兎黴毒に於ける臨床的症候並びに其の經過に就ては幾多の業績出でたれども，家兎の身体諸部に接種せるものに於て，其各部に就き其局所並びに全身症候と共に之等のものを總括し，全般に亘りて詳細に而かも系統的に研究報告せられしものは決して多からず，又一方に於て，血淸反應は家兎に於ては健康なるものに屢々陽性に現はれ所謂非特異性反應なる現象ある事と，他の一面に於て人類黴毒に於ける病毒の持續とワ氏反應との關係の如く，家兎黴毒に於ては必ずしも相伴はざる點あるが爲め，血淸學的價値に就きては從來諸家の所說一致せず。

著者は黴毒の通過毒を家兎の身体諸部，即ち睪丸實質內，腹腔內，靜脈內，前房內，硬腦膜下，腦實質內及び脾臟內（諸表皮より接種せしものは前回報告せり）に接種し，睪丸內接種によるものに於ける實驗例の約半數は睪丸に病竈形成後之を摘出せり。斯る實驗家兎黴毒に於ける局所並びに全身症候，及び其血淸反應を各個に就き可及的長期に亘り詳細なる觀察を遂げ，更に此等のものを綜合して系統的研究を試みたり。

血淸反應は，前回に報告せるが如き可及的特異反應の發現に障碍を與へずして，非特異性反應を除かんが爲めに，著者の採用せるワ氏反應變法及び沈降溷濁反應としては最も簡單にして，我邦に於て專ら用ひらるゝ所の村田氏反應の變法を應用せり，又再接種によるものゝ血淸反應其他實驗例に於て，臨床的症候去り血淸反應も已に陰性となりたるものに對しリポイド蛋白の注射を試み，此ものの血淸反應に及ぼす影響等をも追究せり。

本實驗に於て實驗例の比較的豐富なる事，實驗方法の系統的なる事及び其血淸反應を持續して長期に亘りて追究せる事等の諸點は，從來の報告に比すれば此の方面に於ける諸多の疑問を闡明せんが爲めには少くも一段の進境を示めし得たるものと信ず，若し夫れ再接種後の血淸反應の變遷及びリポイド蛋白注射の血淸反應に及ぼす影響に就ては，本篇に於ては簡單に事實の梗概を報告するに止め他日筆を改めて詳述せんと欲す。

第1項　臨床的症候

接種材料としての菌株 (Noguchi, Pfeiffer, Mulzer, Faunier u. Schwarz, Kolle, 著者), 通過世代 (Uhlenhuth u. Mulzer, 谷, 柿下及び齋藤), 家兎の種類 (Bertarelli, Finkelstein, Steiner, 柿下及び齋藤, 著者), 家兎の年齢 (Uhlenhuth u. Mulzer, Chesney, Grossmann, 下田及び本田, 谷及び井上), 家兎の性 (Chesney, 安達及び阿部), 家兎の營養狀態 (安達, 著者), 接種量 (Neisser, Uhlenhuth u. Mulzer, Chesney u. Kemp, Wakerlin, 谷及び井上, 本田), 接種季節 (赤津, 安達, Brown u. Pearce, 土門及び下田, 橋口, 柿下, 著者), 其の他接種部位等の諸因子が, 實驗家兎黴毒に於て其の陽性率及び臨床的症候等に影響を及ぼす事實は, 既に多數の研究家によりて論議せられたる所なり, 就中, 接種部位が其現はるる所の症候に至大の關係を有する事は凡ての研究家の首肯する所にして, 今之に關し從來報告せられたる文獻に就きて總括的說明を試みんと欲す。

睪丸及び陰囊接種　接種方法

Parodi は1907年に黴毒性丘疹の小片を家兎睪丸漿膜下に接種し, 4週間後に多數のパルリダを含有せる硬き滲潤を有する定型的初期硬結の發生を見たり, 之を以て黴毒の睪丸接種に成功せる嚆矢と爲す。

次で Neisser (1908), Truffi (1908), Hoffmann, Löhe u. Mulzer (1908) 等の諸家も本法によりて, 人間の病竈よりの吸引血淸及び動物より同樣の材料を用ひて家兎の陰囊に定型的初期硬結を發生せしめ得たり。

Ossola (1908) は家兎の黴毒性角膜炎の小片を家兎の陰囊皮下に挿入し置き定型的初期硬結を生ぜしめ, Levaditi u. Yamanouchi (1908) は家兎の陰囊及び包皮下に皮囊を造り黴毒性角膜炎の小組織片を挿入し陽性成績を擧げ, Truffi (1909) はパルリダ含有の乳劑を家兎の陰囊皮下に注射して該部に初期硬結を生ぜしめ, Brown u. Pearce (1913), Uhlenhuth u. Mulzer (1913), 赤津 (1921) 等も亦本法による實驗を報告せり, 尙 Truffi (1909) が人體より黴毒性液汁を家兎の睪丸實質內に注射して該部に黴毒性變化を起さしめて以來, 本法は Mezincescu, Grouven, Tomasczewski, Wiman, Ossola, Armann, Blumenthal u. Meyer, Finkelstein, Fruhwald, Gratz u. Delbanko, Dancla, u. Stroe, Colombo, Zinsser, Hopkins u. M. C. Burney, Reasoner, Nichols, Noguchi, Uhlenhuth u. Mulzer, Koch, Aumann 等多數の研究家によりて多方面に應用せられたり。

Truffi (1909) は又家兎の陰囊皮膚に亂切を施したる後材料を塗擦して黴毒を感染せしめ得たる事を發表してより, Hoffmann, Uhlenhuth, Bergel, Everson, Nicols u. Walker, Manteufel u. Worms, Chesney u. Kemp, Brown & Pearce 等も相踵で本法に成功し, Faunier u. Schwarz (1921) は本法によりて其の現はるゝ所の反應狀況により, 種々のパルリダの菌株の區別可能なりと云へり。

Kolle (1926) も同樣の試驗を反覆したり, 即ち Truffi-Stamm を以ては概して感染せざりしも, Nicolis-Stamm を以てせるに高き感染の陽性率を示したり。

Toasmzewski (1910) は初期硬結を簡單に且つ確實に發生せしめんが爲に, 先づ腹部を壓して睪丸を陰囊內に送出したる後陰囊皮膚を緊張せしめ, 之に小創口を造り狹き鈍性のラスパトリウムを以てし, 皮下に細長の皮囊を形成し此の中に材料の小組織片を挿入し置きたるに, 每常10乃至18日の後に該組織片の周圍に炎症浸潤を伴へる硬結を來し, 漸次中央部の皮膚非薄となり遂に壞疽性潰瘍に陷れる事を實驗し, 同樣の事實は Uhlenhuth u. Mulzer (1913), Brown & Pearce (1920), 赤津 (1921), 安達 (1925), 本多 (1928)

等多數の研究家によりて多方面の研究に資せられたり。

Chesney (1923) は陰囊の皮内注射に於て陽性成績を擧げ，谷，柿下，齋藤 (1929)，齋藤 (1929)，著者等も亦本法の陽性率佳良なる事を報告せり。

要するに，睪丸並びに陰囊に微毒を感染せしむるの方法は次の如く大別し得可し。

a．睪丸に對しては

1) 挿入法。微毒組織の小片を睪丸莢膜下及び睪丸實質内に挿入す。

2) 注射法。トレポネーマパルリダを多數に含有する病竈組織より乳劑を造り之を睪丸實質内に注射す。

b．陰囊に對しては

1) 挿入法。微毒組織の小切を陰囊皮下に挿入す。

2) 亂切法。陰囊皮膚を亂切してパルリダを含有する材料を塗擦す。

3) 注射法。陰囊下若くは皮内に注射す。

之等の諸法は既述せる如く諸家によりて諸方面に應用せられ，其の方法の異なるに從ひ現はるゝ所の臨床的症候にも差違あり，隨って研究の目的如何によりて何れも一長一短あるを免れず，而して初期硬結の研究に於ては陰囊を用ふるを便とするも，外表に露出するを以て雜菌の混入する機會多く，培養又は Stamm とするには不適當なり，之に反し，睪丸實質接種法は多量の材料を得る利ありて，雜菌混入の惧なく無菌的に處理し得るを以て，培養又は Stamm とするには極めて適當せるも，時には（殊に夏季に於て）睪丸の腫脹輕微にして熟達せる手を以てしても毎週2回觸診せざれば看過する場合に遭遇する事あり。

抑も實驗微毒は Bertarelli (1906) により家兎の角膜及び前房内に感染を確立せるを以て嚆矢を爲すと雖も，此種の方法は比較的長經過をとるのみならず，該部より病毒材料たる菌株を採取するに際し，睪丸を應用せるものに比して不便なるのみならず，其の收獲量甚だ僅少なり。

睪丸よりの感染試驗は Parodi (1907) が初めて成功せしも，Uhlenhuth u. Mulzer (1913) が1909乃至1912に亘りて廣汎なる範圍に系統的研究を遂げ，以て菌株を容易に保存し之を隨時豐富に採取して多方面に應用する事を得たる結果，實驗微毒現在の進境に到達する基礎を樹立せるものにして，其の功績たるや寔に偉大なりと謂ふ可し。此の邊の消息は，恰も恙蟲の研究に當りて緒方，海野等が其病毒を家兎睪丸に累代移植して病毒の保存に成功したるのみならず，該法により思ふまゝに豐富なる菌株を得て系統的研究を遂げ，其病毒の本体がリツケチア様小体なる事を認め，之を各種の研究に際し容易に應用し得て本研究の基礎を樹立せられたるの功績に彷彿たり。

局　所　症　候

潛　伏　期

接種部位が睪丸なると陰囊なるとを問はず，接種後局所の症候の現はるゝに至る迄の期間，即ち潛伏期並びに其の陽性率は用ふる所の材料如何によりて大なる差違あり，人間の材料よりせるものは動物の通過毒を以てせるものよりも遙かに潛伏期長く，且つ陽性率の少き事は從來諸家の均しく認むる所なり。

Uhlenhuth u. Mulzer (1913) は人間よりの材料を以てしたる陽性率は8–25%なるも，通過世代を重ぬる事によりて之を75–100%に增加せしめ，又潛伏期は通過世代を累ぬる事により8–12週より4–7週に，更に2–3週に短縮し得るのみならず局所病竈も增大する事を報告し，爾後幾多の研究家も亦此の事實を認めたり (Busckke, Graetz 等)，但し Zinsser, Hopkins u. M. C. Burney (1916) 等は材料たる菌株，家兎の品種個性，接種方法に關係を有するも通過世代により潛伏期の差を認めざりき。

菌量の多寡は潛伏期の長短に逆比例するものなる事は Neisser (1911) によりて初めて唱導せられたるが，Uhlenhuth u. Mulzer (1913) は詳細なる研究を遂げ，極めて少量のパルリダを以てしても睪丸接種によ

りて能く感染せしめ得たりと云へり，但し斯る場合，其の潜伏期延長せられ症候も僅微なりきと，氏等は家兎の微毒性睪丸の乳劑を以て一視野に3-5個のパルリダ含有の材料を，更に1:10,000の割合に稀釋して接種部に局所病竈を發生せしめ得たりと云ふ。

實驗に供せる家兎の年齢は Uhlenhuth u. Mulzer (1913) は幼若なるものは睪丸實質内注射に於て老齢のものに比し初期硬結强度にして，其他の症候も亦同樣に著明なる事を指摘し，Chesney (1923) 及び谷，井上 (1928) も之と類似の成績を擧げたり。

症候及び經過

Uhlenhuth u. Mulzer (1913) は睪丸接種によるものは其の症狀並に經過は極めて多種多樣なれども，局所病竈の狀態より次の3種の型に大別したり。

1) 陰囊の潰瘍。接種局部に局限して發生し，睪丸及び副睪丸には病變を存せず，陰囊のみに特有の糜爛，即ち微毒性の初期硬結を來し，每常該部よりパルリダを證明し得。

2) 慢性睪丸炎。睪丸及び副睪丸に於ける瀰慢性の腫脹にして實質性の硬度を有し，一樣の稠度を呈する形即ち瀰慢性の睪丸炎或は間質性睪丸炎を發起せるもの，又は睪丸實質の限局性肥厚即ち微毒性限局性睪丸炎の形を以て來るものあり，何れも多數のパルリダを含有し，特有の粘稠にて索縷性の穿刺液を有し，之に食鹽水を加へて暗視野裝置にて檢する時は運動活潑なるパルリダを認め得べし，然れども時として睪丸實質の肥厚小なるが爲めに，熟練せざる者は明かに之を觸知する事能はざることあり。

3) 睪丸被膜の肥厚。莢膜の大部分肥厚して瀰慢性に鞘狀又はマント狀となり，萎縮せる睪丸を包む，即ち瀰慢性，微毒性睪丸周圍炎の形又は陰囊下に於て，之に關係なく豌豆大の孤立せる結節樣の硬結即ち微毒性限局性睪丸周圍炎の形を以て現はれ，パルリダは之等睪丸周圍に於ける病竈の浸出物中より常に證明する事を得。

以上3種の型は整然として個々獨立の形に於て來る事は稀にして，1頭の家兎に於ても種々の臨床的症候を發する事屢々あり。

又接種法の異なるに從ひて現はるゝ所の局所の臨床的症候にも自ら差あり，即ち陰囊より接種するものに在りては概して睪丸並びに副睪丸に認むべき臨床的症候を來す事尠きが如く，又該部よりの組織片挿入法は乳劑注射法に比して潜伏期短かきが如し。

局所症候の分類に就ても前述 Uhlenhuth u. Mulzer の外に種々の分類を企つるものあり，Brown & Pearce (1920) は (1) 浮腫型，(2) 硬結型，(3) 圓板型等に分ち，赤津 (1921) は臨床上より (1) 潜伏期，(2) 發展期，(3) 極期，(4) 治癒期に分ち，病理組織的には第1期細胞浸潤期，第2期細胞增殖期，第3期瘢痕形成期に分ち，種々の接種法を用ひたるものに於て各の臨床的經過並びに病理組織的檢索を爲せり。

局所の臨床的經過は一般に睪丸内接種に於ては凡そ3-4週の潜伏期を以て發病し，前記の如き種々の型態を經過し，遂に睪丸は萎縮に陷りて治癒す，而して其全經過は普通1ヶ月半乃至2ヶ月なり，次に睪丸内組織挿入によるものは概して注射法によれるものよりも全經過長く，赤津(1921)によれば瘢痕治癒を營むは移殖後4-5ヶ月の後なりと云ふ。

陰囊接種に於ても其の方法の異るに從いて自ら多少の差あれども，全經過は約3ヶ月を要す，斯の如くにして原發性の家兎睪丸及び陰囊の微毒は何等治療を施すことなく自然治癒に就くものなれども，非定型的經過をとるものに於ては潜伏期殆んど無く發展し，全經過早きもの，又は接種後1-2ヶ月の間に發展し，爾後普通の經過をとれるもの(赤津)，初發の症候迅速なるに其後の反應極めて弱き場合，又は陰囊接種によるものゝ經過中進行性を有する惡性腫瘍となれるもの (Brown & Pearce)，又陰囊接種によりて現はれたる局所症候が治癒したる後2-3ヶ年半後を經て一側，又は兩側の睪丸にパルリダを含有する硬結性浸潤を生じたる例 (Truffi) あり。

家兎の睪丸並びに陰囊に於ける局所症候が菌株の相違によりて差違を認むるものに Brown & Pearce,

Levaiti et Marie, Noguchi, Pfeiffer, Faurnier u. Schwarz, Koll 等あり，本病原体の果して單一 (Einheitlichkeit) のものなりや否やの論議の區々たるは蓋し之に由るものなり。

全身症候

前述の局所症候は，何等加療することなく漸次自然治癒を來せる後に病毒は規則的に全身傳搬をなすものにして，之等の關係は人類微毒と全く一致す (Uhlenhuth, Kolle, Chesney 等)。

又當初人間よりの病毒を直接に家兎に感染せしめて觀察せる時代に於て特有の所見を見る事能はざりしも，其後通過毒を以て實驗を行ふに至りて家兎の全身微毒の研究が系統的に行はるゝに至れり。同時に病毒の傳搬は淋巴系及び血行の二方面よりせらるゝ事明白となれり。

淋巴系より病毒傳搬の行はるゝ事は，睪丸又は陰囊より接種後，近隣の淋巴腺就中，鼠蹊腺の腫脹は屢々目擊する所にして，該腺腫脹部よりパルリダを證明せる事實により明かに立證せられたる所にして，此の事實は Ossola u. Truffi によりて初めて研究せられたり，Uhlenhuth u. Mulzer も同様の研究を遂げ，Mühlens は顯微鏡的には腺中に證明し能はざりしも，淋巴腺を他の家兎に移植感染せしめ該病竈より多數のパルリダを證明せり，Tomasczewski は陰囊皮下に感染せしめたる1例に於て，局所に微毒性硬結を生ぜる後頸腺の腫脹せるものを認め，之を別出して他の家兎に移植し硬き糜爛せる浸潤を生ぜしめ，其の中に多數のパルリダを含有せる事を證明せり。Brown & Pearce (1920) は腺移植試驗を廣汎なる範圍に亘りて系統的研究を爲し，微毒性家兎の鼠蹊腺並びに膝膕腺を健康なる家兎の睪丸，又は陰囊に接種する事により家兎の微毒性症候を有する期間のみならず，其の症候消失後に於ても月餘若くは年餘陽性結果を擧げ得たり，玆に於て上述の事實は微毒性病毒の傳搬，病原性及び治癒機轉，化學療法及び微毒免疫の問題に對して深甚なる關聯を有する所となれり，而して氏等の研究は Nichols u. Walker, Kolle, Chesney u. Kemp, Manteufel u. Worms 等の承認する所となれり，Kolle は實驗家兎微毒に於ては一定の時期に膝膕腺を以てするに100%の陽性率を擧げ，Chesney u. Kemp は他の臓器，即ち睪丸，肝臓，脾臓，骨髓，血液等は或る少數の場合に於てのみ病毒を保持し，腦及び心筋を以てしては陰性の結果に終りし事を報告し，Manteufel u. Worms は初期硬結の消失後腺の腫脹を認めず，觸知不能となりたる後月餘を經てパルリダを認め，遠隔の腺，即ち膝膕腺以外に頤下腺，腋窩腺，腸骨窩腺，前薦骨腺等を以てしても感染可能なる事を證明し，Kolle, Prigge u. Rothesmundt, Uhlenhuth u. Grossmann も之に贊せり。

次に血行より微毒の傳搬する事實は一側の睪丸に接種後其の睪丸が罹病するのみならず，接種せざる他側の睪丸も亦罹病する事 (Uhlenhuth u. Mulzer, Tomasczewski) 睪丸接種後肛門に丘疹樣微毒疹を生ずる事 (Uhlenhuth u. Mulzer 等)，陰囊皮下接種後に睪丸周圍炎を起し，尙包皮に丘疹を生ずる例 (Tomasczewski) 睪丸及び陰囊に接種後續發性に角膜疾患を起せる例 (Mezincescen, Truffi, Uhlenhuth u. Mulzer, Finkelstein 等)，其の他之等の家兎に於て脾臓，肝臓及び骨髓等にパルリダを確認せる事 (Neisser, Truffi, Uhlenhuth u. Mulzer 等) によりて之を立證する事を得べし。

斯くして Uhlenhuth u. Mulzer 等は概括的研究によりて，睪丸並に陰囊接種後續發性に全身微毒の定型的像を起す事を證明し，其の症候に就て次の如く結論したり。

1) 症候は不定の潛伏期を以て現はる。

2) 臨床的及び病理的像は人間の微毒の症候に甚だしく類似す。

3) 病竈よりの產出物及び血液中にパルリダを證明す。

4) 病竈よりの產生物及び血液を他の動物に移植して微毒を發起せしめ得，又人間への實驗室內感染をも證明し得。

5) 全身症候も局所の初期硬結の如く特殊の化學療法によりて治癒せしめ得。

皮膚の變化。固有の微毒性の皮膚變化 (斑點狀並に丘疹狀の發疹) の外に種々なる變化，即ち脫毛，爪床炎を認むる事あり (Brown & Pearce)，又肉芽樣の滲潤及び紅疹樣の形を以て頭部，後肢，前肢，軀幹

及び尾部の皮膚等に發病する事あり，之等の病症は感染後早きは3週後，通常2-4ヶ月後に來るものなるも，例外としては2ヶ年8ヶ月後に至りて初めて續發性皮膚疾患を認めたる場合，及び3ヶ年3ヶ月の長期觀察中皮膚發疹が別々に反覆して出沒せる例を報告せる者 (Brown & Pearce) あり。

又 Bertarelli u. Melli (1913) は家兎陰囊に白癬症 (Leucoplasie) を認め晩期微毒の症候なりと云へり。

粘膜の變化。鼻粘膜，鼻唇溝，眼瞼，包皮，肛門等に屢々粘膜に變化を來し，就中之等の部と皮膚との移行部に好發す，稀には口唇及び頰部の粘膜にも變化を見る事あり。

骨の變化。Uhlenhuth u. Mulzer, Reasoner 等が初めて注意せる所にして，Brown & Pearce は之に關して更に詳細に記載したり，即ち骨膜，骨，軟骨，腱，腱鞘及び關節等の諸部に現はれ，病變は多くは骨髓及び骨端に發し限局せる結節狀腫脹，又は瀰慢性肥厚として來る，顏面又は頭蓋の骨又は軟骨は好發部位なり，骨の變化は Brown & Pearce によれば全身感染の初期症候にして多くは早期に現はるゝと云ふ。

眼の變化。Nichols, Reasoner 等は眼に於ける變化は實驗例の約70-75%に於て之を認め，Reasoner (1916) は兩眼に白內障を發せる1例及び毛樣体，虹彩，硝子体に護謨腫を生ぜる例を報告せり，Brown & Pearce (1921) は陰囊及び睪丸感染後の結膜炎，角膜炎，虹彩炎等を報告せり，Igerscheimer は實驗動物の約10%に於てのみ轉位性眼疾患を認めたり，Brown & Pearce (1926) は病毒を反覆して感染せしめたるに家兎の眼に黑色肉腫を認め，該眼には同時に特有の微毒性變化を來し，パルリダを證明し得たるにより之等の變化を以て腫瘍と密接の關係あるものなりと云へり。

中樞神經系。Snessareff u. Finkelstein (1923) は睪丸實質內注射を施せる家兎に於て定型的の小腦症候を認め，解剖によりて腦膜炎性の變化及び神經路の變性と共に小腦に護謨腫を認めたり，又中樞神經系より Fontana u. Sangiorgie, Plaut u. Mulzer, Uhlenhuth 等は直接又は間接にパルリダを證明し，Steiner, Biach, Jakob 等は中樞神經系統にプラスマ細胞及び淋巴球の炎症性滲潤，特に淋巴管の周圍に於て之を認め，Igerscheimer は視神經の變性的病竈に就き研究せり，家兎微毒に於ける腦脊髓液に就ては Plaut u. Mulzer (1921) は細胞及び Globurin の增加を特有なりとし，其後 Liquor の Kolloidalen Reaktion (Mastix u. Goldsol) を認め，又 Uhlenhuth, Plaut u. Mulzer 等は或る種の菌株によりて脊髓液の變化を認めたりと云ふ。

眼よりの接種

Bertarelli (1906) が家兎眼に微毒性病毒を接種して，確實に感染せしめて以來，Scherber, Greefe u. Clausen, Hoffmann, Schucht, Mühlens, Uhlenhuth u. Mulzer 等の研究相次で起り一般の承認する所となれり。

接　種　法

1) 角膜接種法。a) 角膜に亂切を加へて材料を點滴し若くは塗擦す。
　　b) 角膜內に注射す。

2) 前房內接種法。材料の小片若くは病竈の乳劑又は刺戟血淸を注射す。

上記の2法は專ら普通に用ひらるゝ所なるも，Schellack は角膜に何等損傷を與ふる事なくパルリダ含有の乳劑若くは液を點滴し，Brown & Pearce は結膜囊に點滴して感染せしめ得たり。

潛　伏　期

多くの研究家の報告を徵するに4-6週間なり，但し接種後2-3ヶ月後に發病する場合なきにあらず，例へば Hoffmann は83-85日，Purckhauer は150日と報告したり。

局　所　症　候

潛伏期の去りたる後接種部位に相當する角膜周圍に滲潤を來し，翌日に至りて更に其の度を增す，Uhlenhuth u. Mulzer によれば此の病變は微毒性眼疾患の確徵なりと謂ふ，要するに局所症候は角膜實質炎

の輕重によりて種々なる程度の溷濁，浸潤，血管新生及び潰瘍性崩潰等を來すものなり，Danila u. Stroe は角膜實質炎が普通の形態を以てせず，間質性のもの及び點狀並に水泡性角膜炎を來し，時には更に腫瘍狀に腫脹を呈せる例を認めたりといふ，Grouven は前房接種後虹彩に發せる丘疹が擴大して榛實大のコンヂローム樣の性質を帶べる眼球外腫瘤（epibulbäre Tumor）を生ぜる例，Hoffmann は同樣の場合に於て護謨腫樣の肉芽發生を來せる例（Schellack, Uhlenhuth u. Mulzer も同樣の觀察をせり），其の他多數の研究家（Bertarelli, Greefen, Clausen, Tomasczewski, Schucht, Grouven, Finkelstein, u. a.）は虹彩に特有の變化を呈せる例等を報告したり。

角膜の病變は1-2週乃至1ヶ月にして消散して治癒に就くを以て通常となすも，或は迅速に治癒に傾き或は一旦治癒し更に再發する場合なきにあらず。

全身症候

角膜及び前房內接種によるものに於ては，從來一般に全身傳搬を來さゞるものなりと信ぜられたるも，其の後に至りて明かに全身症候と認めらるべき著明なる營養障碍，並に脫毛（Grouven），鼻及び生殖器の周圍に於ける丘疹樣の發疹（Hoffmann），睪丸並に陰囊等の轉位症（安達）等全身症候の發起する事確認せられたり，但し Uhlenhuth u. Mulzer は之を認めずと言へり。

要するに，眼接種によるものは病毒の全身傳搬は稀にして，通常眼に於てのみ變化を止むるに過ぎざるが如し。

血行器よりの接種

家兎に全身感染をせしむる爲めには血行より接種する事が最も適當なる事 Uhlenhuth u. Mulzer (1913) によりて唱導せられたり，而してパルリダを含有する人類の病竈よりの吸引血清を用ふる時は大低陰性の結果に終る事多きは，一には材料の少量に失して本接種に適せざるが故に，家兎の睪丸を材料とし先づ之を細碎し，食鹽水を加へて振盪浸出したる後搾出せるものゝ中には，多數のパルリダを含有するを以て，此のものを用ふるを最良と爲すといへり。但し家兎は幼若なるものを撰ぶ事が感染を確實ならしむるに必要なりと述ぶ，又心臟內接種に於ても氏等の成績は悉く全身に感染せしめたりと，接種材料に就て注意すべきは，上述の材料中には急性に作用する臟器毒が存在し此のものが時として檢査の成績如何に影響する事あるを以て，稀釋せる乳劑を徐々に注射すべき事及び本材料に家兎血清を加へて paralysieren すべしと。

潛伏期

通常6-10週間なり。

症候

食慾減退，羸瘦，皮膚の變化等を來す，即ち實質性硬度にして彈力あり，護謨腫狀のパルリダを含有する腫瘤が鼻口の軟部，尾部等の皮膚に生じ，又，鼻背，頤部，鼻根等の諸部にも主として肉芽組織より成れる扁豆大乃至豌豆大の腫瘤を生じ該部にはパルリダを證明し得べし，其他 Uhlenhuth u. Mulzer は種々の症候即ち諸趾末節の腫脹，爪床の疾患，膝部及び足根の潰瘍，肛門周圍の丘疹狀微毒疹等を見，每常多數のパルリダを認め，更に其の諸臟器又は血液を家兎睪丸に接種して陽性結果を擧げたり。

內臟內接種

Uhlenhuth は卵巢，乳腺，肝臟及び管狀骨等に接種して感染せしめ得ざりしも，內耳に接種後角膜炎，鼻部及び眼瞼部に腫瘤を生じ該部に多數のパルリダを認めたり。

中樞神經に對しては Bertarelli は腦實質內接種に於て陰性成績を擧げ，Uhlenhuth u. Mulzer は幼若家兎の腦實質內接種を行ひたる1例に於て兩側の角膜炎を發し，多數のパルリダを認め，Plaut u. Mulzer は蜘蛛膜下腔接種を行ひたるに接種後2ヶ月半にして，微毒性睪丸炎及び鼻部に腫瘤を發生せるを認め，Noguchi は生活せる若くは死せるパルリダを5ヶ月間繰り返して靜脈內接種を行ひて中樞神經系の組織を感作せしめたる後，腦實質內若くは硬腦膜下に接種して感染せしめ得たり，即ち臨床上腦症を發し組織的

には瀰慢性，非化膿性，滲出性腦膜炎を起し，前頭葉の一側の萎縮，或は腦の瀰慢性硬化を認め，如斯家兎に於ても人間の腦黴毒に於けるが如く，病毒が腦を犯すに至る迄には相當長く連續せる黴毒性の Präparation が必要ならんと主張せり，此の說には Steiner も同意せり。

其他の部よりの接種

皮膚又は粘膜の表皮よりの接種に就きては既報せる所なるを以て重復を避け此處には記述せず，柴田は眼球後部に，土門は副鼻腔に接種して共に陽性成績を擧げたりと云ふ。

第2項　血清反應

家兎が黴毒に對する試驗動物として好適なる事は，容易に感染せしめ得て其の現はるる所の臨床的症候も略人間に於けるものに一致する事既述の如く，又驅黴劑の之等の病變に對して特效的作用ある事も略決定せられし所なり，但し血清反應たるや家兎黴毒に於ては人類黴毒に於けるが如く病毒の持續の消長に相平行する事なきのみならず，屢々健康家兎に於ても非特異性反應を呈する事ありて，其價値は人類黴毒に於ては偉大なるものなるも實驗家兎黴毒にありては然らざるを以て，先づ第1に此非特異性反應を除去し，第2に該血清反應は病毒の持續と如何なる程度迄相平行するものなりやを攻めて之が應用範圍を決せざる可からず，此等の事に關する從來の文獻の重なるもの，並に著者が實驗の結果，血清反應としてワ氏反應及び村田氏反應は共に非特異性反應を起すが故(前者は13%，後者は10%の數字を示し)，何れも不適當なりしを以て，此兩法に對し一定の非特異性反應除去法を施し(尙ワ氏反應に於ては1.2%村田氏反應に於ては0.8%の中等度若くは弱陽性を呈するものあり)，之を實驗家兎黴毒の血清反應に應用して良好なる成績を擧げ得たる事實等は，既に報告せる所なるを以て此には一切之を省略したり。

其の後柿下 (1930) は實驗家兎黴毒の血清反應には可檢血清の 60°C 30 分加溫法及びマイニッケル氏第3反應 (M. T. R3) を推奬し，大矢 (1930)はマイニッケル氏清澄反應を應用せしに略ワ氏反應と一致し，乳糜混合血清，陳舊血清，等の場合も亦比較的正確なる成績を期待し得ることを公にせり。

第2章　實驗方法

第1項　實驗家兎

千葉縣地方に販賣する白色にして耳の聳立せる榮養發育共に佳良なる成熟せる雄の家兎を撰定せり。

第2項　實驗材料

當教室に保存せる黴毒病毒千株38代－53代の家兎睪丸通過毒にして，一定の注意の下に家兎の睪丸若くは背皮內接種を行ふ時は100%接種局所に感染せしめ得るものなり，該菌株を家兎睪丸實質內に接種し睪丸實質炎を發起せしめ，將に其極期に入らんとする時に睪丸を摘出し，其白膜及び血管膜を剝離して小片に剪切し，10倍のリンゲル氏液を以て乳鉢內に能く磨碎し乳劑と爲し，之を試驗管內に移し暫時靜置したる後其の上清を暗視野裝置にて檢し，定型的の運動活潑なるパルリダの存する事を確め，一視野中5個

位のパルリダを含有せしめたるものを材料とす（此の時期を撰びて行ふ時は大抵一視野に5-10個存在するを見る）。

第3項　實驗時間

睪丸實質内接種によるものは1ヶ年を通じて毎月反覆して實驗を施行せり，睪丸以外の部分よりせるものは一定の時期を定めず，2月，4月及び5月の3ヶ月に亘りて行ひたり。

第4項　實驗部位及び術式

ツベルクリン注射用の内容1ccの注射器に1/4の合金製注射針を用ひ，局所は60%の酒精中に浸せるガーゼにて數回清拭消毒す。

A）睪丸實質内注射に於ては下腹壁を壓迫して陰囊内に右睪丸を出し，該部の皮膚を緊張せしめ實質内に0.5を注射す。

B）腹腔内接種は注射針を下腹壁に於て腹腔内に穿入し0.5を注射す。

C）靜脈内注射は右耳靜脈の外緣に存するものを撰び1.0を注射す。

D）前房内接種は右眼を脫白せしめて固定し，角膜の邊緣の近き部に於て前房内に刺入し，前房水の一部を漏し該針より0.2を注射す。

E）硬腦膜下接種。家兎を押田氏固定器に固定せる後，右眼の内背の前方に於て皮膚上より下眼窩截痕を探り，其の部の毛髮を剪除し，消毒後注射針を穿入し，眼窩前壁と眼球との間を經て進ましめ，注射針根部の前端をして局部の皮膚が下眼窩截痕内に稍々壓入する度に至らしむれば，針尖は視神經孔を通過して腦底に達すべし，茲に於て0.25を注入し注射針を拔去す。

F）腦實質内注射。顱頂部の中央より稍々右側に偏して皮膚の毛髮を除去し消毒を行ひたる後縱經に小切開を施し，次で骨膜を其の皮膚截開と等しく截開して之を剝離し，矢狀縫合の側方に於て一部の骨質を露出し，小なる穿顱圓鋸を以て穿顱を行ひ，骨質の一部を露出除去したる後，接種材料0.25を容れたる注射器を取り腦髓に向って垂直に腦實質内に穿刺注射して後，皮下組織及び皮膚傷口を縫合し其部にコロジユウムを塗布す。

G）脾臟内接種。腹部皮膚を5%の沃度丁幾を以て消毒後左季肋下部に切開を加へ開腹し，脾臟を露出せしめ其の實質内に0.25注射す。

第5項　睪丸切除

接種せる右睪丸の腫脹を認めたる時は直に之を摘出するを旨とせり，或るものに於ては健側即ち左睪丸をも同時に摘出せり，術式は摘出せんとする睪丸を下腹部を壓して陰囊内に送致し陰囊皮膚を緊張せしめ，皮膚並に莢膜を切開し睪丸を露出し，精系及び精系動靜脈を結紮し，睪丸を切除せる後創口を縫合す，又或る他のものに於ては睪丸を陰囊内に壓出せしめ，其の根部に於ける皮膚と共にコツヘル氏止血鑷子を以て挾み，該部の皮膚と共に精系及び動靜脈を縫合結紮したる後陰囊と共に睪丸を摘出したり。

第6項　再接種

左背皮内に0.25，左睪丸實質内に0.5接種するを旨とせるも，左睪丸も罹病して脫落せるもの，若くは甚だしく萎縮して接種困難のものに於ては左背皮内のみに接種せり，其の方法は既述せるを以て省略す。

第7項　リポイド蛋白注射

實驗動物中，血清反應陽性なりしものが一定の經過を經たる後陰性となれるものに，リポイド蛋白としてオムナジン，ヒリン及び牛乳等を各1cc耳靜脈内に接種し血清反應に及ぼす關係を追究せり，但し本文の實驗例は主としてオムナジンを注射せるものに係る。

第8項　血清反應檢査法

家兎を實驗に供する前，必ず採血して血清反應を檢査し，非特異性反應を呈するものは之を除去する

た旨とせり，接種後必ず毎週1回づゝ採血して檢査を爲し，事情の許す限り長期間續行したり，縱令臨床的症候去り血清反應陰性となれる後と雖も檢査を續行せり，是れ經過中血清反應に變化を來す事ありや否やを觀察せんが爲なり。

再接種を行へるものに於ては，特に注射後隔日位に一定の間（1週間位）檢査を爲し，爾後は毎週1回行ひたり。

血清反應の檢査方法はワッセルマン氏反應及び村田氏反應を用ひたるも，何れも健康家兎に於て非特異性反應を呈する事ありしを以て，可及的之を除き且つ反應物質を阻害せざる爲めに，一定の基礎的實驗の結果さきに報告せるが如き變法を採用せり，其の檢査方法及び判定方法は既報せるを以て省略す。

第9項　觀察要項

臨床的症候の觀察は必ず毎週2回宛行ひ，特に必要と認めたる場合には毎日一定期間（例へば前房內接種の如き）行へり，局所病竈に對しては全經過を詳細に，全身症候としては皮膚，粘膜，睪丸，眼，骨，中樞神經系等に對して特に注意を拂ひて觀察し，体重は毎週之を測定し，採血は毎週之を續行したるも，尙必要と認めたる時即ち睪丸摘出後，再接種後，並にリポイド蛋白注射後等に於ては一定期間（多くは1間週位）毎日若しくは隔日行ひたり。

觀察期間は死亡若しくは他の實驗に供する必要等特別の事情無き場合は，可及的長期間に亘りて攻究せんと欲し最も長きは接種後533日之を續行したり。

第3章　實驗成績

第1項　實驗例に於ける臨床的症候及び其の血清反應の概要

次の8の場合に分ち各例に於て其要點を表示すれば第1表の如し。

但し記錄より毎週1回其要點を摘錄する事を主眼とせるも，必要に應じては（即ち睪丸摘出後，再接種後及びリポイド蛋白注射後等）一定日數間，隔日位に拔萃せり）。

A）睪丸實質內接種によるもの

B）睪丸實質內接種を施し其睪丸炎を發起せる後之を摘出せるもの

C）腹腔內接種によるもの

D）靜脈內接種によるもの

E）前房內接種によるもの

F）硬腦膜下接種によるもの

G）腦實質內接種によるもの

H）脾臟內接種によるもの

表中　R……右　B……兩側　T……混濁
L……左　P……パンヌス　H……睪丸
X……摘出又は死亡の爲爾後の經過不明のもの
St. dec.……消散期　St. an.……治癒期
T. P. ……トレポネーマパルリヅム　$\frac{10}{1}$……分母は視野數，分子は黴菌數
血清反應　－陰性　±微弱陽性
＋弱陽性　＋＋中等度陽性

	卅高度陽性	
背　皮	一陰　性	＋紅　疹　期
	卄丘　疹　期	卅潰　瘍　期
睾　丸	一陰　性	＋輕度の腫脹
	卄中等度の腫脹	卅高度の腫脹
	卅潰瘍形成	
淋巴腺腫脹	一陰　性	＋小　豆　大
	卄大　豆　大	卅豌　豆　大

第2項　睾丸實質內接種によるもの

第1表のA及びBに示すが如く，一定の潜伏期を經たる後接種局所に病變を現出す，本實驗69頭に於て局所症候を認め得ざりしものは1頭(S. 6)ありたるのみ，本法によるものは睾丸實質の腫脹極めて小にして，熟達せる眼を以てせざれば往々看過する事あるは Uhlenhuth u. Mulzer の注意せる所なれども，著者は綿密なる注意の下に接種後4週間は必ず隔日に觀察し，爾後も毎週2回づゝ續行せるも臨床的には確實に認むべき變化を呈せざりき，但し血清反應に於てワ氏反應は接種後35日目に，村田氏反應は21日目に弱陽性を呈せるを以て，睾丸感染は成功せるものと思考す，但し本例に於ては同時に背皮內接種をも施せしに，該部は中等度の陽性を呈せるも此の程度にては往々血清反應は陽性とならざることあり，又假りに陽性となりたりとも斯く早期に現はるゝ事は殆ど絕無といふ可きを以て，該血清反應の陽性となれるは睾丸感染よりせるものと斷ず可く，換言すれば極めて僅微なるが爲めに其の發する變化も亦殆ど徵知し得ざる程微少なるものならん乎。

局　所　症　候

潜伏期。一定の潜伏期を經て局所の初期症候を呈す。

初期症候。は概して原形の儘一定の硬度を有する實質性の腫脹を來すものなり，而して實驗例を詳細に觀察するに次の4の場合に大別する事を得。

1．睾丸の腫脹は多くは拇指頭大乃至鳩卵大に達し强き緊張度を有し，陰囊は爲めに緊張し紅褐色の光澤を呈す，又同時に屢々陰囊の浮腫を呈し，其の甚だしき際には睾丸は腹腔內に存して陰囊內に壓出し能はざることあり，又浮腫なきも腫脹せる睾丸は腹腔內にありて壓出し得ざる場合もあり，時としては睾丸の腫脹は極めて輕微にして少しく緊張度を增せるが如き觀を呈し，漸次萎縮に傾き索狀に觸知するが如き例(Nr. 146 及び Nr. 147)もあり，即ち瀰慢性睾丸炎若くは間質性睾丸炎に一致するものなり。

2．睾丸若くは副睾丸の一局部に1個若くは2乃至3個の限局せる硬き大豆大乃至蜿豆大の硬結を生じ漸次增大し，或るものは融合して磊塊狀となり(Nr. 127)，或るものは漸次吸收せられて長く小なる硬結を殘すもの(S. 11)あり，即ち黴毒性限局性睾丸炎に一致するものな

（A）睾丸實質內接種によるもの

S 2　白色　体重 1700g.　昭和3年12月19日家兎 Nr. 114（千株38代通過毒）より右睾丸實質內に0.5右背皮內に0.25接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
3, 12, 19	1		—	—	1700	—	—	—	—	—	—	4, 1, 8
〃 〃 25	7		—	—	1690	—	—	—	—	—	—	RH 一樣に中指頭大に腫脹
4, 1, 8	21	5	+	+	1750	⧻	⧺	—	—	—	—	
〃 〃 15	28	12	⧻	⧻	1955	⧻	⧻	—	—	—	—	4, 1, 11
〃 〃 22	35	19	⧻	⧻	1960	⧻	⧻	—	—	—	—	RH 頭部に大豆大の硬結を生ず
〃 〃 29	42	26	⧻	⧻	1935	St. an.	⧺	—	—	—	—	
〃 2, 5	49	33	⧻	⧻	1835	〃	⧺	—	—	—	—	RH は St. dec に入る
〃 〃 12	56	40	⧻	⧻	1980	〃	⧻	—	—	—	—	壞死に陷る
〃 〃 19	63	47	⧻	⧻	2000	—	⧻	—	—	—	—	
〃 〃 26	70	54	⧻	⧺	2040	—	⧻	—	—	—	—	
〃 3, 5	77	61	⧻	⧺	2110	—	St. dec.	—	—	—	—	
〃 〃 12	84	66	+		2050	—	〃	—	—	—	—	左背皮內に再接種（同菌株）
〃 〃 19	91	75	±		2080	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 26	98	82	±			—	〃	—	—	—	—	
〃 4, 2	105	89	⧺	+	1980	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 9	112	96	⧺	+	2040	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	119	103	±	—	2130	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	126	110	—	—	2100	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 30	133	117	—	—	2090	—	—	—	—	—	—	
〃 5, 7	140	124	—	—	2070	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 14	147	131	—	—	2080	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 21	154	138	—	—	2050	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 28	161	145	—	—	2040	—	—	—	—	—	—	

〃 6, 4	168	152	—	—	1990	—	—	—	—	—	—	4, 6, 17
〃 〃 11	175	156	—	—	2000	—	—	—	—	—	—	LHに0.5再接種
〃 〃 18	182	166	—	—	2000	—	—	—	—	—		
4, 6, 25	189	173	—	—	2000	—	—	—	—	—		
〃 7, 2	196	180	—	—	2020	—	—	—	—	—		
〃 〃 9	209	187	—	—	2140	—	—	—	—	—		
〃 〃 16	210	194	—	—	2060	—	—	—	—	—		
〃 〃 23	217	201	—	—	1900	—	—	—	—	—		
〃 〃 30	224	208	—	—	1780	—	—	—	—	—		
〃 8, 6	231	215	—	—	1810	—	—	—	—	—		
〃 〃 13	238	222	—	—	1830	—	—	—	—	—		
〃 〃 20	245	229	—	—	1830	—	—	—	—	—		
〃 〃 27	252	236	—	—	1950	—	—	—	—	—		
〃 9, 3	258	243	—	—	1930	—	—	—	—	—		
〃 〃 10	266	250	—	—	2000	—	—	—	—	—		
〃 〃 17	273	257	—	—	2000	—	—	—	—	—		

S 3 白色 体重 1930g. 同 上

（但し背皮内には接種せず）

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
3, 12, 19	1		—	—	1930	○	—	—	—	—	—	
〃 〃 25	7		—	—	2000				—	—	—	
4, 1, 8	21	1	+	++	2010		++		—	—	—	RHは一般に腫脹し彈力性硬度を有し陰囊は浮腫を呈す
〃 〃 15	28	8	+++	+++	2000		+++		—	—	—	
〃 〃 22	35	15	+++	+++	2000		+++		—	—	—	
〃 〃 29	42	22	+++	+++	2070		++		—	—	—	
〃 2, 5	49	29	+++	+++	1740		++		—	—	—	死亡

S 6　白色　体重 2160g.　同　上

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 10	1		−	−	2160	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 16	7		−	−	2165	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 23	14		−	−	2060	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 30	21	7	−	±	2050	+	−	−	−	−	−	
〃 2, 6	28	14	−	±	2000	++	−	−	−	−	−	
〃 〃 13	35	21	+	+	1835	St. dec.	−	−	−	−	−	
〃 〃 20	42	28	−	++	2135	〃	−	−	−	−	−	
〃 〃 27	49	35	−	++	2180	St. an.	−	−	−	−	−	4, 3, 12
〃 3, 6	56	42	−	+	2110	−	−	−	−	−	−	左背皮內再接種（同菌株）
〃 〃 19	63	49	−	−	2135	−	−	−	−	−	−	突然死亡（內臟出血）
〃 〃 15	65	51	−	−		−	−	−	−	−	−	

S 7　白色　2540g.　同　上

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 10	1		−	−	2545	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 16	7		−	−	2500	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 23	14	1	−	−	2380	+	+	−	−	−	−	4, 1, 23
〃 〃 30	21	8	−	−	2300	+++	+	+	−	−	−	RH の莢膜瀰慢性に肥厚し觸知す
〃 2, 6	28	15	−	−	2310	+++	++	+	−	−	−	
〃 〃 13	35	22	++	+	2460	St. dec.	St. dec.	−	−	−	−	
〃 〃 20	42	29	+++	+++	2465	St. an.	〃	−	−	−	−	
〃 〃 27	49	36	+++	++	2430	〃	〃	−	−	−	−	
〃 3, 6	56	43	+++	+	2470	〃	〃	−	−	−	−	
〃 〃 13	63	50	+++	+	2430	〃	〃	−	−	−	−	

〃 〃 20	70	57	+	+	2420	〃	〃	—	—	—	—	
〃 〃 27	77	64	++	+	2420	—	〃	—	—	—	—	
〃 4, 3	84	71	++	+	2340	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 10	91	78	+	+	2490	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 17	98	85	+	+	2510	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 24	105	92	—	+	2530	—	—	—	—	—	—	
〃 5, 1	112	99	—	—	2490	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 8	119	106	—	—	2490	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 9	120	107	—	—		—	—	—	—	—	—	4, 5, 9
〃 〃 10	121	108	++	—	2460	—	—	—	—	—	—	オムナジン 1.0 耳靜脈內注射
〃 〃 12	123	110	+	+	2560	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 14	125	112	—	+	2560	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	127	114	+	+	2560	—	—	—	—	—	—	4, 5, 16
〃 〃 18	129	116	++	+	2540	—	—	—	—	—	—	同　上
〃 〃 20	131	118	—	—		—	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	134	121	—	—		—	—	—	—	—	—	4, 5, 23
〃 〃 24	135	122	+	+	2580	—	—	—	—	—	—	同　上
〃 〃 31	142	129	++	+	2530	—	—	—	—	—	—	
〃 6, 1	143	130	++	+	2540	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 2	144	131	—	—	2530	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 3	145	132	—	—	2400	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	152	139	—	—	2420	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	159	146	—	—	2580	—	—	—	—	—	—	4, 6, 17
〃 〃 24	166	153	—	—	2580	—	—	—	—	—	—	LH, 及びL背皮內に同菌株を再接種
〃 7, 1	173	160	—	—	2560	—	—	—	—	L眼$T_{++}P_{++}$	—	
〃 〃 8	180	167	—	—	2450	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 15	187	174	—	—	2370	—	—	—	—	R眼$T_{+}P_{+}$	—	
〃 〃 22	194	181	—	—	2410	—	—	—	—	L眼$T_{++}P_{+}$	—	
〃 〃 29	201	188	—	—	2210	—	—	—	—	〃	—	
〃 8, 5	208	195	—	—	2230	—	—	—	—	R眼 — L眼$T_{+}P_{+}$	—	
〃 〃 12	215	202	—	—	2250	—	—	—	—	〃	—	

〃 〃 19	222	209	—	—	2300	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 26	229	216	—	—	2370	—	—	—	—	〃	—
〃 9, 2	236	223	—	—	2400	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 9	243	230	—	—	2450	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 16	250	237	—	—	2450	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 23	257	244	—	—	2440	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 28	262	249	—	—		—	—	—	—	〃	—

S 9　白 色　2125g.

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 10	1		—	—	2125	—	—	—	—	—	—	發病及び日數は本例は睾丸の發病より起算せり
〃 〃 16	7		—	—	2085	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	14		—	—	2080	+	—	—	—	—	—	
〃 〃 30	21		—	—	1945	++	—	—	—	—	—	
〃 2, 6	28		—	—	1945	+++	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	35		+++	++	1925	+++	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	42		—	—	1895	St. dec.	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	49		—	—	1955	〃	—	—	—	—	—	
〃 3, 6	56		—	—	1980	St. an.	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	63		—	—	1890	〃	—	—	—	—	—	4, 3, 12
〃 〃 20	70		—	—	1950	〃	—	—	—	—	—	左背皮內再接種（同菌株）
〃 〃 27	77		—	—	1990	—	—	—	—	—	—	
4, 4, 3	84		++	+	1950	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	91	1	++	++	2060	—	+	—	—	—	—	
〃 〃 17	98	8	+	+	2030	—	+++	—	—	—	—	
〃 〃 24	105	15	—	—	2020	—	+++	—	—	—	—	
〃 5, 1	112	22	—	—	1990	—	St. dec.	—	—	—	—	4, 5, 9
〃 〃 8	119	29	—	—	1970	—	〃	—	—	—	—	オムナジン 1.0 耳靜脈內注射

〃 〃 9	120	30	—	—	1960	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 10	121	31	+	+	1960	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 12	123	33	+	+	1990	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 14	125	35	—	+	2060	—	〃	—	—	—	—	4, 5, 16
〃 〃 16	127	37	—	—	2180	—	〃	—	—	—	—	オムナジン 1.0
〃 〃 18	129	39	+	+	2130	—	〃	—	—	—	—	耳静脈内1.0注射
〃 〃 20	131	41	—	—	2191	—	〃	—	—	—	—	4, 5, 23
〃 〃 23	134	44	—	—		—	—	—	—	—	—	オムナジン 1.0
〃 5, 24	135	45	—	+	2120	—	—	—	—	—	—	耳静脈内注射
〃 〃 26	137	47	—	+	2200	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 31	142	52	—	—	2160	—	—	—	—	—	—	
〃 6, 7	149	59	—	—		—	—	—	—	—	—	
〃 〃 14	156	66	—	—	2160	—	—	—	—	—	—	4, 6, 17
〃 〃 17	163	73	—	—		—	—	—	—	—	—	左背皮内及び左
〃 〃 24	170	80	—	—	2170	—	—	—	—	—	—	睾丸實質内再接
〃 7, 1	177	87	—	—		—	—	—	—	—	—	種（同菌株）
〃 〃 8	184	94	—	—	2120	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	191	101	—	—	2310	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	198	108	—	—	2310	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	205	115	—	—	2150	—	—	—	—	—	—	
〃 8, 5	212	122	—	—	2190	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 12	219	129	—	—	2060	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 19	226	136	—	—	2080	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 26	233	143	—	—	2160	—	—	—	—	—	—	
〃 9, 2	240	150	—	—	2200	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 9	247	157	—	—	2150	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	254	164	—	—	2160	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	261	171	—	—	2190	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 30	268	178	—	—	2100	—	—	—	—	—	—	
〃 10, 7	275	185	—	—	2000	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	282	192	—	—	2350	—	—	—	—	—	—	

S 11　白色　体重 1910g. 昭和4年1月30日家兎S3（千株40代通過毒）より
右背皮内に0.25 右睾丸實質内に0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 30	1		—	—	1910	—	—	—	—	—	—	
〃 2, 5	7				1945	+	—	—				4, 2, 14
〃 〃 12	14		+	+	2040	++	—	—				R 陰囊に浮腫を來たすも RH は萎縮索狀をなす
〃 〃 19	21	6	+++	+	1950	+++	+	++				〃
〃 〃 26	28	13	+++	++	1950	+++	+	+++				〃
〃 3, 2	35	20	+++	+	1900	+++	+	+++				〃
〃 〃 9	42	27	++	+	1850	+++	+	+++				〃
〃 〃 16	49	34	+	+	1860	+++	+	+++				〃
〃 〃 23	56	41	+	+	1800	St. dec.	+	—				4, 3, 20
〃 〃 30	63	48	+	—	1910	〃	+	—				RH 陰囊は尾部に小指頭の硬結あり輕度の浸潤あり
〃 4, 6	70	55	—	—	1800	〃	St. dec.	—				〃
〃 〃 13	77	62	—	—	1930	St. an.	〃	—				〃
〃 〃 20	84	69	—	—	1950	〃	〃	—				〃
〃 〃 27	91	76	—	—	1950	—	—	—				〃
〃 5, 4	98	83	—	—	2070	—	—	—			包皮に硬結を生ず	
〃 〃 9	103	88	—	—	2070	—	—	—			〃	4, 5, 9
〃 〃 10	104	89	±	—		—	—	—			〃	オムナジン 1.0
〃 〃 12	106	91	+	±	2050	—	—	—			〃	耳靜脈内注射
〃 〃 16	110	95	—	—	2130	—	—	—			〃	4, 5, 16
〃 〃 19	112	97	+	+	2110	—	—	—			〃	オムナジン 1.0
〃 〃 20	114	99	—	+	2060	—	—	—			〃	注射
〃 〃 22	116	101	—	—		—	—	—			〃	
〃 〃 23	117	102	—	—		—	—	—			〃	4, 5, 23
〃 〃 24	118	103	—	—	2080	—	—	—			〃	オムナジン 1.0
〃 〃 26	120	105	—	—	2070	—	—	—			〃	注射

〃 〃 28	122	107	—	—	2140	—	—	—			包皮尖端硬結拇指頭大となる(TP++)	
〃 6, 4	129	114	—	—	1990	—	—	—	—	—		
〃 〃 11	136	121	—	—	2100	—	—	—	—	—		4, 6, 17 左H實質內及び右背皮內に再接種（同菌株）
〃 〃 17	142	127	—	—	2100	—	—	—	—	—		
〃 〃 24	149	134	—	—	2030	—	—	—	—	—		
〃 7, 1	156	141	—	—	1830	—	—	—	—	—		
〃 〃 8	163	148	—	—	1990	—	—	—	—	—		
〃 〃 15	170	155	—	—	1990	—	—	—	—	—		
〃 〃 22	177	162	—	—	1880	—	—	—	—	—		
〃 〃 29	184	169	—	—	1950	—	—	—	—	—	下腹部脱毛	
〃 8, 5	191	176	—	—	1950	—	—	—	—	—		
〃 〃 12	198	183	—	—	1940	—	—	—	—	—		
〃 〃 19	205	190	—	—	1990	—	—	—	—	—		
〃 〃 26	212	197	—	—	2040	—	—	—	—	—		
〃 9, 2	219	214	—	—	2170	—	—	—	—	—		
〃 〃 9	226	221	—	—	2200	—	—	—	—	—		
〃 〃 16	233	228	—	—	2160	—	—	—	—	—		
〃 〃 23	240	235	—	—	2110	—	—	—	—	R目T+		
〃 〃 30	247	242	—	—	2300	—	—	—	—	〃		

S 13 白色 体重 1850g. 昭和4年1月30日家兎S8（千株40代通過毒）より
右背皮に0.25 右睾丸實質內に0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Ru. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 30	1		—	—	1850	—	—	—	—	—	—	
〃 2, 5	7		—	—	1865	+	—	—	—	—	—	
〃 〃 12	14		+	—	1945	++	—	—	—	—	—	

〃 〃 19	21	4	⧻	+	2000	⧻	+	−	−	−	−	4, 2, 16
〃 〃 26	28	11	⧻	+	1950	⧻	⧻	⧺	−	−	−	陰囊浮腫，睾丸は腹腔内にあり
〃 3, 2	35	18	⧻	+	1890	⧻	⧻	⧺	−	−	−	
〃 〃 9	42	25	⧻	+	1875	⧻	St. dec.	⧺	−	−	−	
〃 〃 16	49	32	⧻	+	1850	St. dec.	〃	⧺	−	−	−	
〃 〃 23	56	39	⧺	+	1880	〃	〃	⧺	−	−	−	
〃 〃 30	63	46	−	+	1850	St. an.	〃	−	−	−	−	R 陰囊に肥厚残る
〃 4, 6	70	53			1810	〃	−	−	−	−	−	
〃 〃 13	77	60	−	−	2060	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 20	84	67	−	−	2130	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 27	91	74	−	−	2130	−	−	−	−	−	−	
〃 5, 4	98	81	−	−	2100	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 11	105	88	−	−	2100	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 18	112	95	−	−	2120	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 25	119	102	−	−	2140	−	−	−	−	−	−	
〃 6, 1	126	109	−	−	2130	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 8	133	116	−	−	2270	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 15	140	123	−	−	2170	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 22	147	130	−	−	2200	−	−	−	−	−	−	4, 6, 24
〃 〃 29	154	137	−	−	2110	−	−	−	−	−	−	LH 及び左背内再接種（同菌株）
〃 7, 6	161	144	−	−	2110	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 13	168	151	−	−	2220	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 20	175	158	−	−	2110	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 27	182	165	−	−	2110	−	−	−	−	−	−	
〃 8, 3	189	172	−	−	2070	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 10	196	179	−	−	2110	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 17	203	186	−	−	2070	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 24	210	193	−	−	2050	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 31	217	200	−	−	2060	−	−	−	−	−	−	
〃 9, 1	224	207	−	−	2010	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 8	231	214	−	−	2130	−	−	−	−	−	−	

〃 〃 15	238	221	—	—	2220	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	245	228	—	—	2150	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	252	235	—	—	2170	—	—	—	—	—	—	
〃 10, 6	259	242	—	—	2230	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	266	249	—	—	2290	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	273	256	—	—	2320	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	280	263	—	—	2160	—	—	—	—	—	—	
〃 11, 3	287	270	—	—	2160	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	294	277	—	—	2170	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	301	284	—	—	2290	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	308	291	—	—	2280	—	—	—	—	—	—	
〃 12, 1	315	298	—	—	2360	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 8	322	305	—	—	2170	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	329	312	—	—								

S 14 白色　体重 1845g.　同　上

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 30	1				1845			—	—	—	—	
〃 2, 5	7				1920	—	—	—	—	—	—	4, 2, 14
〃 〃 12	14				1900	++	—	—	—	—	—	RH 一般に腫脹
〃 〃 19	21	6	+++	+	1925	+++	+++	—	—	—	—	右陰囊高度に浮腫
〃 〃 26	28	13	+++	+	1905	+++	St. dec.	—	—	—	—	RH は腹腔内に入りて陰囊に出す能はず
〃 3, 2	35	20	+++	+	1905	+++	〃	++	—	—	—	
〃 〃 9	42	27	+++	+	1760	+++	〃	++	—	—	—	
〃 〃 16	49	34	+++	+	1790	St. dec.	〃	++	—	—	—	
〃 〃 23	56	41	+	+	1710	〃	—	++	—	—	—	
〃 〃 30	63	48	—	—	1770	—	—		—	—	—	
〃 4, 6	70	55	—	—	1810	—	—		—	—	—	4, 4, 24 死亡

S 15 白色　体重 2020g.　同　上

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 30	1		—	—	2020			—	—	—	—	
” 2, 6	8		—	—	1945			—	—	—	—	
” ” 13	15		—	—	1970	—	—	—	—	—	—	
” ” 20	22	3	—	—	2080	++	+	—	—	—	—	
” ” 27	29	10	++	+	1940	++	—	—	—	—	—	
” 3, 6	36	17	+	+	1770	++	—	—	—	—	—	
” ” 13	43	24	+	+	1650	+++	—	—	—	—	—	4, 3, 14
” ” 20	50	31	±	—	1630	+++	+	++	—	—	—	右陰囊浮腫甚だしく雀卵大となる
” ” 27	57	38	±	—	1750	St. dec.	+++	++	—	—	—	
” 4, 3	64	45	+	—	1830	St. an.	+++	—	—	—	—	
” ” 10	71	52	++	—	1970	—	+++	—	—	—	—	4, 4, 21
” ” 17	78	59	+	++	1980	—	+++	—	—	—	—	RH拇指頭大となり，陰囊と癒着す，凸凹不平にしてゴム腫狀を呈す
” ” 24	85	66	+	+	1940	—	+++	—	—	—	—	
” 5, 1	92	73	—	+	1930	—	+++	—	—	—	—	
” ” 8	99	80	—	+	2010	—	+++	—	—	—	—	
” ” 15	106	87	—	+	1990	—	+++	—	—	—	—	
” ” 22	113	94	—	+	2030	—	+++	—	—	—	—	
” ” 29	120	101	—	—		—	+++	—	—	R目 $T_+P_+I_+$	—	
” 6, 5	127	108	—	—	1980	—	+++	—	—	”	—	
” ” 12	134	115	—	—	1980	—	+++	—	—	”	—	
” ” 19	141	122	—	—	2010	—	+++	—	—	”	—	4, 6, 24
” ” 26	148	129	—	—	1930	—	+++	—	—	”	—	左背皮内に再接種（同菌株）
” 7, 3	155	136	—	—		—	+++	—	—	R目 $T_{++}P_+$	—	
” ” 10	162	143	—	—	1980	—	+++	—	—	”	—	
” ” 17	169	150	—	—	2020	—	St. dec.	—	—	”	—	
” ” 24	176	157	—	—	1960	—	”	—	—	R目 T_+P_+	—	
” ” 31	183	164	—	—	2031	—	”	—	—	”	—	

〃 8, 7	190	171	—	—	2030	—	St. dec.	—	—	R目T_+P_+	—	
〃 〃 14	197	178	—	—	2010	—	〃	—	—	〃	—	
〃 〃 21	204	185	—	—	1960	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 28	211	192	—	—	2090	—	〃	—	—	—	—	
〃 9, 4	218	199	—	—	2050	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 11	225	206	—	—	2100	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 18	232	213	—	—	2210	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 25	239	220	—	—	2130	—	〃	—	—	—	—	
〃 10, 2	246	227	—	—	2300	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 9	253	234	—	—	2300	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 16	260	241	—	—	2270	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 23	267	248	—	—	2290	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 30	274	255	—	—	2300	—	〃	—	—	—	—	
〃 11, 6	281	262	—	—	2380	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 13	288	269	—	—	2370	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 20	295	276	—	—	2360	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 27	302	283	—	—	2310	—		—	—	—	—	
〃 12, 4	309	290							—			

Nr. 127　白色　体重 1730 g.　昭和4年2月21日家兎 S 10(千株41代通過毒)より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 2, 21	1		—	—	1730							
〃 〃 28	8		—	—	1720							4, 3, 11
〃 3, 7	15		—	—	1700							R陰囊浮腫 RH は（—）
〃 〃 14	22	4	++	++	1730		+		LH索狀			RH ++陰囊浮腫（++）
〃 〃 21	29	11	++	++	1840		++		+			RH は2個の大豆大の硬結あり
〃 〃 28	36	18	++	++	1880		++		—			
〃 4, 4	43	25	++	++	2030		++		—			

〃 〃 11	50	32	⧺	⧺	2110		St. dec.		—			
〃 〃 18	57	39	⧺	⧺	2120		〃		—			硬結は癒合す
〃 〃 25	64	46	+	⧺	2060		St. an.		—			
〃 5, 2	71	53	+	+	2100		〃		—			
〃 〃 9	78	60	+	+	2200		〃		—			
〃 〃 16	85	67	⧺	⧺	2150		〃		—			
〃 〃 23	92	74	⧺	⧺	2220		〃		—	R眼 $T_{+}P_{+}$		
〃 〃 30	99	81	+	⧺	2240		〃		—	L眼 $T_{⧺}P_{\mp}$		
〃 6, 6	106	88	⧺	⧺	2170		—		—	〃		4, 6, 11
〃 〃 13	113	95	⧺	⧺	2190		+		+	—		兩陰囊稍々浮腫
〃 〃 20	120	102	+	⧺	2160		+		+	—		
〃 〃 27	127	109	—	⧺	2260		+		+	—		
〃 7, 4	134	116	—	⧺	2200		—		—	—		
〃 〃 11	141	123	—	⧺	2220		—		—	—		
〃 〃 18	148	130	—	+	2150		—		—	—		
〃 〃 25	155	137	—	+	2120		—		—	—		
〃 8, 1	162	144	—	+	2100		—		—	—		
〃 〃 8	169	151	—	—	2100		—		—	—		
〃 〃 15	176	158	—	—	2120		—		—	—		
〃 〃 20	181	163										死　亡

S 50　白色　体重 1840 g.　昭和4年3月26日家兎S 30（千株42代通過毒）より兩睾丸實質に0.5宛接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 3, 26	1		—	—	1840		—	—	—	—	—	
〃 4, 1	8		—	—	1950		—	—	—	—	—	
〃 〃 8	15		—	—	2000		—	—	—	—	—	
〃 〃 15	22	1	—	—	2130		RH+ LH—	—		—	—	
〃 〃 22	29	8	+	+	2170		RH⧺ LH+	—		—	—	

〃 〃 29	36	15	+	+	2010	RH卅 LH卄	—		—	—		
〃 5, 6	43	22	卅	+	1940	兩H卅	—		—	—		
〃 〃 13	50	29	卄	+	1950	〃	—		—	—	4, 5, 17	
〃 〃 20	57	36	卄	+	2100	〃	—		—	—	撮影	
〃 〃 27	64	43	卄	+	2110	〃	—		—	—		
〃 6, 3	71	50	卄	+	2120	St. dec.	—		—	—		
〃 〃 10	78	57	卄	卄	2080	〃	—		—	—		
〃 〃 17	85	64	卄	卄	2110	〃	—		—	—		
〃 〃 24	92	71	卄	卄	2150	〃	—		—	—		
〃 7, 1	99	78	+	卄	2130	〃	—		—	—		
〃 〃 8	106	85	+	+	2080	〃	—		—	—		
〃 〃 15	113	92	—	+	2130	—	—		—	—		
〃 〃 22	120	99	—	+	2090	—	—		—	—		
〃 〃 29	127	106	—	+	2150	—	—		—	—		
〃 8, 5	134	113	—	—	2090	—	—		—	—		
〃 〃 12	141	120	—	—	2120	—	—		—	—		
〃 〃 19	148	127	—	—	2140	—	—		—	包皮大豆大硬結		
〃 〃 26	155	134	—	—	2130	—	—		—	〃		
〃 9, 2	162	141	—	—	2100	—	—		—	—		
〃 〃 9	169	148	—	—	2110	—	—		—	—		
〃 〃 16	176	155	—	—	2200	—	—		—	—		
〃 〃 23	183		—	—	2200	—	—	—	—	—		
〃 〃 30	190		—	—	2250	—	—	—	—	—		
〃 10, 7	197		—	—	2300	—	—	—	—	—	4, 10, 9	
〃 〃 14	204		—	—	2260	—	—	—	—	—	肛，周圍丘疹樣糜爛	
〃 〃 21	211		—	—	2300	—	—	—	—	—		
〃 〃 28	218		—	—	2350	—	—	—	—	—		
〃 11, 4	225		—	—	2400	—	—	—	—	—		
〃 〃 11	232		—	—	2410	—	—	—	—	—		
〃 〃 18	239		—	—	2370	—	—	—	—	—		
〃 〃 25	246		—	—	2360	—	—	—	—	—		

〃 12, 2	253		—	—	2320		—	—	—	—	—	
〃 〃 9	260		—	—	2350		—	—	—	—	—	
〃 〃 16	267		—	—	2280		—	—	—	—	—	
〃 〃 23	274		—	—	2340		—	—	—	—	—	
〃 〃 30	281		—	—	2250		—	—	—	—	—	
5, 1, 6	288		—	—	2220		—	—	—	—	—	
〃 〃 13	295		—	—	2330		—	—	—	—	—	
〃 〃 20	302		—	—	2450		—	—	—	—	—	
〃 〃 27	309		—	—	2580		—	—	—	—	—	
〃 2, 3	316		—	—	2330		—	—	—	—	—	
〃 〃 10	323		—	—	2400		—	—	—	—	—	
〃 〃 17	330		—	—	2380		—	—	—	—	—	
〃 〃 24	337		—	—	2360		—	—	—	—	—	
〃 3, 3	344		—	—	2360		—	—	—	—	—	
〃 〃 10	351		—	—	2420		—	—	—	—	—	

S 54　白色　体重 2020 g.　昭和4年3月26日家兎S 30（千株42代通過毒）より兩睾丸實質內接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 3, 26	1				2020		—	—		—	—	
〃 4, 1	8				2030		—	—		—	—	
〃 〃 8	15				2030		—	—		—	—	RH 莢膜輕度に瀰慢性に肥厚
〃 〃 15	22	1			2080		+	—		—	—	
〃 〃 22	29	8	++	+	2070		+	—		—	—	
〃 〃 29	36	15	++	+	2160		+	—		—	—	
〃 5, 6	43	22	+++	+	2050		+	—		—	—	
〃 〃 13	50	29	++	+	2110		+	—		—	—	
〃 〃 20	57	36	+	+	2170		+	—		—	—	
〃 〃 27	64	43	—	—	2160		—	—		—	—	
〃 6, 3	71	50	—	—	1930		—	—		R眼 T+P++ L眼 T+P+	眼球ニスタグムスあり	死亡
〃 〃 4	72	51										

S 61 白色 体重 1830 g. 昭和4年4月17日家兎S 55（千株43代通過毒）より右睾丸實質內接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 4, 17	1				1830			—	—	—	—	
〃 〃 24	8				1060			—	—	—	—	
〃 5, 1	15				1710			—	—	—	—	
〃 〃 8	22	8	++	+			RH+	—	—	—	—	
〃 〃 15	29	15	+++	+	1690		RH+++	—	—	—	—	
〃 〃 22	36	22	+	+	1780		RH+++	—	—	—	—	
〃 〃 29	43	29	+++	+	1960		RH+++	—	—	—	—	
〃 6, 5	50	36	+++	+	1690		RH+++	—	—	—	—	
〃 〃 12	57	43	+++	+	1780		RH+++	—	—	—	—	
〃 〃 19	64	50	+++	+	1730		RH+++	—	LH++	—	—	
〃 〃 26	71	57	+++	+	1730		〃	—	〃	—	—	
〃 7, 3	78	64	+++	+	1700		〃	—	〃	—	—	
〃 〃 10	85	71	+	+	1710		〃	—	LH+++	—	—	撮影
〃 〃 17	92	78	+	+	1680		RH+++	—	〃	—	—	
〃 〃 24	99	85	—	+	1760		〃	—	St. dec.	—	—	RH 脱出 LH 萎縮
〃 〃 31	106	92	—	+	1720		〃	—	〃	—	—	〃
〃 8, 7	113	99	—	—	1840		St. dec.	—	—	—	—	〃
〃 〃 14	120	106	—	—	1830		〃	—	—	—	—	〃
〃 〃 21	127	113	—	—	1800		—	—	—	—	—	〃
〃 〃 28	134	120	—	—	1930		—	—	—	—	—	〃
〃 9, 4	141	127	—	—	1980		—	—	—	—	—	〃
〃 〃 11	148	134	—	—	1980		—	—	—	—	—	〃
〃 〃 18	155	141	—	—	2040		—	—	—	—	—	〃
〃 〃 25	162	148	—	—	2060		—	—	—	—	—	〃
〃 10, 2	169	155	—	—	2100		—	—	—	—	—	〃
〃 〃 9	176	162	—	—	2190		—	—	—	—	—	〃
〃 〃 16	183	169	—	—	2240		—	—	—	—	—	〃

〃 〃 23	190	176	—	—	2090		—	—	—	—	—	
〃 〃 30	197	183	—	—	2060		—	—	—	—	—	
〃 11, 6	204	190	—	—	2010		—	—	—	—	—	
〃 〃 13	211	197	—	—	2030		—	—	—	—	—	
〃 〃 20	218	204	—	—	2080		—	—	—	—	—	
〃 〃 27	225	211	—	—	2140		—	—	—	—	—	
〃 12, 4	232	218	—	—	2150		—	—	—	—	—	
〃 〃 11	239	225	—	—	2150		—	—	—	—	—	
〃 〃 18	246	232	—	—	2320		—	—	—	—	—	
〃 〃 25	253	239	—	—	2200		—	—	—	—	—	
5, 1, 1	260	246	—	—	2210		—	—	—	—	—	
〃 〃 8	267	253	—	—	2270		—	—	—	—	—	
〃 〃 15	274	260	—	—	2050		—	—	—	—	—	
〃 〃 22	281	267	—	—	2150		—	—	—	—	—	
〃 〃 29	288	274	—	—	2250		—	—	—	—	—	
〃 2, 5	295	281	—	—	2320		—	—	—	—	—	
〃 〃 12	302	288	—	—	2430		—	—	—	—	—	
〃 〃 19	309	295	—	—	2430		—	—	—	—	—	
〃 〃 26	316	302	—	—	2440		—	—	—	—	—	
〃 3, 5	323	309	—	—	2310		—	—	—	—	—	
〃 〃 12	330	316	—	—	2310		—	—	—	—	—	5, 3, 21
〃 〃 19	337	323	—	—	2330		—	—	—	—	—	ネオエーラミジール注射
〃 〃 26	344	330	—	—	2290		—	—	—	—	—	
〃 4, 2	351	337	—	—	2290		—	—	—	—	—	5, 3, 28 同上
〃 〃 9	358	344	—	—	2290		—	—	—	—	—	5, 4, 4 同上

S 66　白色　体重 1840 g.　昭和4年4月17日家兎S 55（千株43代通過毒）より睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 4, 17	1				1840			—	—	—	—	

〃 〃 24	8				1720			—	—	—	—	
〃 5, 1	15				1570			—	—	—	—	
〃 〃 8	22	1	+	+	1530		RH+	—	—	—	—	
〃 〃 15	29	8	+	+	1610		RH卌	—	—	—	—	
〃 〃 22	36	15	++	+	1680		卌	—	—	—	—	
〃 〃 29	43	22	卌	+	1680		卌	—	—	—	—	
〃 6, 5	50	29	卌	++	1720		卌	—	LH卌	—	—	
〃 〃 12	57	36	卌	++	1780		卌	—	〃	—	—	
〃 〃 19	64	43	卌	++	1800		卌	—	〃	—	—	
〃 〃 26	71	50	卌	++	1720		卌	—	〃	—	—	
〃 7, 3	78	57	++	++	1760		卌	—	卌	—	—	
〃 〃 10	85	64	+	++	1690		卌	—	〃	—	—	
〃 〃 17	92	71	+	++	1690		卌	—	〃	—	—	
〃 〃 24	99	78	—	++	1720		St. dec.	—	〃	—	—	
〃 〃 31	106	85	—	++	1710		〃	—	〃	—	—	RH 脱 落
〃 8, 7	113	92	—	++	1790		〃	—	〃	—	—	
〃 〃 14	120	99	—	++	1680		〃	—	〃	—	—	
〃 〃 21	127	106	—	+	1680		〃	—	〃	—	—	
〃 〃 28	134	113	—	+	1820		—	—	〃	—	—	
〃 9, 4	141	120	—	+	1840		—	—	〃	—	—	
〃 〃 11	148	127	—	+	2070		—	—	〃	—	—	
〃 〃 18	155	134	—	+	2080		—	—	〃	—	—	
〃 〃 25	162	141	—	+	2100		—	—	—	—	—	
〃 10, 2	169	148	—	—	2000		—	—	—	—	—	
〃 〃 9	176	155	—	—	2070		—	—	—	—	—	
〃 〃 16	183	162	—	—	2050		—	—	—	—	—	
〃 〃 23	190	169	—	—	2080		—	—	—	—	—	
〃 〃 30	197	176	—	—	2100		—	—	—	—	—	
〃 11, 6	204	183	—	—	2100		—	—	—	—	—	
〃 〃 13	211	190	—	—	2330		—	—	—	—	—	
〃 〃 20	218	197	—	—	2300		—	—	—	—	—	

〃 〃 27	225	204	—	—	2100		—	—	—	—	—	
〃 12, 4	232	211	—	—	2190		—	—	—	—	—	
〃 〃 11	239	218	—	—	2160		—	—	—	—	—	
〃 〃 18	246	225	—	—	2230		—	—	—	—	—	
〃 〃 25	253	232	—	—	2000		—	—	—	—	—	
5, 1, 1	260	239	—	—	2030		—	—	—	—	—	
〃 〃 8	267	246	—	—	2000		—	—	—	—	—	
〃 〃 15	274	253	—	—	2000		—	—	—	—	—	
〃 〃 22	281	260	—	—	2090		—	—	—	—	—	
〃 〃 29	288	267	—	—	2180		—	—	—	—	—	
〃 2, 5	295	274	—	—	2130		—	—	—	—	—	
〃 〃 12	302	281	—	—	1960		—	—	—	—	—	
〃 〃 19	309	288	—	—	2080		—	—	—	—	—	
〃 〃 26	316	295	—	—	2080		—	—	—	—	—	
〃 3, 5	323	302	—	—	2140		—	—	—	—	—	5, 3, 21
〃 〃 12	330	309	—	—	2190		—	—	—	—	—	ネオエーラミゾール注射
〃 〃 19	337	316	—	—	2150		—	—	—	—	—	死亡
〃 〃 22	340	319										

Nr. 131　白色　体重 1580 g.　昭和4年5月2日家兎S 58（千株44代通過毒）より右睾丸實質内に0.5接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 2	1		—	—	1580			—	—	—	—	
〃 〃 9	8		—	—	1580			—	—	—	—	
〃 〃 16	15		—	—	1600			—	—	—	—	
〃 〃 23	22		—	—	1610			—	—	—	—	
〃 〃 30	29		—	—	1700			—	—	—	—	
〃 6, 6	36	4	—	—	1730		卅	—	—	—	—	
〃 〃 13	43	11	+	+	1800		卅	—	—	—	—	

〃 〃 20	50	18	⧺	⧺	1830	⧺	—	—	—	—	4, 6, 24	
〃 〃 27	57	25	⧺	⧺	1900	⧺	—	—	—	—	同菌株再接種	
〃 7, 4	64	32	⧺	⧺	1930	⧺	—	—	—	—		
〃 〃 11	71	39	+	⧺	1960	St. dec.	—	—	—	—		
〃 〃 18	78	46	—	—	2110	〃	—	—	—	—	4, 7, 21	
〃 〃 25	85	53	—	—	2000	〃	—	—	—	—	RH 腹腔内容と共に脱出	
〃 8, 1	92	60	⧺	+	1880	〃	—	—	—	—	〃	
〃 〃 8	99	67	⧺	⧺	1620	〃	—	—	—	—	〃	
〃 〃 15	106	74	+	+	1550	〃	—	—	—	—	〃	
〃 〃 22	113	81	—	—	1620	〃	—	—	—	—	〃	
〃 〃 29	120	88	—	—	1640	〃	—	—	—	—	〃	
〃 9, 5	127	95	—	—	1680	〃	—	—	—	—	〃	
〃 〃 12	134	102	—	—	1680	〃	—	—	—	—	〃	
〃 〃 19	141	109	—	—	1720	〃	—	—	—	—	4, 9, 24	
〃 〃 26	148	116	—	—	1800	〃	—	—	—	—	脱出部より出血	
〃 10, 3	155	123	—	—	1860	〃	—	—	—	—	4, 10,	
〃 〃 10	162	130	—	—	1910	—	—	—	—	—	止　血	
〃 〃 17	169	137	—	—	2000	—	—	—	—	—		
〃 〃 24	176	144	—	—	2000	—	—	—	—	—		
〃 〃 31	183	151	—	—	2090	—	—	—	—	—		
〃 11, 7	190	158	—	—	2150	—	—	—	—	—		
〃 〃 14	197	165	—	—	2220	—	—	—	—	—		
〃 〃 21	204	172	—	—	2150	—	—	—	—	—		
〃 〃 28	211	179	—	—	1930	—	—	—	—	—		
〃 12, 4	218	186	—	—	1940	—	—	—	—	—		
〃 〃 11	225	193	—	—	2130	—	—	—	—	—		
〃 〃 18	232	200	—	—	2130	—	—	—	—	—		
〃 〃 25	239	207	—	—	1900	—	—	—	—	—		
5, 1, 1	246	214	—	—	1860	—	—	—	—	—		
〃 〃 8	253	221	—	—	1970	—	—	—	—	—		
〃 〃 15	260	228	—	—	2040	—	—	—	—	—		

〃 〃 22	267	235	—	—	2000		—	—	—	—	—	
〃 〃 29	274	242	—	—	1980		—	—	—	—	—	
〃 2, 5	281	249	—	—	2040		—	—	—	—	—	
〃 〃 12	288	256	—	—	2120		—	—	—	—	—	
〃 〃 19	295	263	—	—	2030		—	—	—	—	—	
〃 〃 26	302	270	—	—	2030		—	—	—	—	—	
〃 3, 5	309	277	—	—	2000		—	—	—	—	—	
〃 〃 12	316	284	—	—	2000		—	—	—	—	—	
〃 〃 19	323	291	—	—	2000		—	—	—	—	—	
〃 〃 26	330	298	—	—	1900		—	—	—	—	—	
〃 4, 2	337	305	—	—	1850		—	—	—	—	—	
〃 〃 9	344	312	—	—	1700		—	—	—	—	—	
〃 〃 13	348	316	—	—			—	—	—	—	—	死亡

Nr. 132　白色　体重 2070 g.　昭和4年5月2日家兎S 58（千株44代通過毒）より右睾丸實質内に0.5接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 2	1		—	—	2070		—	—	—	—	—	
〃 〃 9	8		—	—	2070		—	—	—	—	—	
〃 〃 16	15		—	—	2050		—	—	—	—	—	
〃 〃 23	22	4	+	+	2050		++	—	—	—	—	
〃 〃 30	29	11	++	+	1930		+++	—	—	—	—	
〃 6, 6	36	18	+++	+	1850		+++	—	—	—	—	
〃 〃 13	43	25	++	+	1750		+++	—	—	—	—	
〃 〃 16	46	28										死亡

Nr. 137　白色　体重 1930 g.　昭和 4 年 5 月29日家兎 Nr. 134（千株45代通過毒）より
右睪丸實質内に 0.5 及び右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 29	1		—	—	1930	—	—	—	—	—	—	
” 6, 5	8		—	—	1930	—	—	—	—	—	—	
” ” 12	15	2	—	—		+	—	—	—	—	—	
” ” 19	22	9	—	—	1900	++	RH+	—	—	—	—	4, 6, 24
” ” 26	29	16	++	+	1800	St. dec.	+	—	—	—	—	LH 及び左背皮内に同菌株再接種
” 7, 3	36	23	+++	++	1780	—	+	—	—	—	—	
” ” 10	43	30	+	+	1730	—	+	—	—	—	—	
” ” 17	50	37	+	+	1670	—	+	—	—	—	—	
” ” 24	57	44	—	+	1750	—	RH+ LH+	—	—	—	—	
” ” 31	64	51	++	+	1700	—	”	—	—	—	—	
” 8, 7	71	58	+++	+	1750	—	RH+ LH++	—	—	—	—	
” ” 14	78	65	++	+	1690	—	”	—	—	—	—	4, 8, 22
” ” 21	85	72	+	+	1690	—	RH+ LH+++	—	—	—	—	前肢肘關節の部に一錢銅貨大の浸潤を有する糜爛
” ” 28	92	79	—	+	1780	—	”	—	—	—	—	
” 9, 4	99	86	—	+	1730	—	”	—	—	—	—	
” ” 11	106	93	—	+	1850	—	”	—	—	L眼 $T_{+++}P_{+}$	—	
” ” 18	113	100	—	+	1870	—	”	—	—	”	—	
” ” 25	120	107	—	+	1990	—	St. dec.	—	—	”	—	
” 10, 2	127	114	—	+	1820	—	”	—	—	”	—	
” ” 9	134	121	—	—	1820	—	—	—	—	R眼 $T_{++}P_{+}$ L目 $T_{+++}P_{++}$	包皮糜爛	
” ” 16	141	128	—	—	1800	—	—	—	—	”	”	
” ” 23	148	135	—	—	1900	—	—	—	—	—	—	
” ” 30	155	142	—	—	1910	—	—	—	—	—	—	
” 11, 6	162	149	—	—	2000	—	—	—	—	—	—	
” ” 13	169	156	—	—	1960	—	—	—	—	—	—	

〃 〃 20	176	163	—	—	1900	—	—	—	—	—	—
〃 〃 27	183	170	—	—	1950	—	—	—	—	—	—
〃 12, 4	190	197	—	—	2010	—	—	—	—	—	—
〃 〃 11	197	184	—	—	2000	—	—	—	—	—	—
〃 〃 18	204	191	—	—	2000	—	—	—	—	—	—
〃 〃 25	211	198	—	—		—	—	—	—	—	—
5, 1, 1	218	205	—	—	1960	—	—	—	—	—	—
〃 〃 8	225	212	—	—	1980	—	—	—	—	—	—
〃 〃 15	232	219	—	—	2020	—	—	—	—	—	—
〃 〃 22	239	226	—	—	2080	—	—	—	—	—	—
〃 〃 29	246	233	—	—	2090	—	—	—	—	—	—
〃 2, 5	253	240	—	—	2010	—	—	—	—	—	—
〃 〃 12	260	247	—	—	2000	—	—	—	—	—	—
〃 〃 19	267	254	—	—	2000	—	—	—	—	—	—
〃 〃 26	274	261	—	—	2030	—	—	—	—	—	—
〃 3, 5	281	268	—	—	2080	—	—	—	—	—	—
〃 〃 12	288	275	—	—	2090	—	—	—	—	—	—
〃 〃 19	295	282	—	—	2050	—	—	—	—	—	—
〃 〃 26	302	289	—	—	2030	—	—	—	—	—	—
〃 4, 2	309	296	—	—	2020	—	—	—	—	—	—
〃 〃 9	316	303	—	—	2040	—	—	—	—	—	—
〃 〃 16	323	310	—	—	2030	—	—	—	—	—	—
〃 〃 23	330	317	—	—	2020	—	—	—	—	—	—
〃 〃 30	337	324	—	—	2060	—	—	—	—	—	—
〃 5, 7	344	331	—	—	1970	—	—	—	—	—	—
〃 〃 14	351	338	—	—	2100	—	—	—	—	—	—
〃 〃 21	358	345	—	—	2100	—	—	—	—	—	—

Nr. 138 白色 体重 2020 g. 昭和4年5月29日家兎 Nr. 134 (千株45代通過毒) より
右睪丸實質内に 0.5 及び右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 29	1		—	—	2020	—	—	—	—	—	—	
” 6, 5	8		—	—	2000	—	—	—	—	—	—	4, 6, 16
” ” 12	15	7	—	—	1800	+	—	+	—	—	—	RH 稍々緊脹の氣味
” ” 19	22	14	—	—	1790	++	±	+	—	—	—	
” ” 26	29	21	—	—	1830	St. dec.	—	—	—	—	—	4, 6, 24
” 7, 3	36	28	+	++	1830	—	—	—	—	—	—	同菌株を背皮内に再接種
” ” 10	43	35	—	—	1810	—	—	—	—	—	—	
” ” 17	50	42	—	—	1880	—	—	—	—	—	—	
” ” 24	57	49	—	+	1910	—	—	—	—	—	—	
” ” 31	64	56	—	—	1840	—	—	—	—	—	—	
” 8, 7	71	63	—	+	2850	—	—	—	—	—	—	
” ” 14	78	70	—	—	1870	—	—	—	—	—	—	
” ” 21	85	77	—	+	1900	—	—	—	—	—	—	
” ” 28	92	84	—	—	1950	—	—	—	—	—	—	
” 9, 4	99	91	—	—	1880	—	—	—	—	L眼 $T_{++}P_{++}$	—	
” ” 11	106	98	—	+	1930	—	—	—	—	”	—	
” ” 18	113	105	—	+	1940	—	—	—	—	”	—	
” ” 25	120	112	—	—	1950	—	—	—	—	”	—	
” 10, 2	127	119	—	—	1980	—	—	—	—	兩眼 $T_{+++}P_{+}$	—	
” ” 9	134	126	—	—	2000	—	—	—	—	”	—	
” ” 16	141	133	—	+	2000	—	—	—	—	”	—	
” ” 23	148	140	—	—	1970	—	—	—	—	”	—	
” ” 30	155	147	+	+	1980	—	—	—	LH大豆大硬結	R眼 $T_{+}P_{++}$ L眼 $T_{+++}P_{+}$	—	
” 11, 6	162	154	++	+	2100	—	—	—	”	”	—	
” ” 13	169	161	++	+	1980	—	—	—	”	”	—	

〃 〃 20	176	168	++	+	2000	—	—	—	〃	〃	—
〃 〃 27	183	175	++	+	2020	—	—	—	—	—	—
〃 12, 4	190	182	++	++	2100	—	—	—	—	—	—
〃 〃 11	197	189	++	+	2060	—	—	—	—	—	—
〃 〃 18	204	196	—	+	2050	—	—	—	—	—	—
〃 〃 25	211	203	—	+		—	—	—	—	R眼$T_{+}P_{++}$ L眼$T_{++}P_{++}$	—
5, 1, 1	218	210	—	+	2000	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 8	225	217	—	+	1700	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 15	232	224	—	—	1850	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 22	239	231	—	—	1940	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 29	246	238	—	—	1980	—	—	—	—	〃	—
〃 2, 5	253	245	—	—	1980	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 12	260	252	—	—	1970	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 19	267	259	—	—	2040	—	—	—	—	R眼$T_{++}P_{++}$ L眼$T_{+++}P_{+++}$	L眼蓄膿
〃 〃 26	274	266	—	—	2060	—	—	—	—	〃	〃
〃 3, 5	281	273	—	—	2060	—	—	—	—	R眼P_{+}	〃
〃 〃 12	288	280	—	—	2100	—	—	—	—	〃	〃
〃 〃 19	295	287	—	—	2040	—	—	—	—	〃	〃
〃 〃 26	302	294	—	—	2020	—	—	—	—	R眼T_{+}	〃
〃 4, 2	309	301	—	—	1950	—	—	—	—	〃	〃
〃 〃 9	316	308	—	—	2000	—	—	—	—	L眼T_{++}	—
〃 〃 16	323	315	—	—	2130	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 23	330	322	—	—	2190	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 30	337	329	—	—	2190	—	—	—	—	〃	—
〃 5, 7	344	336	—	—	2190	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 14	351	343	—	—	2010	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 21	358	350	—	—	2000	—	—	—	—	〃	—

Nr. 139　白色　体重 1920 g.　昭和 4 年 6 月17日家兎 Nr. 136（千株46代通過毒）より
右睾丸實質内に 0.5 右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 6, 17	1		—	—	1920	—	—	—	—	—	—	
” ” 24	8		—	—	1950	—	—	—	—	—	—	
” 7, 1	15		—	—	2100	—	—	—	—	—	—	
” ” 8	22		—	—	2150	—	—	—	—	—	—	
” ” 15	29		—	—	2030	—	—	—	—	—	—	
” ” 22	36		—	—	2110	—	—	—	—	—	—	
” ” 29	43		—	—	2100	—	—	—	—	—	—	
” 8, 5	50	1	++	+	2100	—	+	—	—	—	—	
” ” 12	57	8	++	+	2000	—	+	—	L 陰囊下部糜爛	—	—	
” ” 19	64	15	++	+	1980	—	+	—	”	—	—	
” ” 26	71	22	+++	+++	2090	—	++	—	LH++	—	—	
” 9, 2	78	29	+++	++	2120	—	++	Rig+	++	—	—	
” ” 9	85	36	+++	++	2280	—	+++	++	+++	—	—	
” ” 16	92	43	+++	+	2240	—	+++	+++	+++	—	—	兩日陰囊に潰瘍形成
” ” 23	99	50	+++	+	2240	—	St. dec.	++	St. dec.	—	—	
” ” 30	106	57	+++	+	2110	—	”	++	”	—	—	
” 10, 7	113	64	++	+	2220	—	”	++	”	—	—	
” ” 14	120	71	++	+	2130	—	”	++	”	—	—	
” ” 21	127	78	++	+	2090	—	”	++	”	—	—	
” ” 28	134	85	+	+	2200	—	”	++	”	—	—	
” 11, 4	141	92	+	+	2120	—	”	—	”	—	—	
” ” 11	148	99	+	+	2100	—	”	—	”	—	—	
” ” 18	155	106	+	+	2020	—	”	—	”	—	—	
” ” 25	162	113	+	+	2060	—	”	—	”	—	—	
” 12, 2	169	120	+	+	2100	—	—	—	—	—	—	

〃 〃 9	176	127	+	+	2170	—	—	—	—	—	—
〃 〃 16	183	134	+	+	2160	—	—	—	—	—	—
〃 〃 23	190	141	+	+	2260	—	—	—	—	兩眼瞼炎	—
〃 〃 30	197	148	+	+	2190	—	—	—	—	〃	—
5, 1, 6	204	155	—	—	2100	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 13	211	162	—	—	1920	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 20	218	169	—	—	2110	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 27	225	176	—	—	2010	—	—	—	—	〃	—
〃 2, 3	232	183	—	—	2010	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 10	239	190	—	—	2000	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 17	246	197	—	—	1850	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 24	253	204	—	—	1810	—	—	—	—	〃	—
〃 3, 3	260	211	—	—	1800	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 10	267	218	—	—	1750	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 17	274	225	—	—	1700	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 18	275	226				—	—	—	—	〃	—

Nr. 140　白色　体重 2290 g.　昭和4年6月17日家兎 Nr. 136（千株46代通過毒）より
右睾丸實質內に 0.5 右背皮內に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 6, 17	1		—	—	2290	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	8		—	—	2260	—	—	—	—	—	—	
〃 7, 1	15	5	—	—	2260	++	+	—	—	—	—	
〃 〃 8	22	12	—	—	2220	+++	St. dec.	—	—	—	—	
〃 〃 15	29	19	+	+	2140	St. dec.	—	+	—	—	—	
〃 〃 22	36	26	+	+	2130	St. an.	—	+	—	—	—	
〃 〃 29	43	33	—	+	2140	〃	—	—	—	—	—	
〃 8, 5	50	40	—	+	2170	〃	—	—	—	—	—	

〃 〃 12	57	47	—	+	2240	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 19	64	54	—	—	2240	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 26	71	61	—	—	2180	—	—	—	—	—	—	
〃 9, 2	78	68	—	—	2160	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 9	85	75	—	—	2110	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	92	82	—	—	2270	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	99	89	+	+	2240	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 30	106	96	—	++	2250	—	+	—	—	—	—	
〃 10, 7	113	103	—	++	2280	—	+	—	—	—	—	
〃 〃 14	120	110	—	+	2290	—	++	—	—	—	—	
〃 〃 21	127	117	++	+	2280	—	++	—	—	—	—	
〃 〃 28	134	124	+	+	2280	—	++	—	—	—	—	
〃 11, 4	141	131	+	+	2260	—	St. dec.	—	—	—	—	
〃 〃 11	148	138	+	+	2280	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 18	155	145	+	+	2260	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 25	162	152	++	++	2200	—	〃	—	—	—	—	
〃 12, 2	169	159	+++	++	2300	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 9	176	166	+	++	2450	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	183	173	—	++	2340	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	190	180	—	+	2400	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 30	197	187	—	—	2410	—	—	—	—	—	—	
5, 1, 6	204	194	—	—	2330	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	211	201	—	—	2330	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	218	208	—	—	2410	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	225	215	—	—	2290	—	—	—	—	—	—	
〃 2, 3	232	222	—	—	2370	—	—	—	—	—	—	5, 2, 10 ネオエーラミジール注射
〃 〃 10	239	229	—	—	2320	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	246	236	—	—	2310	—	—	—	—	—	—	5, 2, 17 同上
〃 〃 24	253	243	—	—	2310	—	—	—	—	—	—	〃 〃 24 同上
〃 3, 3	260	250	—	—	2220	—	—	—	—	—	—	〃 3, 3 同上
〃 〃 10	267	257	—	—	2300	—	—	—	—	—	右耳内，悪臭汚物蓄積	〃 〃 10 同上
〃 〃 17	274	264										死亡

Nr. 145　白色　体重 2040 g.　昭和4年8月6日家兎C9（千株48代通過毒）より
右睾丸實質内に 0.5 及び右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 8, 6	1		—	—	2040	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	8		—	—	2040	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	15		—	—	2100	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	22	1	—	—	2200	—	+	—	—	—	—	
〃 9, 3	29	8	—	—	2170	—	+	—	—	—	—	
〃 〃 10	36	15	—	—	2260	—	+	—	—	—	—	
〃 〃 17	43	22	—	—	2320	—	+	—	—	—	—	
〃 〃 24	50	29	—	—	2350	—	+	—	—	—	—	
〃 10, 1	57	36	—	—	2390	—	+	—	—	—	—	
〃 〃 8	64	43	—	—	2590	—	+	—	—	—	—	
〃 〃 15	71	50	—	+	2410	—	++	—	—	—	—	
〃 〃 22	78	57	+	+	2300	—	++	—	—	—	—	
〃 〃 29	85	64	++	+	2300	—	+++	—	—	—	—	
〃 11, 5	92	71	++	+	2430	—	+++	—	—	—	—	
〃 〃 12	99	78	++	+++	2500	—	+++	—	—	—	—	
〃 〃 19	106	85	+++	+++	2470	—	+++	—	—	—	—	
〃 〃 26	113	92	++	++	2550	—	St. dec.	—	—	—	—	
〃 12, 3	120	99	+	+	2540	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 10	127	106	+	++	2610	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 17	134	113	+	++	2620	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 24	141	120	+	+	2630	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 31	148	127	+	+	2630	—	〃	—	—	—	—	
5, 1, 7	155	134	—	—	2610	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 14	162	141	—	—	2560	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 21	169	148	—	—	2410	—	〃	—	—	—	—	

〃 〃 28	176	155	—	—	2210	—	St. dec.	—	—	—	—	5, 2, 10 ネオエーラミゾール注射
〃 2, 4	183	162	—	—	2110	—	〃	—	—	—	—	5, 2, 17 同上
〃 〃 11	190	169	—	—	2110	—	〃	—	—	—	5, 2, 10 尾の先きに近き部に大豆大の丘疹	〃 〃 24 同上
〃 〃 18	197	176	—	—	2150	—	〃	—	—	—		〃 3, 3 同上
〃 〃 25	204	183	—	—	2150	—	—	—	—	—		
〃 3, 4	211	190	—	—	2030	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 9	216	195										死亡

Nr. 146 白色 体重 2170 g. 昭和4年8月6日家兎C9（千株48代通過毒）より
右睾丸實質内に0.5及び右背皮内に0.25接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 8, 6	1		—	—	2170	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	8		—	—	1940	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	15	1	—	—	2030	—	+	—	—	—	—	RH 索狀に稍々硬く觸知す
〃 〃 27	22	8	—	—	1970	—	St. dec.	—	—	—	—	
〃 9, 3	29	15	—	—	2020	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 10	36	22	—	—	2080	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 17	43	29	—	—	2080	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 24	50	36	—	—	2100	—	〃	—	—	—	—	
〃 10, 1	57	43	—	—	2150	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 8	64	50	—	—	2160	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	71	57	—	—	2160	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	78	64	—	—	2150	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	85	71	—	—	2150	—	—	—	—	—	—	
〃 11, 5	92	78	—	—	2200	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 12	99	85	—	—	2210	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 19	106	92	—	—	2230	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 26	113	99	—	—	2220	—	—	—	—	—	—	

〃 12, 3	120	106	—	—	2240	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	127	113	—	—	2380	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	134	120	—	—	2380	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	141	127	—	—	2410	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 31	148	134	—	—	2420	—	—	—	—	—	—	
5, 1, 7	155	141	—	—	2240	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 14	162	148	—	—	2310	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 21	169	155	—	—	2410	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 28	176	162	—	—	2390	—	—	—	—	—	—	
〃 2, 4	183	169	—	—	2410	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 11	190	176	—	—	2430	—	—	—	—	—	—	5, 2, 10 ネオヒーラミジール注射
〃 〃 18	197	183	—	—	2430	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 25	204	190	—	—	2360	—	—	—	—	—	—	5, 2, 17 同上
〃 3, 4	211	197	—	—	2430	—	—	—	—	—	—	〃 〃 24 同上
〃 〃 11	218	204	—	—	2430	—	—	—	—	—	—	〃 3, 3 同上
〃 〃 18	225	211	—	—	2490	—	—	—	—	—	—	5, 3, 10 LH及び左背皮内に再接種
〃 〃 25	232	218	—	—	2490	—	—	—	—	—	—	
〃 4, 1	239	225	—	—	2330	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 8	246	232	—	—	2330	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	253	239	—	—	2380	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	260	246	—	—	2570	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	267	253	—	—	2570	—	—	—	—	—	—	
〃 5, 6	274	260	—	—	2450	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	281	267	—	—	2620	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	288	274	—	—	2500	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	295	281	—	—	2440	—	—	—	—	—	—	
〃 6, 3	302	288	—	—		—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	309	295	—	—	2500	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	316	302	—	—	2600	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	323	309	—	—	2590	—	—	—	—	—	—	
〃 7, 1	330	316	—	—	2650	—	—	—	—	—	—	

〃 〃 8	337	323	—	—	2640	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	344	330	—	—	2580	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	351	337	—	—	2500	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	358	344	—	—	2470	—	—	—	—	—	—	

Nr. 147　白色　体重 2540 g.　昭和4年8月6日家兎C9（千株48代通過毒）より
右睾丸實質內に0.5及び右背皮內に0.25接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫.脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 8, 6	1		—	—	2540	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	8		—	—	2320	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	15		—	—	2320	—	±	—	—	—	—	RH 索狀に萎縮硬
〃 〃 27	22		—	—	2420	—	±	—	—	—	—	
〃 9, 3	29		—	—	2340	—	±	—	—	—	—	
〃 〃 10	36		—	—	2420	—	±	—	—	—	—	
〃 〃 17	43		—	—	2580	—	±	—	—	—	—	
〃 〃 24	50		—	—	2580	—	±	—	—	—	—	
〃 10, 1	57		—	—	2600	—	±	—	—	—	—	
〃 〃 8	64		—	—	2630	—	±	—	—	—	—	
〃 〃 15	71		—	—	2650	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	78		—	—	2640	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	85		—	—	2610	—	—	—	—	—	—	
〃 11, 5	92		—	—	2610	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 12	99		—	—	2610	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 19	106		—	—	2670	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 26	113		—	—	2680	—	—	—	—	—	—	
〃 12, 3	120		—	—	2700	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	127		—	—	2660	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	134		—	—	2680	—	—	—	—	—	—	

〃 〃 24	141		—	—	2750	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 31	148		—	—	2780	—	—	—	—	—	—	
5, 1, 7	155		—	—	2740	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 14	162		—	—	2730	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 21	169		—	—	2860	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 28	176		—	—	2870	—	—	—	—	—	—	5, 2, 10 ネオエーラミゾール注射
〃 2, 4	183		—	—	2740	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 11	190		—	—	2730	—	—	—	—	—	—	5, 2, 17 同上
〃 〃 18	197		—	—	2860	—	—	—	—	—	—	5, 2, 24 同上
〃 〃 25	204		—	—	2870	—	—	—	—	—	—	5, 3, 3 同上
〃 3, 4	211		—	—	2720	—	—	—	—	—	—	死亡
〃 〃 10	217											

Nr. 148　白色　体重 2170 g.　昭和4年9月9日家兎 Nr. 143（千株49代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 9, 9	1		—	—	2170		—	—	—	—	—	
〃 〃 16	8		—	—	2200		—	—	—	—	—	
〃 〃 23	15		—	—	2280		—	—	—	—	—	
〃 〃 30	22	3	—	—	2200		+	—	—	—	—	RH瀰慢性腫脹
〃 10, 7	29	10	±	+	2160		++	—	—	—	—	
〃 〃 14	36	17	+	+	2210		+++	—	—	—	—	
〃 〃 21	43	24	++	++	2170		+++	—	—	—	—	
〃 〃 28	50	31	+	+	2120		++++	—	—	—	—	RH は腫脹し陰嚢と癒着し潰瘍を形成す
〃 11, 4	57	38	++	+	2080		++++	—	—	—	—	
〃 〃 11	64	45	+	++	2000		++++	—	—	—	—	
〃 〃 18	71	52	++	+++	2200		++++	—	—	—	—	
〃 〃 25	78	59	++	++	2280		St. dec.	—	—	—	—	
〃 12, 2	85	66	+	++	2290		〃	—	—	—	—	

〃 〃 9	92	73	—	++	2300		—	—	—	—	—	
〃 〃 16	99	80	—	+	2260		—	—	—	—	—	
〃 〃 23	106	87	—	+	2320		—	—	—	—	—	
〃 〃 30	114	94	—	+	2240		—	—	—	—	—	
5, 1, 6	120	101	—	+	2300		—	—	—	—	—	
〃 〃 13	127	108	—	+	2180		—	—	—	—	—	
〃 〃 20	134	115	—	—	2180		—	—	—	—	—	
〃 〃 27	141	122	—	—	2210		—	—	—	—	—	
〃 2, 3	148	129	—	—	2170		—	—	—	—	—	
〃 〃 10	155	136	—	—	2060		—	—	—	—	—	5, 2, 10 ネオエーラミゾール注射
〃 〃 17	162	143	—	—	2110		—	—	—	眼瞼炎	—	
〃 〃 24	169	150	—	—	2030		—	—	—	—	—	5, 2, 17 同上
〃 3, 3	176	157	—	—	1920		—	—	—	—	—	〃 〃 24 同上
〃 〃 10	183	164	—	—	2000		—	—	—	—	—	〃 3, 3 同上
〃 〃 13	186	167										死亡

Nr. 149 白色 体重 2180 g. 昭和4年9月9日家兎 Nr. 143 (千株49代通過毒) より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 9, 9	1		—	—	2180		—	—	—	—	—	
〃 〃 16	8		—	—	2180		—	—	—	—	—	
〃 〃 23	15	7	—	—	2090		+	—	—	—	—	
〃 〃 30	22	14	—	+	1780		++	—	—	—	—	4, 10, 2 RH 摘出 TP_{+++}
〃 10, 7	29	21	++	++	1700		○	—	—	—	—	
〃 〃 12	34	26										死亡

Nr. 151　白色　体重 2320 g.　昭和4年10月2日家兎 Nr. 149（千株50代通過毒）より
右睾丸實質內に 0.5 右背皮內に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 10, 2	1		—	—	2320	—	—	—	—	—	—	
” ” 9	8		—	—	2430	—	—	—	—	—	—	
” ” 16	15		—	—	2400	—	—	—	—	—	—	
” ” 23	22	1	—	—	2300	—	+	—	—	—	—	
” ” 30	29	8	—	—	2270	—	+	—	—	—	—	
” 11, 6	36	15	—	—	2160	—	+	—	—	—	—	
” ” 13	43	22	—	+	2340	—	+	—	—	—	—	
” ” 20	50	29	+++	+++	2250	—	+	—	—	—	—	
” ” 27	57	36	+++	++	2200	—	+++	—	—	—	眼瞼炎	
” 12, 4	64	43	++	++	2150	—	+++	—	—	—	”	
” ” 11	71	50	+	+	2160	—	+++	—	—	—	—	
” ” 18	78	57	+	++	2250	—	St. dec.	—	—	—	—	
” ” 25	85	64	+	+	2340	—	”	—	—	—	—	
5, 1, 1	92	71	+	++	2260	—	”	—	—	—	—	
” ” 8	99	78	+	++	2290	—	—	—	—	—	—	
” ” 15	106	85	±	+	2340	—	—	—	—	—	—	
” ” 22	113	92	—	+	2400	—	—	—	—	—	—	
” ” 29	120	99	—	—	2490	—	—	—	—	—	—	
” 2, 5	127	106	—	—	2270	—	—	—	—	—	—	5, 2, 10　ネオエーラミゾール注射
” ” 12	134	113	—	—	2340	—	—	—	—	—	—	
” ” 19	141	120	—	—	2340	—	—	—	—	—	—	5, 2, 17　同上
” ” 26	148	127	—	—	2290	—	—	—	—	—	—	” ” 24　同上
” 3, 5	155	134	—	—	2410	—	—	—	—	—	—	” 3, 3　同上
” ” 12	162	141	—	—	2230	—	—	—	—	—	—	
” ” 19	169	148	—	—	2300	—	—	—	—	—	—	

〃 〃 26	176	155	—	—	2430	—	—	—	—	—	—	
〃 4, 2	183	162	—	—	2400	—	—	—	—	L眼T+	—	5, 4, 23 ネオスチバルサン注射
〃 〃 9	190	169	—	—	2450	—	—	—	—	(點 狀)	—	
〃 〃 16	197	176	—	—	2450	—	—	—	—	〃	—	5, 4, 30 同上
〃 〃 23	204	183	—	—	2530	—	—	—	—	〃	—	〃 5, 7 同上
〃 〃 30	211	190	—	—	2390	—	—	—	—	〃	—	〃 〃 14 同上
〃 5, 7	218	197	—	—	2450	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 14	225	204	—	—	2580	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 21	232	211	—	—	2450	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 28	239	218	—	—	2450	—	—	—	—	〃	—	
〃 6, 4	246	225	—	—	2450	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 11	253	232	—	—	2480	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 18	260	239	—	—	2500	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 25	267	246	—	—	2470	—	—	—	—	〃	—	
〃 7, 2	274	253	—	—	2500	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 9	281	260	—	—	2430	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 16	288	267	—	—	2400	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 23	295	274	—	—	2360	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 30	302	281	—	—	2400	—	—	—	—	〃	—	
〃 8, 6	309	288	—	—	2180	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 13	316	295	—	—	2280	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 20	323	302	—	—	2290	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 27	330	309	—	—	2250	—	—	—	—	〃	—	
〃 9, 3	337	316	—	—		—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 10	344	323	—	—		—	—	—	—	〃	—	

Nr. 152　白色　体重 2325 g.　昭和 4 年10月 2 日家兎 Nr. 149（千株50代通過毒）より
右睪丸實質內に 0.5 右背皮內に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 10, 2	1				2325	—		—	—	—	—	
” ” 9	8				2400	—		—	—	—	—	
” ” 16	15	1			2465	—	++	—	—	—	—	
” ” 23	22	8			2480	—	++	—	—	—	—	
” ” 30	29	15	++	++	2430	—	St. dec.	—	—	—	—	
” 11, 6	36	22			2550	—	”	—	—	—	—	
” ” 13	43	29	++	++	2400	—	”	—	—	—	—	
” ” 20	50	36	++	+++	2330	—	”	—	—	—	—	
” ” 27	57	43	++	++	2480	—	—	—	—	R眼 $T_{+}P_{++}$	—	
” 12, 4	64	50	++	++	2480	—	—	—	—	”	—	
” ” 11	71	57	++	++	2500	—	—	—	—	”	—	
” ” 18	78	64	++	++	2480	—	—	—	—	”	—	
” ” 25	85	71	++	++	2620	—	—	—	—	兩目 P_{+++}	—	
5, 1, 1	92	78	+	++	2490	—	—	—	—	”	—	
” ” 8	99	85	++	++	2490	—	—	—	—	”	—	
” ” 15	106	92	+	++	2450	—	—	—	—	P_{++}	—	
” ” 22	113	99	+	+	2590	—	—	—	—	兩目 P_{+}	—	
” ” 29	120	106	+++	+++	2540	—	—	—	—	—	—	
” 2, 5	127	113	+	++	2480	—	—	—	—	—	—	5, 2, 10 ネオエーラミゾール注射
” ” 12	134	120	—	+	2520	—	—	—	—	—	—	
” ” 19	141	127	—	—	2550	—	—	—	—	—	—	5, 2, 17 同上
” ” 26	148	134	—	—	2390	—	—	—	—	—	—	” ” 24 同上
” 3, 5	155	141	—	—	2500	—	—	—	—	—	—	5, 3, 3 同上
” ” 12	162	148	—	—	2510	—	—	—	—	—	—	5, 3, 10 LH及び背皮內再接種
” ” 19	169	155	—	—	2370	—	—	—	—	—	—	

〃 〃 26	176	162	—	—	1980	—	—	—	—	—	—
〃 4, 2	183	169	—	—	2110	—	—	—	—	—	—
〃 〃 9	190	176	—	—	2180	—	—	—	—	—	—
〃 〃 16	197	183	—	—	2300	—	—	—	—	—	—
〃 〃 23	204	190	—	—	2380	—	—	—	—	—	—
〃 〃 30	211	197	—	—	2410	—	—	—	—	—	—
〃 5, 7	218	204	—	—	2390	—	—	—	—	—	—
〃 〃 14	225	211	—	—	2530	—	—	—	—	—	—
〃 〃 21	232	218	—	—	2430	—	—	—	—	—	—
〃 〃 28	239	225	—	—	2400	—	—	—	—	—	—
〃 6, 4	246	232	—	—	2420	—	—	—	—	—	—
〃 〃 11	253	339	—	—	2500	—	—	—	—	—	—
〃 〃 18	260	246	—	—	2510	—	—	—	—	—	—
〃 〃 25	267	253	—	—	2500	—	—	—	—	—	—
〃 7, 2	274	260	—	—	2450	—	—	—	—	—	—
〃 〃 9	281	267	—	—	2300	—	—	—	—	—	—
〃 〃 16	288	274	—	—	2310	—	—	—	—	—	—
〃 〃 23	295	281	—	—	2380	—	—	—	—	—	—
〃 〃 30	302	288	—	—	2420	—	—	—	—	—	—
〃 8, 6	309	295	—	—	2260	—	—	—	—	—	—
〃 〃 13	316	302	—	—	2280	—	—	—	—	—	—
〃 〃 20	323	309	—	—	2250	—	—	—	—	—	—
〃 〃 27	330	316	—	—	2250	—	—	—	—	—	—
〃 9, 3	337	323									
〃 〃 10	344	330									

Nr. 154　白色　体重 1940 g.　昭和 4 年10月23日家兎 Nr. 153（千株51代通過毒）より
右睪丸實質內に 0.5 及び右背皮內に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 10, 23	1		—	—	1940	—	—	—	—	—	—	
” ” 30	8		—	—	1950	—	—	—	—	—	—	
” 11, 6	15	3	—	—	2200	—	+	—	LH±	—	—	
” ” 13	22	10	++	++	1940	—	+++	—	+	—	—	
” ” 20	29	17	++	+++	2000	—	St. dec.	—	+	—	—	
” ” 27	36	24	++	+	2000	—	”	—	+	—	—	
” 12, 4	43	31	—	—	2040	—	”	—	++	—	—	
” ” 11	50	38	—	—	2100	—	”	—	++	—	—	
” ” 18	57	45	+	—	2140	—	”	—	+++	—	—	
” ” 25	64	52	+	++	2170	—	”	—	+++	—	—	
5, 1, 1	71	59	+	—	2080	—	”	—	St. dec.	—	—	
” ” 8	78	66	+++	+	2180	—	”	—	”	—	—	
” ” 15	85	73	+	+	2230	—	”	—	”	—	—	
” ” 22	92	80	—	+	2480	—	”	—	”	—	—	
” ” 29	99	87	+	++	2330	—	”	—	”	—	—	
” 2, 5	106	94	±	+	2350	—	”	—	”	—	—	
” ” 12	113	101	±	+	2310	—	”	—	”	—	—	5, 2, 10　ネオエーラミゾール注射
” ” 19	120	108	—	+	2360	—	”	—	—	—	—	
” ” 26	127	115	—	+	2180	—	—	—	—	—	—	5, 2, 17　同上
” 3, 5	134	122	—	+	2250	—	—	—	—	—	—	” ” 24　同上
” ” 12	141	129	—	—	2000	—	—	—	—	—	—	” 3, 3　同上
” ” 19	148	136	—	—	2300	—	—	—	—	—	—	
” ” 26	155	143	—	—	2320	—	—	—	—	—	—	
” 4, 2	162	150	—	—	2210	—	—	—	—	—	—	
” ” 9	169	157	—	—	2330	—	—	—	—	—	—	

〃 〃 16	176	164	—	—	2330	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	183	171	—	—	2450	—	—	—	—	—	—	5, 4, 23 ネオスチバルサン注射
〃 〃 30	190	178	—	—	2500	—	—	—	—	—	—	5, 4, 30 同上
〃 5, 7	197	185	—	—	2420	—	—	—	—	—	—	〃 5, 7 同上
〃 〃 14	204	192	—	—	2400	—	—	—	—	—	—	〃 〃 14 同上
〃 〃 21	211	199	—	—	2460	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 28	218	206	—	—	2420	—	—	—	—	—	—	
〃 6, 4	225	213	—	—	2450	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 11	232	220	—	—	2450	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 18	239	227	—	—	2560	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 25	246	234	—	—	2570	—	—	—	—	—	—	
〃 7, 2	253	241	—	—	2450	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 9	260	248	—	—	2410	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	267	255	—	—	2420	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	274	262	—	—	2410	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 30	281	266	—	—	2450	—	—	—	—	—	—	
〃 8, 6	288	276	—	—	2570	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	295	283	—	—	2500	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	302	290	—	—	2500	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	309	297	—	—	2480	—	—	—	—	—	—	
〃 9, 3	316	304	—	—		—	—	—	—	—	—	

Nr. 156 白色 体重 2240 g. 昭和4年10月23日家兎 Nr. 153（千株51代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 及び右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 10, 23	1		—	—	2240	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 30	8		—	—	1910	—	—	—	—	—	—	
〃 11, 6	15	6	—	+	1980	++	—	—	—	—	—	

〃 〃 13	22	13	++	++	1980	+++	+	—	—	—	—	RH被膜肥厚す
〃 〃 20	29	20	++	++	1980	+++	+	—	—	—	—	
〃 〃 27	36	27	++	++	1950	St. dec.	—	—	—	—	—	
〃 12, 4	43	34	++	++	2000	〃	—	—	—	—	—	
〃 〃 11	50	41	+	++	2040	St. an.	—	—	—	—	—	
〃 〃 18	57	48	—	++	1830	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	61	52				—	—	—	—	—	—	死　亡

Nr. 157　白色　体重 2260 g.　昭和4年11月13日家兎 Nr. 155（千株51代通過毒）より
右睾丸實質内に 0.5 及び右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 11, 13	1		—	—	2260	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	8	2	—	—	2040	+	+	—	—	—	—	
〃 〃 27	15	9	—	+	2150	St. dec.	+	—	—	—	—	
〃 12, 4	22	16	—	+	2140	—	St. dec.	—	—	—	—	
〃 〃 11	29	23	—	+	2190	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 18	36	30	+++	+++	2080	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 25	43	37	+	+++	2190	—	〃	—	—	—	—	
5, 1, 1	50	44	+	+++	2140	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 8	57	51	+++	++	2160	—	〃	—	—	—	—	5, 1, 13　左背皮内に同菌株再接種
〃 〃 15	64	58	+++	+++	2160	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 22	71	65	+++	+++	2100	++	黑色壞疽	—	LH+++	—	—	
〃 〃 29	78	72	+++	+++	2050	St. dec.	〃	—	〃	—	—	
〃 2, 5	85	79	+	+	2030	—	〃	—	〃	—	—	
〃 〃 12	92	86	++	+	2040	—	〃	—	〃	—	—	
〃 〃 19	99	93	++	++	2030	—	〃	—	〃	—	眼瞼炎	
〃 〃 26	106	100	+	+	1860	—	〃	—	〃	—	—	
〃 3, 3	111	105										死　亡

Nr. 158 白色 体重 1770 g. 昭和4年11月13日家兎 Nr. 155 (千株51代通過毒) より
右睾丸實質内に 0.5 及び右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 11, 13	1		—	—	1770	—	—	—	—	—	—	
” ” 20	8	2	—	—	1750	+	+	—	—	—	—	RH被膜肥厚
” ” 27	15	9	—	+	1700	+	+	—	—	—	—	
” 12, 4	22	16	+	++	1700	++	+	—	—	—	—	
” ” 11	29	23	+	++	1640	++	+	—	—	—	—	被膜に3個の大豆大の硬結を觸知す
” ” 18	36	30	+++	+++	1690	+++	++	—	—	—	—	
” ” 25	43	37	++	++	1790	+++	+++	—	—	—	—	
5, 1, 1	50	44	++	++	1690	+++	+++	—	—	—	—	
” ” 8	57	51	+++	++	1910	+++	+++	—	—	—	—	5, 1, 13 右背皮内に再接種
” ” 15	64	58	+++	+++	1910	+++	+++	—	—	—	—	
” ” 22	71	65	+++	+++	1760	+++	+++	—	—	—	—	
” ” 29	78	72	+++	+++	1830	+++	+++	—	LH++	—	—	
” 2, 5	85	79	+++	++	1820	+++	+++	—	++	—	—	
” ” 12	92	86	+++	++	1830	St. dec.	+++	—	++	—	—	
” ” 19	99	93	+++	+++	1770	—	+++	—	+++	—	—	
” ” 26	106	100	+++	+++	1760	—	+++	—	+++	—	—	
” 3, 5	113	107	+++	+++	1890	—	St. dec.	—	St. dec.	—	—	
” ” 12	120	114	+++	+++	1790	—	”	—	”	—	—	
” ” 19	127	121	+++	+++	1790	—	”	—	”	—	—	
” ” 26	134	128	+++	+++	1820	—	”	—	”	—	—	
” 4, 2	141	135	+++	+++	1770	—	”	—	”	—	—	
” ” 9	148	142	+++	+++	1760	—	”	—	”	—	—	
” ” 16	155	149	+++	+++	1750	—	”	—	”	—	—	兩H尙ゴム腫狀を呈す
” ” 23	162	156	+++	+++	1840	—	”	—	”	—	—	
” ” 30	169	163	++	++	1820	—	”	—	”	—	—	死亡

Nr. 159　白色　体重 1640 g.　昭和4年11月13日家兎 Nr. 155（千株51代通過毒）より
右睾丸實質內に 0.5 右背皮內に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	居所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 11, 13	1		−	−	1640	−	−	−	−	−	−	
” ” 20	8	2	−	−	1730	+	−	−	−	−	−	
” ” 27	15	9	+	+	1730	⧻	+	−	−	−	−	4, 11, 26 RH 莢膜に大豆大硬結
” 12, 4	22	16	++	++	1700	⧻	+	−	−	−	−	
” ” 11	29	23	++	++	1700	⧻	+	−	−	−	−	
” ” 18	36	30	++	++	1730	⧻	+	−	−	−	−	同　硬結3個
” ” 25	43	37	+	+	1850	⧻	⧻	−	−	−	−	磊塊狀になり陰囊に癒着す
5, 1, 1	50	44	+	⧻	1690	⧻	⧻	−	−	−	−	
” ” 8	57	51	⧻	⧻	1680	St. dec.	⧻	−	−	−	−	5, 1, 13 同菌株を左背皮內再接種
” ” 15	64	58	⧻	⧻	1680	”	⧻	−	LH++	−	−	
” ” 22	71	65	⧻	⧻	1710	”	⧻	−	”	−	−	
” ” 29	78	72	⧻	⧻	1650	St. an.	⧻	−	”	−	−	
” 2, 5	85	79	++	+	1650	”	St. dec.	−	St. dec.	−	−	
” ” 12	92	86	+	+	1630	−	”	−	”	−	−	
” ” 19	99	93	±	+	1680	−	”	−	−	−	−	
” ” 26	106	100	−	+	1660	−	”	−	−	−	−	
” 3, 5	113	107	−	+	1690	−	”	−	−	−	−	
” ” 12	120	114	−	+	1650	−	”	−	−	−	−	
” ” 16	124	118										死亡

Nr. 160　白色　体重 1980 g.　昭和 4 年12月 3 日家兎 Nr. 157（千株52代通過毒）より
右睪丸實質内に 0.5 右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 12, 3	1				1980		−	−	−	−	−	
” ” 10	8	1			2070	+	−	−	−	−	−	
” ” 17	15	8			1990	+	−	−	−	−	−	
” ” 24	22	15	++	++	1990	++	+	−	−	−	−	4, 12, 24 RH 元形の儘輕く腫脹
” ” 31	29	22	+++	+++	2170	−	++	−	−	−	−	
5, 1, 7	36	29	+	++	2160	−	++	−	−	−	−	
” ” 14	43	36	++	++	2140	−	+++	−	−	−	−	5, 1, 13 LH及びL背皮内に再接種
” ” 21	50	43	++	+++	2180	−	+++	−	−	−	−	
” ” 28	57	50	+++	+++	2190	−	+++	−	−	−	−	
” 2, 4	64	57	+	++	2150	−	+++	−	−	−	−	RH 3個の硬結を殘す
” ” 11	71	64	++	++	2210	−	+++	−	−	−	−	硬結は癒合して塊塊狀となる
” ” 18	78	71	++	+++	2250	−	+++	−	−	−	−	
” ” 25	85	78	−	++	2230	−	St. dec.	−	−	R眼 $T_{+}P_{+++}$	−	5, 3, 10 ネオエーラミゾール注射
” 3, 4	92	85	−	+	2420	−	”	−	−	$P_{+}T_{-}$	−	
” ” 11	99	92	−	++	2350	−	”	−	−	”	−	5, 3, 17 同上
” ” 18	106	99	−	+	2350	−	”	−	−	$T_{+}P_{+}$	−	” ” 24 同上
” ” 25	113	106	−	+	2380	−	−	−	−	P_{+}	−	” ” 31 同上
” 4, 1	120	113	−	−	2340	−	−	−	−	−	−	” 4, 7 同上
” ” 8	127	120	−	−	2420	−	−	−	−	−	−	” ” 14 同上
” ” 15	134	127	−	−	2470	−	−	−	−	−	−	
” ” 22	141	134	−	−	2480	−	−	−	−	−	−	
” ” 29	148	141	−	−	2460	−	−	−	−	−	−	
” 5, 6	155	148	−	−	2530	−	−	−	−	−	−	
” ” 13	162	155	−	−	2480	−	−	−	−	−	−	
” ” 20	169	162	−	−	2370	−	−	−	−	−	−	

〃 〃 27	176	169	—	—	2500	—	—	—	—	—	—	
〃 6, 3	183	176	—	—	2520	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	190	183	—	—	2600	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	197	190	—	—	2670	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	204	197	—	—	2620	—	—	—	—	—	—	
〃 7, 1	211	204	—	—	2590	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 8	218	211	—	—	2560	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	225	218	—	—	2470	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	232	225	—	—	2300	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	239	232	—	—	2500	—	—	—	—	—	—	
〃 8, 5	246	239	—	—	2640	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 12	253	246	—	—	2550	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 19	260	253	—	—	2550	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 26	267	260	—	—	2560	—	—	—	—	—	—	
〃 9, 2	274	267										

Nr. 161　白色　体重 2050 g.　昭和5年12月3日家兎 Nr. 157（千種52代通過毒）より
右睾丸實質內に及び右背皮內に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 12, 3	1				2050	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	8	2			2110	+	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	15	9			2160	++	+++	—	—	—	—	4, 12, 17 RH 急速に拇指頭大に腫脹
〃 〃 24	22	16	+++	++	2160	+++	+++	—	—	—	—	
〃 〃 31	29	23	+++	+++	2170	+++	+++	—	—	—	—	
5, 1, 7	36	30	+++	+++	2160	+++	+++	—	—	—	—	5, 1, 13 LH及び左背皮內に同菌株再接種
〃 〃 14	43	37	++	++	2100	+++	+++	—	—	—	—	
〃 〃 21	50	44	+++	+++	2100	+++	+++	—	—	—	—	
〃 〃 28	57	51	++	++	2100	+++	+++	—	—	—	—	R. C. R.+

” 2, 4	64	58	—	+	2110	+++	+++	—	—	—	—	R. C. R.++
” ” 11	71	65	—	+	2140	+++	+++	—	—	—	—	R. C. R.+++
” ” 18	78	72	—	+	2140	St. dec.	+++	—	—	—	—	R. C. R.+++
” ” 25	85	79	—	+	1950	St. an.	St. dec.	—	—	—	—	R. C. R. St. dec.
” 3, 4	92	86	—	+	2190	”	”	—	—	R眼T+P+	—	R. C. R.—
” ” 11	99	93	—	+	2050	—	”	—	—	R眼P++	—	R. H. 脱出
” ” 18	106	100	—	+	2170	—	”	—	—	—	—	”
” ” 25	113	107	—	+	2170	—	”	—	—	—	—	”
” 4, 1	120	114	—	—	2090	—	—	—	—	—	—	5, 3, 10 ネオエーラミゾール注射
” ” 8	127	121	—	—	2180	—	—	—	—	L眼P++	—	
” ” 15	134	128	—	—	2190	—	—	—	—	”	—	5, 3, 17 同上
” ” 22	141	135	—	—	2280	—	—	—	—	”	—	5, 3, 24 同上
” ” 29	148	142	—	—	2210	—	—	—	—	—	—	” ” 31 同上
” 5, 6	155	149	—	—	2190	—	—	—	—	R眼T+P+	—	” ” 17 同上
” ” 13	162	136	—	—	2170	—	—	—	—	”	—	” ” 14 同上
” ” 20	169	163	—	—	1940	—	—	—	—	—	—	
” ” 27	176	170	—	—	2060	—	—	—	—	—	—	
” 6, 3	183	177	—	—	2060	—	—	—	—	—	—	
” ” 10	190	184	—	—	2140	—	—	—	—	—	—	
” ” 17	197	191	—	—	2260	—	—	—	—	—	—	
” ” 24	204	198	—	—	2300	—	—	—	—	—	—	
” 7, 1	211	205	—	—	2180	—	—	—	—	—	—	
” ” 8	218	212	—	—	2230	—	—	—	—	—	—	
” ” 15	225	219	—	—	2210	—	—	—	—	—	—	
” ” 22	232	226	—	—	2180	—	—	—	—	—	—	
” ” 29	239	233	—	—	2170	—	—	—	—	—	—	
” 8, 5	246	240	—	—	2050	—	—	—	—	—	—	
” ” 12	253	247	—	—	2000	—	—	—	—	—	—	
” ” 19	260	254	—	—	2050	—	—	—	—	—	—	
” ” 26	267	261	—	—	2100	—	—	—	—	—	—	
” 9, 2	274	268	—	—								

Nr. 163　白色　体重 2040 g.　昭和4年12月20日家兎 Nr. 162（千株53代通過毒）より
右睾丸實質內に 0.5 右背皮內に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 12, 20	1		—	—	2040	—	—	—	—	—	—	
” ” 27	8		—	—	1870	—	—	—	—	—	—	5, 1, 5 右陰囊に小丘疹を生ず
5, 1, 3	15	7	—	—	1870	+	—	—	—	—	—	
” ” 10	22	15	—	—	1740	++	+	—	—	—	—	5, 1, 13 左背皮內に同菌株再接種
” ” 17	29	22	—	—	1910	++	++	—	—	—	—	
” ” 24	36	29	+++	+	2000	+++	+++	—	—	—	—	
” ” 31	43	36	+++	+++	2000	+++	+++	—	—	—	—	
” 2, 7	50	43	++	+	2070	+++	+++	—	LH+++	—	—	
” ” 14	57	50	++	+	2040	+++	+++	—	”	—	—	
” ” 21	64	57	—	+	1960	St. dec.	+++	—	”	—	—	
” ” 28	71	64	—	+	1920	”	+++	—	+++	—	—	5, 3, 10 ネオエーラミゾール注射
” 3, 7	78	71	++	++	1890	St. an.	+++	—	+++	—	—	
” ” 14	85	78	+	+	1930	—	+++	—	+++	—	—	5, 3, 17 同上
” ” 21	92	85	—	—	1960	—	St. dec.	—	St. dec.	—	—	” ” 24 同上
” ” 28	99	92										死亡

Nr. 164　白色　体重 1940 g.　昭和4年12月20日家兎 Nr. 162（千株53代通過毒）より
右睾丸實質內に 0.5 右背皮內に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 12, 20	1		—	—	1940		—	—	—	—	—	
” ” 27	8	1	—	—	2000	+	—	—	—	—	—	5, 1, 3 RH+
5, 1, 3	15	8	—	—	2000	++	+	—	—	—	—	
” ” 10	22	15	—	—	2000	++	+	—	—	—	—	

〃 〃 17	29	22	—	—	2050	+++	+	+	—	—	—	5, 1, 13 同菌株を L睾丸實質內及び L背皮內接種
〃 〃 24	36	29	—	—	2010	+++	—	+	—	—	—	
〃 〃 31	43	36	—	—	1970	St. dec.	LH++	+	—	—	—	
〃 2, 7	50	43	+++	++	2000	〃	〃	—	—	—	—	5, 1, 24 L. C. R. +
〃 〃 14	57	50	++	++	2010	St. an.	LH+++	—	—	—	—	5, 1, 28 ++
〃 〃 21	64	57	±	+	2090	—	〃	—	—	—	—	5, 2, 3 +++ 5, 2, 21 +++
〃 〃 28	71	64	+	+	1980	—	St. dec.	—	—	—	—	〃 〃 25 St. dec.
〃 3, 7	78	71	+	+	2110	—	〃	—	—	—	—	5, 3, 3 St. an. 〃 〃 10 —
〃 〃 14	85	78	—	+	1990	—	—	—	—	—	—	5, 3, 10 ネオエーラミゾール注射
〃 〃 21	92	85	—	+	2040	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	95	88										死亡

Nr. 165 白色 体重 2160 g. 昭和4年12月20日家兎 Nr. 162 (千株53代通過毒) より右睾丸實質內に 0.5 右背皮內に 0.25 接種

月日	血淸反應及症候		血淸反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 12, 20	1				2160	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	8	1			2280	+	—	—	—	—	—	
5, 1, 3	15	8			2270	+++	—	—	—	—	—	5, 1, 13 同菌株を左背皮內に再接種
〃 〃 10	22	15			2190	+++	+	—	—	—	—	
〃 〃 17	29	22			2220	+++	++	—	—	—	—	R. C. R.
〃 〃 24	36	29	+++	++	2210	+++	+++	—	—	—	—	5, 1, 21 +
〃 〃 31	43	36	+++	+++	2130	+++	+++	—	—	—	—	5, 1, 28 ++
〃 2, 7	50	43	++	++	2110	+++	+++	Ri+++	—	—	—	5, 2, 7 +++
〃 〃 14	57	50	++	++	2100	St. dec.	+++	—	—	—	—	〃 〃 25 St. dec.
〃 〃 21	64	57	++	++	2160	〃	+++	—	—	—	—	5, 3, 10 St. an.
〃 〃 28	71	64	++	++	2160	St. an.	St. dec.	—	—	—	—	5, 3, 26 —
〃 3, 7	78	71	++	++	2310	〃	〃	—	—	—	—	
〃 〃 14	85	78	+	+++	2260	〃	〃	—	—	—	—	

〃 〃 21	92	85	⧺	⧺	2260	〃	〃	—	—	—	—	
〃 〃 28	99	92	⧺	⧺	2260	—	〃	—	—	—	—	
〃 4, 4	106	99	⧺	⧺	2280	—	〃	—	—	—	—	
〃 〃 11	113	106	＋	＋	2320	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 18	120	113	±	＋	2300	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 25	127	120	±	＋	2260	—	—	—	—	—	—	
〃 5, 2	134	127	—	＋	2270	—	—	—	—	—	—	5, 5, 14 ネオスチバルサン注射
〃 〃 9	141	134	—	—	2290	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	148	141	—	—	2310	—	—	—	—	—	—	〃 〃 21 同上
〃 〃 23	155	148	—	—	2160	—	—	—	—	—	—	〃 〃 28 同上
〃 〃 30	162	155	—	—	2020	—	—	—	—	—	—	〃 6, 4 同上
〃 6, 6	169	162	—	—	2080	—	—	—	—	—	—	〃 〃 11 同上
〃 〃 13	176	169	—	—	2200	—	—	—	—	—	—	〃 〃 16 同上
〃 〃 20	183	176	—	—	2290	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	190	183	—	—	2280	—	—	—	—	—	—	
〃 7, 4	197	190	—	—	2260	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 11	204	197	—	—	2260	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 18	211	204	—	—	2260	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 25	218	211	—	—	2210	—	—	—	—	—	—	
〃 8, 1	225	218	—	—	2240	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 8	232	225	—	—	2310	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	239	232	—	—	2290	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	246	239	—	—	2290	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	253	246	—	—	2320	—	—	—	—	—	—	
〃 9, 5	260	253	—	—	2350	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 12	267	260	—	—		—	—	—	—	—	—	

(B) 睾丸實質內接種を施し局所の發病後之を摘出せるもの

S 4 白色 体重 2650 g. 昭和4年1月10日家兎 Nr. 117 (千株39代通過毒) より
右睾丸實質內に 0.5 右背皮內に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 10	1				2650	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 16	7				2665	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 23	14				2680	++	−	−	−	−	−	4, 1, 27 R 陰囊穿刺點に粟粒大の蠟樣色澤を有する小隆起
〃 〃 27	18	1			2695	+	+	−	−	−	−	
〃 〃 30	21	4			2720	+	−	−	−	−	−	
〃 2, 6	28	11				+++	+	−	−	−	−	
〃 〃 7	29	12				+++	++	−	−	−	−	
〃 〃 8	30	13	+	−		+++	++	−	−	−	−	RH. 摘出 LH. 同上
〃 〃 9	31	14	+	−	2670	+++	○	−	○	−	−	
〃 〃 13	35	18	−	−	2650	+++	○	−	○	−	−	
〃 〃 20	42	25	−	−	2700	St. dec.	○	++	○	−	−	
〃 〃 27	49	32	−	−	2630	〃	○	++	○	−	−	
〃 3, 6	56	39	−	−	2620	St. an.	○	++	○	−	−	
〃 〃 12	62	45	−	−	2520	〃	○	−	○	−	−	左背皮內に再接種 (同菌株)
〃 〃 20	70	53	−	−	2590	〃	○	−	○	−	−	
〃 〃 27	77	60	−	−	2580	−	○	−	○	−	−	
〃 4, 1	82	65	++	+	2655	−	○	−	○	−	−	
〃 〃 8	84	67	++	+	2655	−	○	−	○	−	−	
〃 〃 10	91	74	+	+	2730	−	○	−	○	−	−	
〃 〃 17	98	81	−	+	2860	−	○	−	○	兩眼 T++ P++	−	
〃 〃 24	105	88	−	+	2850	−	○	−	○	〃	−	
〃 5, 1	112	95	−	+	2770	−	○	−	○	〃	−	
〃 〃 8	119	102	−	+	2860	−	○	−	○	〃	−	

〃 〃 15	126	109	—	+	2960	—	○	—	○	〃	—	
〃 〃 22	133	116	—	+	2910	—	○	—	○	〃	—	
〃 〃 29	140	123	—	+	2980	—	○	—	○	兩眼 $T_{III}P_{II}i_{+}$	—	
〃 6, 5	147	130	—	+	2870	—	○	—	○	〃	—	4, 6, 17 左背皮内に同菌株を再接種
〃 〃 12	154	137	—	+	2920	—	○	—	○	〃	—	
〃 〃 19	161	144	—	+	2900	—	○	—	○	〃	—	
〃 〃 26	168	151	—	+	2800	—	○	—	○	〃	—	
〃 7, 3	175	158	—	+	2760	—	○	—	○	〃	—	
〃 〃 10	182	165	—	+	2840	—	○	—	○	$T_{III}P_{II}i_{+}$	—	
〃 〃 17	189	172	—	±	2870	—	○	—	○	〃	—	
〃 〃 24	196	179	—	—	2840	—	○	—	○	$T_{II}P_{+}$	—	
〃 〃 31	203	186	—	—	2690	—	○	—	○	〃	—	
〃 8, 7	210	193	—	—	2840	—	○	—	○	〃	—	
〃 〃 14	217	200	—	—	2870	—	○	—	○	〃	—	
〃 〃 21	224	207	—	—	2840	—	○	—	○	〃	—	
〃 〃 28	231	214	—	—	2700	—	○	—	○	$T_{+}P_{+}$	—	
〃 9, 4	238	221	—	—	2720	—	○	—	○	〃	—	
〃 〃 11	245	228	—	—	2730	—	○	—	○	〃	—	
〃 〃 17	251	234	—	—	2770	—	○	—	○	〃	—	

S 5　白色　体重 2160 g.　同　上

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 10	1		—	—	2160	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	7		—	—	2165	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	14		—	—	2140	+	—	—	—	—	—	
〃 〃 30	21		—	+	2150	++	—	—	—	—	—	
〃 2, 6	28	2	—	+	2190	+++	+	—	—	—	—	4, 2, 5 RH+
〃 〃 13	35	9	++	++	2215	+++	+	—	—	—	—	

〃 〃 18	40	14	++	+++	2225	+++	+	++	−	−	−	両H摘出
〃 〃 20	42	16	++	+++	2250	+++	○	++	○	−	−	4, 2, 22 LH摘出跡拇指頭大に腫脹す
〃 〃 27	49	23	+	++	2250	+++	L++	++	○	−	−	
〃 3, 6	56	30	+	+	2270	St. dec.	L+++	++	○	−	−	
〃 〃 13	63	37	−	−	2180	〃	St. dec.	++	○	−	−	
〃 〃 20	70	44	−	−	2310	St. an.	〃	−	○	−	−	
〃 〃 27	77	51	−	−	2320	−	〃	−	○	−	−	
〃 4, 3	84	58	−	−	2320	−	〃	−	○	−	−	
〃 〃 10	91	65	−	−	2330	−	〃	−	○	−	−	
〃 〃 17	98	72	−	−	2340	−	〃	−	○	−	−	
〃 〃 24	105	79	−	−	2380	−	○	−	○	−	−	
〃 5, 1	112	86	−	−	2310	−	○	−	○	−	−	
〃 〃 8	119	93	−	−	2230	−	○	−	○	−	−	
〃 〃 15	126	100	−	−	2230	−	○	−	○	−	−	
〃 〃 22	133	107	−	−	2240	−	○	−	○	−	−	
〃 〃 29	140	114	−	−	2430	−	○	−	○	−	−	
〃 6, 5	147	121	−	−	2410	−	○	−	○	−	−	
〃 〃 12	154	128	−	−	2400	−	○	−	○	−	−	
〃 〃 19	161	135	−	−	2310	−	○	−	○	−	−	
〃 〃 26	168	142	−	−	2380	−	○	−	○	−	−	4, 6, 17 左背皮内に再接種（同菌株）
〃 7, 3	175	149	−	−	2280	−	○	−	○	右眼$T_{+++}P_{++}$	−	
〃 〃 10	182	156	−	−	2340	−	○	−	○	〃	−	
〃 〃 17	189	163	−	−	2300	−	○	−	○	〃	−	
〃 〃 24	196	170	−	−	2180	−	○	−	○	〃	−	
〃 〃 31	203	177	−	−	1990	−	○	−	○	〃	−	
〃 8, 7	210	184	−	−	1800	−	○	−	○	$T_{++}P_{+}$	−	
〃 〃 14	217	191	−	−	1760	−	○	−	○	〃	−	
〃 〃 21	224	198	−	−	1720	−	○	−	○	〃	−	
〃 〃 28	231	205	−	−	1850	−	○	−	○	$T_{+}P_{+}$	−	
〃 9, 4	238	212	−	−	1930	−	○	−	○	〃	−	
〃 〃 11	245	219	−	−	2040	−	○	−	○	−	−	

〃 〃 18	252	226	—	—	2060	—	○	—	○	—	—
〃 〃 25	259	233	—	—	2020	—	○	—	○	—	—
〃 10, 2	266	240	—	—	1990	—	○	—	○	—	—
〃 〃 9	273	247	—	—	2000	—	○	—	○	—	—
〃 〃 16	280	254	—	—	2010	—	○	—	○	—	—
〃 〃 23	287	261	—	—	2150	—	○	—	○	—	—
〃 〃 28	292	268	—	—	2100	—	○	—	○	—	—

S 8　白色　体重 .2380 g.　同　上

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 10	1		—	—	2380	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	7		—	—	2470	—	—		—	—		
〃 〃 23	14	1	—	—	2470	++	+		—	—		
〃 〃 30	21	8	—	+	2390	+++	++		—	—		兩H摘出
〃 2, 6	28	15	+	+	2435	+++	○		○	—		
〃 〃 13	35	22	+	+	2120	+++	○		○	—		
〃 〃 20	42	29	±	—	2435	+++	○		○	—		
〃 〃 27	49	36	++	+	2385	+++	○		○	—		
〃 3, 6	56	43	+	±	2370	St. dec.	○		○	—		
〃 〃 13	63	50	—	—	2370	〃	○		○	—		
〃 〃 20	70	57	—	—	2440	St. an.	○		○	—		
〃 〃 27	77	64	—	—	2550	—	○		○	—		
〃 4, 3	84	71	—	—	2500	—	○		○	—		
〃 〃 10	91	78	—	—	2540	—	○		○	—		
〃 〃 17	98	85	—	—	2570	—	○		○	—		
〃 〃 24	105	92	—	—	2620	—	○		○	—		
〃 5, 1	112	99	—	—	2580	—	○		○	—		
〃 〃 8	119	116	—	—	2640	—	○		○	—		下半身麻痺

〃 〃 15	126	123	—	—	2620	—	○		○	—	包皮稍々糜爛	下痢衰弱
〃 〃 21	132	130	—	—	2510	—	○		○	—		死亡

Nr. 120　白色　体重 2600 g.　昭和4年1月10日家兎 Nr. 117（千株39代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 10	1		—	—	2600			—	—	—	—	
〃 〃 17	8		—	—	2670			—	—	—	—	
〃 〃 24	15	1	—	—	2660		+	—	—	—	—	
〃 〃 31	22	8	++	—	2780		+	—	—	—	—	
〃 2, 7	29	15	+++	++	2630		+++	—	—	—	—	4, 2, 7 両H摘出
〃 〃 14	36	22	++	+	2610		○	—	—	—	—	
〃 〃 21	43	29	++	+	2770		○	—	—	—	—	
〃 〃 28	50	36	+	+	2530		○	—	—	—	—	4, 3, 12 右背皮内再接種
〃 3, 7	57	43	+	+	2480		○	—	—	—	—	
〃 〃 14	64	50	++	±	2420		○	—	—	—	—	
〃 〃 21	71	57	+	+	2380		○	—	—	—	—	
〃 〃 28	78	64	++	++	2440		○	—	—	—	—	
〃 4, 4	85	71	++	+	2340		○	—	—	—	—	
〃 〃 11	92	78	+++	+			○	—	—	—	—	
〃 〃 18	99	85	++	—	2320		○	—	—	—	—	
〃 〃 25	106	92	++	—	2380		○	—	—	—	—	
〃 5, 2	113	99	+	—	2470		○	—	—	—	—	
〃 〃 9	120	106	+	+	2500		○	—	—	4, 5, 14 右$T_{+}P_{++}$ 左P_{+}	—	
〃 〃 16	127	113	—	+	2460		○	—	—		—	
〃 〃 23	134	120	—	+	2500		○	—	—		—	
〃 〃 30	141	127	—	+	2280		○	—	—	両眼 $T_{+}P_{+}i_{+}$	—	
〃 6, 6	148	134	—	+	2490		○	—	—	R.$T_{+++}P_{++}i_{+}$	—	
〃 〃 13	155	141	—	+	2480		○	—	—	L.$T_{+}P_{+}i_{\pm}$	—	

〃 〃 20	162	148	—	+	2460		○	—	—	R.T++P++i+	—	首を左に傾く
〃 〃 27	169	155	—	+	2390		○	—	—	L. —	—	〃
〃 7, 4	176	162	—	+	2470		○	—	—	R. T+	—	〃
〃 〃 11	183	169	—	+	2470		○	—	—	—	—	
〃 〃 18	190	176	—	+	2440		○	—	—	—	—	
〃 〃 25	197	183	—	+	2400		○	—	—	—	—	
〃 8, 1	204	190	—	+	2500		○	—	—	—	—	
〃 〃 8	211	197	—	+	2560		○	—	—	—	—	
〃 〃 15	218	204	—	+	2560		○	—	—	—	—	
〃 〃 22	225	211	—	+	2550		○	—	—	—	—	
〃 〃 29	232	218	—	+	2560		○	—	—	—	—	
〃 9, 5	239	225	—	+	2480		○	—	—	—	—	
〃 〃 12	246	232	—	+	2470		○	—	—	—	—	
〃 〃 19	253	239	—	+	2490		○	—	—	—	—	
〃 〃 26	260	246	—	+	2490		○	—	—	—	—	
〃 10, 3	267	253	—	+	2540		○	—	—	—	—	
〃 〃 10	274	260	—	+	2600		○	—	—	—	—	
〃 〃 17	281	267	—	+	2580		○	—	—	—	—	
〃 〃 24	288	274	—	+	2600		○	—	—	—	—	
〃 〃 31	295	281	—	+	2570		○	—	—	—	—	
〃 11, 7	302	288	—	++	2630		○	—	—	—	—	
〃 〃 14	309	295	—	++	2570		○	—	—	—	—	
〃 〃 21	316	302	—	++	2500		○	—	—	—	—	
〃 〃 28	323	309	—	+	2650		○	—	—	—	—	
〃 12, 5	330	316	—	+	2610		○	—	—	—	—	
〃 〃 12	337	323	—	—	2660		○	—	—	—	—	
〃 〃 19	344	330	—	—	2630		○	—	—	—	—	
〃 〃 26	351	337	—	—	2650		○	—	—	—	—	
5, 1, 2	358	344	—	—	2650		○	—	—	—	—	
〃 〃 9	365	351	—	—	2370		○	—	—			
〃 〃 16	372	358	—	—	2460		○	—	—			

〃 〃 23	379	365	—	—	2580		○	—	—			
〃 〃 30	386	372	—	—	2540		○	—	—			
〃 2, 6	393	379	—	—	2520		○	—	—			
〃 〃 13	400	386	—	—	2430		○	—	—			
〃 〃 20	407	393	—	—	2280		○	—	—	兩目P+	鼻口糜爛	
〃 〃 27	414	400	—	±	2100		○	—	—	〃	〃	5, 3, 3 右眼瞼下部に雀卵大のゴム腫狀の腫瘤
〃 3, 6	421	407	—	+	2260		○	—	—	眼瞼炎	〃	
〃 〃 13	428	414	—	+	2440		○	—	—	〃	〃	
〃 〃 20	435	421	—	+	2440		○	—	—	〃	〃	〃
〃 〃 27	442	428	—	+	2250		○	—	—	〃	〃	〃
〃 4, 3	449	435	—	+	2240		○	—	—	〃	〃	同上 鷄卵大
〃 〃 10	456	442	—	+	2190		○	—	—	〃	〃	〃
〃 〃 17	463	449	—	—	2150		○	—	—	〃	〃	同上 鶏卵大
〃 〃 24	470	456	—	—	2380		○	—	—	〃	〃	上顎骨肥厚す 〃
〃 5, 1	477	463	—	—	2400		○	—	—	〃	〃	撮影
〃 〃 8	484	470	—	—	2310		○	—	—	〃	〃	腫瘤小となる
〃 〃 15	491	477	—	—	2300		○	—	—	〃	〃	〃
〃 〃 22	498	484	—	—	2250		○	—	—	〃	〃	略々平坦となる
〃 〃 29	505	491	—	—	2250		○	—	—	〃	〃	但し瘢痕を殘す
〃 6, 5	512	498	—	—	2280		○	—	—	〃	〃	
〃 〃 12	519	505	—	—	2230		○	—	—	〃	〃	
〃 〃 19	526	512	—	—	2230		○	—	—	〃	〃	
〃 〃 26	533	519	—	—	2260		○	—	—	〃	〃	

S 10 白色 体重 2350 g. 昭和4年1月30日家兎S8（千株40代通過毒）より
右背皮内に 0.25 右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 30	1		—	—	2350	—	—	—	—	—	—	

〃 2, 6	8		−	−	1750	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 13	15		−	−	1725	++	−	−	−	−	−	
〃 〃 20	22	5	++	+	1750	+++	+++	−	−	−	−	
〃 〃 21	23	6	+++	+		+++	○	−	−	−	−	4, 1, 21 兩H摘出
〃 〃 22	24	7	+++	+	1800	+++	○	−	−	−	−	
〃 〃 27	29	12	+	+		St. dec.	○	−	−	−	−	
〃 3, 6	36	19	−	−	1510	St. an.	○	−	−	−	−	
〃 〃 13	43	26	−	−	1430	−	○	−	−	−	−	下痢
〃 〃 14	44	27	○	○				−	−	−	−	死亡

S 12　白色　体重 1850 g.　昭和4年1月30日家兎S8（千株40代通過毒）より
右背皮内に 0.25 右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 30	1		−	−	1850	−	−	−	−	−	−	
〃 2, 5	7				1820	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 12	14		+		1785	+	−	−	−	−	−	
〃 〃 18	20	3	++	+	1785	+++	+	−	−	−	−	4, 1, 18 兩H摘出
〃 〃 20	22	5	+	+		+++	○	−	○	−	−	
〃 〃 22	24	7	++	+		+++	○	−	○	−	−	
〃 〃 25	27	10	+++	+	1750	+++	○	++	○	−	−	
〃 3, 4	34	17	+++	+	1680	+++	○	+++	○	−	−	
〃 〃 11	41	24	++	+	1630	+++	○	+++	○	−	包皮浮腫	
〃 〃 18	48	31	+	+	1640	St. dec.	○	+++	○	−	〃	
〃 〃 25	55	38	+	++	1760	〃	○	+++	○	−	小指頭大の硬結となる	
〃 4, 1	62	45	++	+	1830	St. an.	○	−	○	−		
〃 〃 8	69	52	++	+	1820	〃	○	−	○	−	〃	
〃 〃 15	76	59	++	+	1830	−	○	−	○	−	中指頭大となる	包皮硬結部 TP ++
〃 〃 22	83	66	+	+	1900	−	○	−	○	−	潰瘍形成	

〃 〃 29	90	73	—	—	2140	—	○	—	○	—	St. dec.		
〃 5, 6	97	80	—	—	2040	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 13	104	87	—	—	2040	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 20	111	94	—	—	2140	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 27	118	101	—	—	2060	—	○	—	○	—	—		
〃 6, 3	125	108	—	—	2070	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 10	132	115	—	—	2150	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 17	139	122	—	—	2130	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 24	146	129	—	—	2020	—	○	—	○	—	—	4, 6, 24 左背皮内に再接種（同菌株）	
〃 7, 1	153	136	—	—	2130	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 8	160	143	—	—	2130	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 15	167	150	—	—	2130	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 22	174	157	—	—	2170	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 29	181	164	—	—	2140	—	○	—	○	—	—		
〃 8, 5	188	171	—	—	2120	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 12	195	178	—	—	2110	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 19	202	185	—	—	2160	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 26	209	192	—	—	2170	—	○	—	○	—	—		
〃 9, 2	216	199	—	—	2260	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 9	223	206	—	—	2340	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 16	230	213	—	—	2290	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 23	237	220	—	—	2330	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 30	244	227	—	—	2370	—	○	—	○	—	—		
〃 10, 7	251	234	—	—	2470	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 14	258	241	—	—	2420	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 21	265	248	—	—	2410	—	○	—	○	—	—		
〃 〃 28	272	255	—	—	2410	—	○	—	○	—	L.下眼瞼に小豆大の丘疹を生ず		
〃 11, 4	279	262	—	—	2410	—	○	—	○	—			
〃 〃 11	286	269	—	—	2420	—	○	—	○	—			
〃 〃 18	293	276	—	—	2380	—	○	—	○	—	〃		
〃 〃 25	300	283			2320	—	○	—	○	—	St. dec.		
〃 12, 3												放　　棄	

S 16　白色　体重 2350 g.　昭和4年1月30日家兎S8（千株40代通過毒）より
右背皮内に 0.25 右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 1, 30	1				2350			—	—	—	—	
” 2, 5	7				2350	—		—	—	—	—	
” ” 12	14				2380	++		—	—	—	—	
” ” 19	21	2	+++	+	2310	+++	++	—	—	—	—	
” ” 21	23	4	+++	++	2200	+++	++	—	—	—	—	4, 2, 21 右睾丸摘出
” ” 22	24	5	+++	++	2125	+++	○	—	—	—	—	
” ” 25	27	8	+++	+	2215	+++	○	—	—	—	—	
” ” 27	29	10	+++	+		+++	○	—	—	—	—	
” 3, 1	31	12	++	+		+++	○	—	—	—	—	
” ” 8	38	19	++	+		+++	○	—	—	—	—	
” ” 15	45	26	++	+	2170	St. dec.	○	++	—	—	—	
” ” 22	52	33	+	+		”	○	+++	—	—	—	
” ” 29	59	40	±	+		”	○	+++	—	—	—	
” 4, 5	66	47	±	+	2270	St. an.	○	—	—	—	—	
” ” 12	73	54	—	—	2350	—	○	—	—	—	—	
” ” 19	80	61	—	—	2460	—	○	—	—	—	—	
” ” 26	87	68	—	—	2380	—	○	—	—	—	—	
” 5, 3	94	75	—	—	2450	—	○	—	—	—	—	
” ” 10	101	82	—	—	2420	—	○	—	—	—	—	
” ” 17	108	89	—	—	2420	—	○	—	—	—	—	
” ” 24	115	96	—	—	2490	—	○	—	—	L目$T_{\pm}P_{+}$	—	
” ” 31	122	103	—	—	2500	—	○	—	—	—	—	
” 6, 7	129	110	—	—	2600	—	○	—	—	—	—	
” ” 14	136	117	—	—	2490	—	○	—	—	—	—	
” ” 21	143	124	—	—	2590	—	○	—	—	—	—	

〃 〃 24	146	127	—	—	2490	—	○	—	—	—	—	4, 6, 24 左背皮内再接種（同蕾株）
〃 〃 26	149	128	—	—	2490	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 28	150	131	—	—	2500	—	○	—	—	—	—	
〃 7, 5	157	138	—	—	2530	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 12	164	145	—	—	2600	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 19	171	152	—	—	2550	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 26	178	159	—	—	2550	—	○	—	—	—	—	
〃 8, 2	185	166	—	—	2480	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 9	192	173	—	—	2530	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 16	199	180	—	—	2470	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 23	206	187	—	—	2400	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 30	213	194	—	—	2410	—	○	—	—	—	—	
〃 9, 9	220	201	—	—	2490	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 13	227	208	—	—	2570	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 20	234	215	—	—	2700	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 27	241	222	—	—	2600	—	○	—	—	—	—	
〃 10, 4	248	229	—	—	2690	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 11	255	236	—	—	2700	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 18	262	243	—	—	2800	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 25	269	250	—	—	2900	—	○	—	—	—	—	
〃 11, 1	276	257	—	—	2130	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 8	283	264	—	—	2130	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 15	290	271	—	—	2150	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 22	297	278	—	—	2140	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 29	314	285	—	—	2150	—	○	—	—	—	—	
〃 12, 6	321	292	—	—	2150	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 13	328	299	—	—				—	—	—	—	

Nr. 125　白色　体重 2520 g.　昭和4年2月21日家兎 S 10（千株41代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 2, 21	1		—	—	2520		—	—	—	—	—	
〃 〃 28	8		—	—	2520		—	—	—	—	—	
〃 3, 7	15		—	—	2340		—	—	—	—	—	4, 3, 12 RH++ 兩H摘出
〃 〃 14	22	3	+++	—	2300		○	—	—	—	—	
〃 〃 21	29	10	+	—	2400		○	—	—	—	—	
〃 〃 28	36	17	++	—	2420		○	—	—	—	—	
〃 4, 4	43	24	+	—	2470		○	—	—	—	—	
〃 〃 11	50	31	+	—	2560		○	—	—	—	—	
〃 〃 18	57	38	+	—	2570		○	—	—	—	—	
〃 〃 25	64	45	+	—	2560		○	—	—	—	—	
〃 5, 2	71	52	—	—	2650		○	—	—	—	—	
〃 〃 9	78	59	—	—	2660		○	—	—	—	—	
〃 〃 16	85	66	—	—	2720		○	—	—	—	—	
〃 〃 23	92	73	—	—	2740		○	—	—	L眼 $T_{+}P_{++}$	—	
〃 〃 30	99	80	—	—	2760		○	—	—	$T_{+++}P_{+}i_{+}$	—	
〃 6, 6	106	87	—	—	2700		○	—	—	〃	—	
〃 〃 13	113	94	—	—	2580		○	—	—	〃	—	
〃 〃 20	120	101	—	—	2650		○	—	—	〃	—	
〃 〃 27	127	108	—	—	2650		○	—	—	$T_{+++}P_{++}i_{+}$	4, 7, 13 兩臀部脱毛，浸潤を有する糜爛及び右前趾爪溝部肥厚	
〃 7, 4	134	115	—	—	2270		○	—	—	$T_{++}P_{+}$		
〃 〃 11	141	122	—	—	2710		○	—	—	〃		
〃 〃 18	148	129	—	—	2600		○	—	—	〃		
〃 〃 22	152	133										放棄

Nr. 126　白色　体重 2270 g.　昭和4年2月21日家兎S 10（千株41代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 2, 21	1		−	−	2270		−	−	−	−	−	
〃 〃 28	8		−	−	2185		−	−	−	−	−	
〃 3, 7	15		−	−	2250		−	−	−	−	−	
〃 〃 14	22		⧻	+	2116		−	−	−	−	−	4, 3, 19 RHやゝ緊脹硬
〃 〃 21	29	3	⧻	⧺	2140		+	−	−	−	−	
〃 〃 28	36	10	⧻	⧻	2130		⧺	−	−	−	−	一般にやゝ緊脹の度を增す
〃 4, 4	43	17	⧻	⧻	2180		St. dec.	−	−	−	−	
〃 〃 11	50	24	⧻	⧺	2250		〃	−	−	−	−	RH萎縮R陰囊索狀に硬結あり
〃 〃 18	57	31	⧻	⧺	2340		○	−	○	−	−	
〃 〃 25	64	38	⧻	⧺	2290		○	−	○	−	−	4, 4, 17 兩H摘出
〃 5, 2	71	45	⧺	+	2300		○	−	○	−	−	
〃 〃 9	78	52	⧺	+	2410		○	−	○	−	−	
〃 〃 16	85	59	±	+	2450		○	−	L跡雀卵大腫脹	−	−	
〃 〃 23	92	66	⧻	+	2470		○	−	〃	−	−	
〃 〃 30	99	73	⧺	+	2280		○	−	〃	−	−	
〃 6, 6	106	80	+	+	2420		○	−	St. dec.	−	−	
〃 〃 13	113	87	±	+	2340		○	−	−	−	−	
〃 〃 20	120	94	−	+	2060		○	−	−	−	−	
〃 〃 27	127	101	−	−	1900		○	−	−	−	−	
〃 7, 4	134	108	−	−	2180		○	−	−	−	−	
〃 〃 11	141	115	−	−	2210		○	−	−	−	−	
〃 〃 18	148	122	−	−	2290		○	−	−	−	−	
〃 〃 25	155	129	−	−	2250		○	−	−	−	−	
〃 8, 1	162	136	−	−	2300		○	−	−	−	−	
〃 〃 8	169	143	−	−	2310		○	−	−	−	−	
〃 〃 15	176	150	−	−	2400		○	−	−	−	−	
〃 〃 22	183	157	−	−	2400		○	−	−	−	−	

〃 〃 29	190	164	—	—	2370	○	—	—	—	—	—
〃 9, 5	197	171	—	—	2320	○	—	—	—	—	—
〃 〃 12	204	178	—	—	2360	○	—	—	—	—	—
〃 〃 19	211	185	—	—	2410	○	—	—	—	—	—
〃 〃 26	218	192	—	—	2440	○	—	—	—	—	—
〃 10, 3	225	199	—	—	2490	○	—	—	—	—	—
〃 〃 10	232	206	—	—	2550	○	—	—	—	—	—
〃 〃 17	239	213	—	—	2550	○	—	—	—	—	—
〃 〃 24	246	220	—	—	2480	○	—	—	—	—	—
〃 〃 31	253	227	—	—	2400	○	—	—	—	—	—
〃 11, 7	260	234	—	—	2490	○	—	—	—	—	—
〃 〃 14	267	241	—	—	2460	○	—	—	—	—	—
〃 〃 21	274	248	—	—	2500	○	—	—	—	—	—
〃 〃 28	281	255	—	—	2550	○	—	—	—	—	—
〃 12, 5	288	262	—	—	2550	○	—	—	—	—	—
〃 〃 12	295	269	—	—	2600	○	—	—	—	—	—
〃 〃 19	302	276	—	—	2680	○	—	—	—	—	—
〃 〃 26	309	283	—	—	2600	○	—	—	—	—	—
5, 1, 2	316	290	—	—	2600	○	—	—	—	—	—
〃 〃 9	323	297	—	—	2680	○	—	—	—	—	—
〃 〃 16	330	304	—	—	2640	○	—	—	—	—	—
〃 〃 23	337	311	—	—	2740	○	—	—	—	—	—
〃 〃 30	344	318			2600	○	—	—	—	—	—
〃 2, 6	351	325			2600	○	—	—	—	—	—
〃 〃 13	358	332			2710	○	—	RH 摘出 跡ゴム腫	—	—	—
〃 〃 20	365	339			2680	○	—	狀腫大す	—	—	—
〃 〃 27	372	346			2650	○	—	拇指頭大	—	—	—
〃 3, 6	379	353			2740	○	—	〃	—	—	—
〃 〃 13	386	360			2750	○	—	〃	—	—	—
〃 〃 20	393	367			2760	○	—	〃	—	—	—
〃 〃 27	400	374			2710	○	—	〃	—	—	—

〃 4, 3	407	381			2710		○	—	〃	—	—
〃 〃 10	414	388			2630		○	—	〃	—	—
〃 〃 17	421	395			2720		○	—	〃	—	—
〃 〃 24	428	402			2740		○	—	〃	—	—
〃 5, 1	435	409			2770		○	—	雀卵大	—	—
〃 〃 8	442	416			2720		○	—	〃	—	—
〃 〃 15	449	423			2800		○	—	〃	—	—
〃 〃 22	456	430			2660		○	—	鳩卵大	—	—
〃 〃 29	463	437			2630		○	—	〃	—	—
〃 6, 5	470	444			2600		○	—	〃	—	—
〃 〃 12	477	451			2630		○	—	〃	—	—
〃 〃 19	484	458			2750		○	—	〃	—	—
〃 〃 26	491	465			2690		○	—	〃	—	—
〃 7, 3	498	472			2750		○	—	〃	—	—
〃 〃 10	505	479			2630		○	—	〃	—	—
〃 〃 17	512	486			2600		○	—	〃	—	—
〃 〃 24	519	493			2550		○	—	〃	—	—
〃 〃 31	526	500			2590		○	—	〃	—	—
〃 8, 7	533	507			2540		○	—	〃	—	—

A 35　白色　体重 1670 g.　昭和 4 年 3 月10日家兎 A 30（千株55通過毒）より
右睪丸實質內に 0.5 右背皮內に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 3, 10	1				1670			—	—	—	—	
〃 〃 17	8	1			1670	+		—	—	—	—	
〃 〃 24	15	8			1630	+++	+	—	—	—	—	4, 3, 25 RH++ RH 摘出 T. P.+++
〃 〃 31	22	15	++	+	1660	+++	○	—	—	—	—	
〃 4, 7	29	22	+	+	1700	St. dec.	○	—	—	—	—	

〃 〃 14	36	29	−	+	1650	−	○	−	−	−	−	
〃 〃 21	43	36	−	+	1640	−	○	−	−	−	−	
〃 〃 28	50	43	−	±	1620	−	○	−	LH++	−	鼻梁の兩側に大豆大の丘疹生ず	4, 5, 5 兩眼瞼部ゴム腫狀に腫脹眼球も不明となる
〃 5, 5	57	50	+	+	1650	−	○	−	〃	兩眼瞼炎		
〃 〃 12	64	57	++	+	1620	−	○	−	〃	全眼球炎		
〃 〃 19	71	64	++	+	1620	−	○	−	〃	同　上	4, 5, 15 撮　影	
〃 〃 21	73	71										死　亡

S 38　白色　体重 1920 g.　昭和4年3月12日家兎 Nr. 125（千株42代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 3, 12	1		−	−	1920			−	−	−		
〃 〃 19	8		−	−	1920			−	−	−		
〃 〃 26	15		−	−	1860			−	−	−		
〃 〃 28	17	2	+	+	1850		+	−	−	−		
〃 4, 4	24	9	++	++	1830		++	−	−	−		4, 4, 4 兩H摘出
〃 〃 11	31	16	−	−	1880		○	−	−	−		
〃 〃 18	38	23	−	+	1890		○	−	−	−		
〃 〃 25	45	30	++	+	1910		○	−	−	−		
〃 5, 2	52	37	++	+	1770		○	−	−	−		
〃 〃 9	59	44	−	+	1800		○	−	−	−		
〃 〃 16	66	51	+	+	1830		○	−	−	−		
〃 〃 23	73	58	+	+	1850		○	−	−	−		
〃 〃 30	80	65	−	+	1960		○	−	−	−		
〃 6, 6	87	72	−	+	1910		○	−	−	−		
〃 〃 13	94	79	−	+	1780		○	−	−	−		
〃 〃 20	101	86	−	−	1870		○	−	−	−		
〃 〃 27	108	93	−	−	1880		○	−	−	−		
〃 7, 4	115	100	−	−	1890		○	−	−	R目P++		

〃 〃 11	122	107	—	—	2040		○	—	—	兩目P+	右大腿脱毛
〃 〃 18	129	114	—	—	2030		○	—	—	〃	
〃 〃 25	136	121	—	—	2030		○	—	—	—	兩大腿脱毛
〃 8, 1	143	128	—	—	2000		○	—	—	—	〃
〃 〃 8	150	135	—	—	2050		○	—	—	—	〃
〃 〃 15	157	142	—	—	1980		○	—	—	—	〃
〃 〃 22	164	149	—	—	2090		○	—	—	—	〃
〃 〃 29	171	156	—	—	2100		○	—	—	—	〃
〃 9, 5	178	163	—	—	1870		○	—	—	—	
〃 〃 12	185	170	—	—	2000		○	—	—	L眼T+P+	
〃 〃 19	192	177	—	—	2120		○	—	—	〃	
〃 〃 26	199	184	—	—	1980		○	—	—	〃	4, 10, 9
〃 10, 3	206	191	—	—	2050		○	—	—	〃	肛門及び包皮，丘疹
〃 〃 10	213	198	—	—	2050		○	—	—	〃	
〃 〃 17	220	205	—	—	2080		○	—	—	〃	〃
〃 〃 24	227	212	—	—	2130		○	—	—	〃	〃
〃 〃 31	234	219	—	—	2080		○	—	—	〃	St. dec.
〃 11, 7	241	226	—	—	2070		○	—	—	〃	〃
〃 〃 14	248	233	—	—	2050		○	—	—	〃	〃
〃 〃 21	255	240	—	—	2040		○	—	—	—	—
〃 〃 28	262	247	—	—	2080		○	—	—	—	—

S 40　白色　体重 2300 g.　昭和4年3月12日家兎 Nr. 125（千株42代通過毒）より右睾丸實質內接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 3, 12	1		—	—	2300		—	—	—	—	—	
〃 〃 19	8		—	—	2250		—	—	—	—	—	
〃 〃 26	15		+	+	2250		—	—	—	—	—	
〃 〃 28	17	2	+++	+	2230		+	—	—	—	—	

〃 4, 4	24	9	⧺	⧺	2230	○	—	—	—	—	4, 4, 4 RH 摘出	
〃 〃 11	31	16	⧺	⧺	2150	○	—	—	—	—	當日RH⧺	
〃 〃 18	38	23	⧺	+	2200	○	—	—	—	—		
〃 〃 25	45	30	+	+	2260	○	—	—	—	—		
〃 5, 2	52	37	⧺	+	2340	○	—	—	—	—		
〃 〃 9	59	44	⧺	+	2230	○	—	—	—	—		
〃 〃 16	66	51	—	+	2240	○	—	—	4, 5, 21 R目$T_{\pm}P_{⧺}$	—		
〃 〃 23	73	58	+	+	2300	○	—	—	i_{+}	—		
〃 〃 30	80	65	+	+	2380	○	—	—	L目同上	—		
〃 6, 6	87	72	—	+	2480	○	—	—	兩目$T_{⧺}P_{\pm}$ i_{+}	—		
〃 〃 13	94	79	—	—	2390	○	—	—		—		
〃 〃 20	101	86	—	—	2350	○	—	—	兩目$T_{+}P_{+}$	—		
〃 〃 27	108	93	+	—	2310	○	—	—	—	—		
〃 7, 4	115	100	+	⧺	2430	○	—	—	—	—		
〃 〃 11	122	107	—	+	2370	○	—	—	—	—		
〃 〃 18	129	114	—	+	2350	○	—	—	R目$P_{⧺}$	—		
〃 〃 25	136	121	—	—	2260	○	—	—	〃	—		
〃 8, 1	143	128	—	—	2310	○	—	—	—	—		
〃 〃 8	150	135	—	—	2270	○	—	—	—	—		
〃 〃 15	157	142	—	—	2310	○	—	—	—	—		
〃 〃 22	164	149	—	—	2270	○	—	—	—	—		
〃 〃 29	171	156	—	—	2300	○	—	—	—	—		
〃 9, 5	178	163	—	—	2350	○	—	—	—	—		
〃 〃 12	185	170	—	—	2240	○	—	—	—	—		
〃 〃 19	192	177	—	—	2280	○	—	—	R目T_{+}	—		
〃 〃 26	199	184	—	—	2300	○	—	—	〃	—		
〃 10, 3	206	191	—	—	2590	○	—	—	〃	—		
〃 〃 10	213	198	—	—	2650	○	—	—	〃	—		
〃 〃 17	220	205	—	—	2740	○	—	—	〃	—		
〃 〃 24	227	212	—	—	2590	○	—	—	〃	—		
〃 〃 31	234	219	—	—	2500	○	—	—	〃	—		

〃 11, 7	241	226	—	—	2500		○	—	—	〃	—	
〃 〃 14	248	233	—	—	2500		○	—	—	—	—	
〃 〃 21	255	240	—	—	2490		○	—	—	—	—	
〃 〃 28	262	247	—	—	2430		○	—	—	—	—	
〃 12, 5	269	254	—	—	2450		○	—	—	—	—	
〃 〃 12	276	261	—	—	2540		○	—	—	—	—	
〃 〃 19	283	268	—	—	2500		○	—	—	—	—	
〃 〃 26	290	275	—	—								

S 41 白色 体重 2150 g. 昭和4年3月12日家兎 Nr. 125（千株42代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 3, 12	1		—	—	2150		—	—	—	—	—	
〃 〃 19	8		—	—	2000		—	—	—	—	—	
〃 〃 26	15		—	—	1940		—	—	—	—	—	
〃 〃 28	17	1	++	—	2010		+	—	—	—	—	
〃 4, 4	24	8	++	++	1980		○	—	—	—	—	4, 4, 4 兩H摘出
〃 〃 11	31	15	±	+	2110		○	—	—	—	—	
〃 〃 18	38	22	+	+	2170		○	—	—	—	—	RH 摘出後拇指頭大硬結を生ず
〃 〃 25	45	29	+	+	2180		○	—	—	—	—	
〃 5, 2	52	36	+++	+	2140		○	—	—	—	—	同上
〃 〃 9	59	43	++	—			○	—	—	—	—	同上
〃 〃 16	66	50	—	—	2000		○	—	—	—	—	4, 5, 15 下半身麻痺外傷
〃 〃 23	73	57	—	—	2040		○	—	—	—	—	
〃 〃 30	80	64	—	—	1930		○	—	—	R目 $T_{++}P_{++}$	—	同上
〃 6, 6	87	71	—	—	2120		○	—	—	i_{+}	—	同上
〃 〃 13	94	78	—	—	1910		○	—	—	〃	—	下半身麻痺漸次輕快す
〃 〃 20	101	85	—	—	2160		○	—	—	R目 $T_{+++}P_{++}$	—	
〃 〃 27	108	92	—	—	1980		○	—	—	i_{++} 〃	—	

〃 7, 4	115	99	—	—	1940		○	—	—	〃	—
〃 〃 11	122	106	—	—	1970		○	—	—	〃	—
〃 〃 18	129	113	—	—	1970		○	—	—	〃	—
〃 〃 25	136	120	—	—	2060		○	—	—	〃	—
〃 8, 1	143	127	—	—	2080		○	—	—	〃	—
〃 〃 8	150	134	—	—	2090		○	—	—	〃	—
〃 〃 15	157	141	—	—	2090		○	—	—	〃	—
〃 〃 22	164	148	—	—	2100		○	—	—	〃	—
〃 〃 29	171	155	—	—	2090		○	—	—	〃	—
〃 9, 5	178	162	—	—	2160		○	—	—	R目 $T_{\#}P_{\#}$	—
〃 〃 12	185	169	—	—	1910		○	—	—	〃	—
〃 〃 19	192	176	—	—	2100		○	—	—	〃	—
〃 〃 26	199	183	—	—	2150		○	—	—	$T_{\#}P_{\#}$	—
〃 10, 3	206	190	—	—	2200		○	—	—	〃	—
〃 〃 10	213	197	—	—	2340		○	—	—	〃	—
〃 〃 17	220	204	—	—	2250		○	—	—	〃	—
〃 〃 24	227	211	—	—	2210		○	—	—	〃	—
〃 〃 31	234	218	—	—	2100		○	—	—	$T_{\#}P_{+}$	—
〃 11, 7	241	225	—	—	2130		○	—	—	〃	—
〃 〃 14	248	232	—	—	2170		○	—	—	〃	—
〃 〃 21	255	239	—	—	2180		○	—	—	〃	—
〃 〃 28	262	246	—	—	2160		○	—	—	〃	—
〃 〃 29	263	247	—	—	2160		○	—	—	〃	—
〃 12, 6	270	254	—	—	2170		○	—	—	〃	—
〃 〃 13	277	261	—	—	2150		○	—	—	〃	—
〃 〃 20	284	268	—	—	2220		○	—	—	〃	—
〃 〃 27	291	275	—	—							

S 42　白色　体重 2290 g.　昭和4年3月12日家兎 Nr. 125（千株42代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 3, 12	1				2290			—	—	—	—	
〃 〃 19	8				2230			—	—	—	—	
〃 〃 26	15	2	⧺	+	2110		+	—	—	—	—	
〃 〃 28	17	4	⧺	+	2300		○	—	—	—	—	4, 3, 27 RH⧺ 同目 RH のみ摘出
〃 4, 4	24	11	⧺	+	2100		○	—	—	—	—	
〃 〃 11	31	18	—	—	2190		○	—	—	—	—	4, 5, 7 包皮先端に小豆大の丘疹を生ず
〃 〃 18	38	25	—	—	2200		○	—	—	—	—	
〃 〃 25	45	32	⧺	+	2190		○	—	—	—	—	
〃 5, 2	52	39	⧺	+	2160		○	—	—	—	—	〃
〃 〃 9	59	46	⧺	+	2270		○	—	—	—	—	〃
〃 〃 16	66	53	+	⧺	2260		○	—	—	—	—	〃
〃 〃 23	73	60	+	⧺	2300		○	—	—	—	—	小指頭大となる
〃 〃 30	80	67	⧺	⧺	2310		○	—	—	—	—	〃
〃 6, 6	87	74	⧺	⧺	2230		○	—	—	—	—	小豆大となる
〃 〃 13	94	81	⧺	⧺	2220		○	—	—	—	—	〃
〃 〃 20	101	88	⧺	⧺	2320		○	—	—	—	—	〃
〃 〃 27	108	95	⧺	+	2160		○	—	—	—	—	〃
〃 7, 4	115	102	⧺	⧺	2290		○	—	—	4, 7, 1 R 目 P⧺	—	—
〃 〃 11	122	109	⧺	+	2280		○	—	—	〃	—	—
〃 〃 18	129	116	+	+	2190		○	—	—	〃	—	—
〃 〃 25	136	123	—	+	2220		○	—	—	〃	—	—
〃 8, 1	143	130	—	+	2180		○	—	—	〃	—	
〃 〃 8	150	137	—	+	2180		○	—	—	〃	—	
〃 〃 15	157	144	—	+	2240		○	—	—	〃	—	
〃 〃 22	164	151	—	—	2300		○	—	—	〃	—	
〃 〃 29	171	158	—	—	2320		○	—	—	〃	—	
〃 9, 5	178	165	—	—	2300		○	—	—	〃	—	

〃 〃 12	185	172	—	—	2220	○	—	—	兩目 $T_{++}P_{++}$	—	
〃 〃 19	192	179	—	—	2300	○	—	—	〃	—	
〃 〃 26	199	186	—	—	2320	○	—	—	〃	—	
〃 10, 3	206	193	—	—	2450	○	—	—	〃	—	
〃 〃 10	213	200	—	—	2500	○	—	—	兩目 $T_{+}P_{+}$	—	
〃 〃 17	220	207	—	—	2470	○	—	—	〃	—	
〃 〃 24	227	214	—	—	2460	○	—	—	〃	—	
〃 〃 31	234	221	—	—	2370	○	—	—	〃	—	
〃 11, 7	241	228	—	—	2370	○	—	—	〃	—	
〃 〃 14	248	235	—	—	2340	○	—	—	〃	—	
〃 〃 21	255	242	—	—	2340	○	—	—	〃	—	
〃 〃 28	262	249	—	—	2350	○	—	—	〃	—	
〃 12, 5	269	256	—	—	2320	○	—	—	〃	—	
〃 〃 12	276	263	—	—	2350	○	—	—	〃	—	
〃 〃 19	283	270	—	—	2230	○	—	—	〃	—	
〃 〃 26	290	277	—	—	2340	○	—	—	〃	—	
5, 1, 2	297	284	—	—	2300	○	—	—	〃	—	
〃 〃 9	304	291	—	—	2320	○	—	—	〃	—	
〃 〃 16	311	298	—	—	2280	○	—	—	〃	—	
〃 〃 23	318	305	—	—	2340	○	—	—	〃	—	
〃 〃 30	325	312	—	—	2350	○	—	—	R目 $T_{+}P_{+}$ L目 —	—	
〃 2, 6	332	319	—	—	2360	○	—	—	〃	—	
〃 〃 13	339	326	—	—	2300	○	—	—	〃	—	
〃 〃 20	346	333	—	—	2280	○	—	—	R目 — L目 $T_{+}P_{+}$	—	
〃 〃 27	353	340	—	—	2260	○	—	—	〃	—	

S 43　白色　体重 2220 g.　同　上

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mn. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 3, 12	1		—	—	2220			—	—	—		

〃 〃 19	8		—	—			—	—	—	—		
〃 〃 26	15	2	—	+		+	—	—	—	—		
〃 〃 28	17	4	++	+	2340	+	—	—	—	—		
〃 4, 4	24	11	+++	+	2280	++	—	—	—	—	4, 4, 4 兩H摘出	
〃 〃 11	31	18	+	+	2310	○	—	—	—	—		
〃 〃 18	38	25	+	+	2250	○	—	—	—	—	4, 4, 7 摘出跡	
〃 〃 25	45	32	++	+	2280	○	—	—	—	—	R は小指頭大 L 拇指頭大の硬結	
〃 5, 2	52	39	++	+	2250	○	—	—	—	—		
〃 〃 9	59	46	++	+	2290	○	—	—	L.眼瞼炎 L.虹彩炎	—		
〃 〃 16	66	53	+	++	2280	○	—	—	—	—		
〃 〃 23	73	60	++	+	2280	○	—	—	R眼P_{++}	—	R 大豆大 L 小指頭大	
〃 〃 30	80	67	++	+	2270	○	—	—	〃	—		
〃 6, 6	87	74	—	+	2420	○	—	—	—	—		
〃 〃 13	94	81	—	+	2300	○	—	—	—	—		
〃 〃 20	101	88	—	+	2240	○	—	—	R 眼 $T_{++}P_{+++}i_{+}$	—		
〃 〃 27	108	95	++	+	2270	○	—	—		—		
〃 7, 4	115	102	—	+	2310	○	—	—	R眼$T_{+++}P_{++}$	—		
〃 〃 11	122	109	—	+	2000	○	—	—	〃	—		
〃 〃 18	129	116	—	±	2300	○	—	—	〃	—		
〃 〃 25	136	123	—	±	2240	○	—	—	〃	—		
〃 8, 1	143	130	—	+	2250	○	—	—	R眼T_{+}	—		
〃 〃 8	150	137	—	—	2260	○	—	—	〃	—		
〃 〃 15	157	144	—	—	2240	○	—	—	〃	—		
〃 〃 22	164	151	—	—	2320	○	—	—	〃	—		
〃 〃 29	171	158	—	—	2340	○	—	—	〃	—		
〃 9, 5	178	165.	—	—	2340	○	—	—	〃	—		
〃 〃 12	185	172	—	—	2370	○	—	—	〃	—		
〃 〃 19	192	179	—	—	2400	○	—	—	〃	—		
〃 〃 26	199	186	—	—	2330	○	—	—	R眼$T_{+}P_{+}$	—		
〃 10, 3	206	193	—	—	2440	○	—	—	R眼$T_{+++}P_{+}$	—		
〃 〃 10	213	200	—	—	2490	○	—	—	〃	—		

〃 〃 17	220	207	—	—	2500		○	—	—	〃	—	
〃 〃 24	227	214	—	—	2510		○	—	—	〃	—	
〃 〃 31	234	212	—	—	2550		○	—	—	〃	—	
〃 11, 7	241	228	—	—	2670		○	—	—	〃	—	
〃 〃 14	248	235	—	—	2680		○	—	—	〃	—	
〃 〃 21	255	242	—	—	2730		○	—	—	〃	—	
〃 〃 28	262	249	—	—	2490		○	—	—	〃	—	
〃 12, 5	269	256	—	—	2500		○	—	—	〃	—	
〃 〃 12	276	263	—	—	2510		○	—	—	〃	—	
〃 〃 19	283	270	—	—	2510		○	—	—	〃	—	
〃 〃 26	290	277	—	—	2490		○	—	—	〃	—	
5, 1, 2	297	284	—	—	2500		○	—	—	〃	—	
〃 〃 9	304	291	—	—	2500		○	—	—	〃	—	
〃 〃 16	311	298	—	—	2500		○	—	—	〃	—	
〃 〃 23	318	305	—	—	2650		○	—	—	〃	—	
〃 〃 30	325	312	—	—	2620		○	—	—	〃	—	
〃 2, 6	332	319	—	—	2570		○	—	—	〃	—	
〃 〃 13	339	326	—	—	2610		○	—	—	〃	—	
〃 〃 20	346	333	—	—	2680		○	—	—	〃	—	
〃 〃 27	353	340	—	—	2460		○	—	—	〃	—	

S 51　白色　体重 1620 g.　昭和4年3月26日家兎S 30（千株42代通過毒）より兩睾丸實質内に 0.5 宛接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 3, 26	1		—	—	1620		—	—	—	—	—	
〃 4, 1	8		—	—	1740		—	—	—	—	—	
〃 〃 8	15		—	—	1780		—	—	—	—	—	
〃 〃 15	22		—	—	1500		—	—	—	—	—	
〃 〃 22	29	6	++	+	1640		LH+	—	—	—	—	
〃 〃 29	36	13	++	+	1670		LH++	—	—	—	—	

〃 5, 6	43	20	+++	+	1700		HR— LH○	—	—	—	4, 5, 7 首を右曲げ左眼球稍々突出す	4, 5, 2 LH 摘出 T.P.++
〃 〃 13	50	27	++	+	1720		〃	—	—	—		
〃 〃 20	57	34	—	—	1830		〃	—	—	—		
〃 〃 27	64	41	—	—	1830		〃	—	—	—	〃	
〃 〃 29	66	43	—				〃	—	—	—	〃	腦摘出

S 53 白色 体重 1910 g. 昭和4年3月26日家兎S 30（千株42代通過毒）より兩睾丸實質内に 0.5 宛接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 3, 26	1		—	—	1910		—	—		—	—	
〃 4, 1	8		—	—	1870		—	—		—	—	
〃 〃 8	15		—	—	1380		—	—		—	—	
〃 〃 15	22		—	—	1560		—	—		—	—	
〃 〃 22	29	2	++	+	1410		RH++	—		—	—	
〃 〃 29	36	9	++	+	1430		〃	—		—	—	
〃 5, 6	43	16	+++	+	1580		RH○ LH—	—		—	—	4, 5, 2 RH 摘出 T.P.+++
〃 〃 13	50	23	++	+	1650		〃	—		—	—	
〃 〃 20	57	30	+	±	1760		〃	—		—	—	
〃 〃 27	64	37	±	±	1730		〃	—		—	—	
〃 6, 3	71	44	±	+	1770		〃	—		—	—	
〃 〃 10	78	51	±	+	1700		〃	—		R 眼 $T_{+++}P_{++}i_{+}$	—	
〃 〃 17	85	58	++	+	1650		〃	—		R 目 $T_{++}P_{++}i_{+}$	—	
〃 〃 24	92	65	++	+	1600		〃	—		L 目 $T_{+}P_{++}i_{-}$	—	
〃 7, 1	99	72	++	+	1600		〃	—		R眼$T_{++}P_{+}$ L眼—	—	
〃 〃 8	106	79	+	+	1560		〃	—		〃	兩眼ニスタグムス	
〃 〃 15	113	86	±	+	1560		〃	—		〃	〃	
〃 〃 22	120	93	±	+	1420		〃	—		R眼$T_{+}P_{+}$	〃	
〃 〃 29	127	100	—	+	1530		〃	—		〃	舉動不安 右鼻部脱毛す	
〃 8, 5	134	107	—	—	1630		〃	—		〃		撲殺
〃 〃 6	135	108	—	—	1620		〃	—				

S 60　白色　体重 2060 g.　昭和4年4月17日家兎S 55（千株43代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 4, 17	1				2060			—		—	—	
” ” 24	8				2090			—		—	—	
” 5, 1	15				2070			—		—	—	
” ” 8	22	7	⧺	+	2090		RH⧺	—		—	—	4, 5, 9 RH 摘出
” ” 15	29	14	+	+	2190		RH○ LH—	—		—	—	
” ” 22	36	21	—	+	2220		”	—		—	—	4, 5, 19 摘出跡拇指頭大腫脹
” ” 29	43	28	+	+	2350		”	—		—	—	
” 6, 5	50	35	⧺	⧺	2360		”	—		—	—	
” ” 12	57	42	⧺	+	2400		”	—		—	—	
” ” 19	64	49	⧺	+	2400		”	—		4, 6, 24 L眼T−P+	—	
” ” 26	71	56	⧺	+	2490		”	—		”	—	
” 7, 3	78	63	⧺	⧺	2490		”	—		—	—	
” ” 10	85	70	⧺	⧺	2450		”	—		—	—	
” ” 17	92	77	+	+	2450		”	—		—	—	
” ” 24	99	84			2500		”	—		—	—	
” ” 31	106	91			2500		”	—		—	—	
” 8, 7	113	98	+	⧺	2490		”	—		—	—	
” ” 14	120	105	+	⧺	2390		”	—		—	—	
” ” 21	127	112	±	+	2390		”	—		—	—	
” ” 28	134	119	—	+	2520		”	—		—	—	
” 9, 4	141	126	—	+	2420		”	—		—	—	
” ” 11	148	133	—	+	2440		”	—		—	—	
” ” 18	155	140	—	+	2490		”	—		—	—	
” ” 25	162	147	—	+	2460		”	—		—	—	
” 10, 2	169	154	—	+	2400		”	—		—	—	
” ” 9	176	161	—	+	2520		”	—		鼻口糜爛	—	
” ” 16	183	168	—	—	2460		”	—		—	—	

〃 〃 23	190	175	—	—	2400		〃	—		—	—	
〃 〃 30	197	182	—	—	2520		〃	—		—	—	
〃 11, 6	204	189	—	—	2450		〃	—		—	—	
〃 〃 13	211	196	—	—	2610		〃	—		—	—	
〃 〃 20	218	203	—	—	2600		〃	—		—	—	
〃 〃 27	225	210	—	—	2610		〃	—		—	—	
〃 12, 4	232	217	—	—	2380		〃	—		—	—	
〃 〃 11	239	224	—	—	2330		〃	—		—	—	
〃 〃 18	246	231	—	—	2380		〃	—		—	—	
〃 〃 25	253	238	—	—	2380		〃	—		—	—	
5, 1, 1	260	245	—	—	2370		〃	—		—	—	
〃 〃 8	267	252	—	—	1810		〃	—		—	—	
〃 〃 15	274	259	—	—	1980		〃	—		—	—	
〃 〃 22	281	266	—	—	1800		〃	—		—	—	
〃 〃 29	288	273	—	—	1890		〃	—		—	—	
〃 2, 5	295	280	—	—	2100		〃	—		—	—	
〃 〃 12	302	287	—	—	2210		〃	—		5, 2, 18 R眼 $T_{++}P_{+}$	—	
〃 〃 19	309	294	—	—	2210		〃	—			—	
〃 〃 26	316	301	—	—	2190		〃	—		5, 3, 3 R眼 $T_{+++}P_{++}$	—	
〃 3, 5	323	308	—	—	1940		〃	—		〃	—	
〃 〃 12	330	315	—	—	2000		〃	—		〃	—	5, 3, 21 ネオエーラミゾール注射
〃 〃 19	337	322	—	—	1990		〃	—		〃	—	
〃 〃 26	344	329	—	—	2030		〃	—		R眼 $T_{+}P_{+}$	—	5, 3, 28 ネオエーラミゾール注射
〃 4, 2	451	336	—	—	2070		〃	—		—	—	
〃 〃 9	358	343	—	—	2050		〃	—		—	—	5, 4, 4 同上

S 62 白色 体重 1880 g. 昭和4年4月17日家兎S 55（千株43代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 4, 17	1		—	—	1880			—	—	—	—	

〃 〃 24	8		−	−	2030			−	−	−	−		
〃 5, 1	15	2	+	+	1910		RH+	−	−	−	−	5, 5, 2 RH 摘出	
〃 〃 8	22	9	±	±	2000		○	−	−	−	−	T. P. ++	
〃 〃 15	29	16	±	±	2060		○	−	−	−	−		
〃 〃 22	36	23	±	+	2030		○	−	−	−	−		
〃 〃 29	43	30	+	+	2030		○	−	−	−	−		
〃 6, 5	50	37	+++	+	2110		○	−	−	−	−		
〃 〃 12	57	44	+	+	2080		○	−	LH++	−	−		
〃 〃 19	64	51	+	+	2080		○	−	+++	−	−		
〃 〃 26	71	58	++	+	2070		○	−	+++	−	−		
〃 7, 3	78	65	+	++	2070		○	−	+++	−	−		
〃 〃 10	85	72	+	+	2040		○	−	+++	−	−		
〃 〃 17	92	79	−	+	2040		○	−	+++	−	−		
〃 〃 24	99	86	−	+	1910		○	−	+++	−	−		
〃 〃 31	106	93	−	+	1900		○	−	+++	−	−		
〃 8, 7	113	100	−	+	1860		○	−	St. dec.	−	−	LH 脱出脱腸出血，止血	
〃 〃 14	120	107	−	+	1900		○	−	〃	−	−	〃	
〃 〃 21	127	114	−	+	1910		○	−	〃	−	−	〃	
〃 〃 28	134	121	−	+	1930		○	−	〃	−	−	〃	
〃 9, 4	141	128	−	+	1880		○	−	〃	−	−	〃	
〃 〃 11	148	135	−	+	1870		○	−	〃	−	−	〃	
〃 〃 18	155	142	−	+	1870		○	−	〃	−	−	〃	
〃 〃 25	162	149	−	+	1850		○	−	−	−	−	乾燥す	
〃 10, 2	169	156	−	+	1830		○	−	−	−	−	〃	
〃 〃 9	176	163	−	+	1830		○	−	−	−	鼻口糜爛	〃	
〃 〃 16	183	170	−	−	1840		○	−	−	−	〃		
〃 〃 23	190	177	−	−	1800		○	−	−	−	〃		
〃 〃 30	197	184	−	−	1900		○	−	−	−	〃		
〃 11, 6	204	191	−	−	1800		○	−	−	−	〃		
〃 〃 13	211	198	−	−	1790		○	−	−	−	〃		
〃 〃 20	218	205	−	−	1780		○	−	−	−	〃		

〃 〃 27	225	212	—	—	1730		○	—	—	R眼T_{+}	〃	
〃 12, 4	232	219	—	—	1660		○	—	—	〃	〃	
〃 〃 11	239	226	—	—	1550		○	—	—	〃	〃	
〃 〃 18	246	233	—	—	1650		○	—	—	〃	〃	
〃 〃 25	253	240	—	—	1620		○	—	—	〃	〃	右眼瞼炎＋
5, 1, 1	260	247	—	—	1620		○	—	—	〃	〃	〃 衰弱
〃 〃 8	267	254	—	—	1600		○	—	—	〃	〃	〃
〃 〃 15	274	261	—	—	1580		○			〃	〃	〃
〃 〃 20	279	266										死亡

S 63 白色 体重 2030 g. 昭和4年4月17日家兎 S 55（千株43代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 4, 17	1		—	—	2030			—	—	—	—	
〃 〃 24	8		—	—	1880			—	—	—	—	
〃 5, 1	15		＋	—	1820			—	—	—	—	
〃 〃 8	22	7	⧺	⧺	1820		⧺	—	—	—	—	4, 5, 9 RH 摘出 $TP_{⧺}$
〃 〃 15	29	14	—	—	1910		○	—	—	—	—	
〃 〃 22	36	21	—	—	1940		○	—	—	—	—	
〃 〃 29	43	28	—	—	2000		○	—	—	—	—	
〃 6, 5	50	35	⧺	＋	2060		○	—	—	—	—	
〃 〃 12	57	42	⧺	⧺	2080		○	—	—	—	—	
〃 〃 19	64	49	⧺	⧺	2160		○	—	—	4, 6, 22 R眼$P_{⧺}$	—	
〃 〃 26	71	56	⧺	⧺	2000		○	—	—	〃	—	
〃 7, 3	78	63	⧺	⧺	2110		○	—	—	R眼$P_{⧺}$ L眼$T_{+}P_{⧺}$	—	
〃 〃 10	85	70	＋	＋	2130		○	—	—	R眼—	—	
〃 〃 17	92	77	—	—	2130		○	—	—	L眼T_{+}	—	
〃 〃 24	99	84	—	—	2150		○	—	—	〃 L眼$P_{⧺}$	—	
〃 〃 31	106	91	—	—	2110		○	—	—	〃	—	

〃 8, 7	113	98	—	—	2110	○	—	—	—	—
〃 〃 14	120	105	—	—	2140	○	—	—	—	—
〃 〃 21	127	112	—	—	2100	○	—	—	—	—
〃 〃 28	134	119	—	—	2140	○	—	—	—	—
〃 9, 4	141	126	—	—	2100	○	—	—	—	—
〃 〃 11	148	133	—	—	2270	○	—	—	—	—
〃 〃 18	155	140	—	—	2180	○	—	—	—	—
〃 〃 25	162	147	—	—	2200	○	—	—	—	—
〃 10, 2	169	154	—	—	2260	○	—	—	—	—
〃 〃 9	176	161	—	—	2180	○	—	—	—	—
〃 〃 16	183	168	—	—	2300	○	—	—	—	—
〃 〃 23	190	175	—	—	2290	○	—	—	—	—
〃 〃 30	197	182	—	—	2300	○	—	—	—	—
〃 11, 6	204	189	—	—	2310	○	—	—	—	—
〃 〃 13	211	196	—	—	2330	○	—	—	—	—
〃 〃 20	218	203	—	—	2350	○	—	—	—	—
〃 〃 27	225	210	—	—	2270	○	—	—	—	—
〃 12, 4	232	217	—	—	2280	○	—	—	—	—
〃 〃 11	239	224	—	—	2270	○	—	—	—	—
〃 〃 18	246	231	—	—	2400	○	—	—	—	—
〃 〃 25	253	238	—	—	2500	○	—	—	—	—
5, 1, 1	260	245	—	—	2470	○	—	—	—	—
〃 〃 8	267	252	—	—	2550	○	—	—	—	—
〃 〃 15	274	259	—	—	2520	○	—	—	—	—
〃 〃 22	281	266	—	—	2540	○	—	—	—	—
〃 〃 29	288	273	—	—	2530	○	—	—	—	—
〃 2, 5	295	280	—	—	2610	○	—	—	—	—
〃 〃 12	302	287	—	—	2650	○	—	—	—	—
〃 〃 19	309	294	—	—	2690	○	—	—	—	—
〃 〃 26	316	301	—	—	2580	○	—	—	—	—
〃 3, 5	323	308	—	—	2640	○	—	—	—	—

〃 〃 12	330	315	—	—	2550		○	—	—	—	—	
〃 〃 19	337	322	—	—	2720		○	—	—	—	—	5, 3, 21 ネオ
〃 〃 26	344	329	—	—	2560		○	—	—	—	—	エーラミゾール注射
〃 4, 2	351	336	—	—	2590		○	—	—	—	—	5, 3, 28 同上
〃 〃 9	358	343	—	—	2590		○	—	—	—	—	5, 4, 4 同上

S 64 白色 体重 1900 g. 昭和4年4月17日家兎S 55（千株43代通過毒）より右睾丸實質內に0.5接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 4, 17	1		—	—	1900			—	—	—	—	
〃 〃 24	8		—	—	1870			—	—	—	—	
〃 5, 1	15	2	—	—	1960		+	—	—	—	—	
〃 〃 8	22	9	+++	++	1830		++	—	—	—	—	4, 5, 10 RH
〃 〃 15	29	16	++	+	1910		○	—	—	—	—	摘出 TP_{++}
〃 〃 22	36	23	—	+	1950		○	—	—	—	—	
〃 〃 29	43	30	—	±	2000		○	—	—	—	—	
〃 6, 5	50	37	++	+	2090		○	—	—	—	—	
〃 〃 12	57	44	++	++	2080		○	—	—	—	—	
〃 〃 19	64	51	++	+++	2080		○	—	—	—	—	
〃 〃 26	71	58	++	++	2000		○	—	—	—	—	
〃 7, 3	78	65	++	++	2100		○	—	—	—	—	
〃 〃 10	85	72	—	++	2080		○	—	—	—	—	
〃 〃 17	92	79	—	+	2060		○	—	—	—	—	
〃 〃 24	99	86	—	+	2080		○	—	—	—	—	
〃 〃 31	106	93	—	+	2070		○	—	—	—	—	
〃 8, 7	113	100	—	—	2060		○	—	—	—	—	
〃 〃 14	120	107	—	—	2080		○	—	—	—	—	
〃 〃 21	127	114	—	—	2180		○	—	LH±	—	—	
〃 〃 28	134	121	—	+	2150		○	—	±	—	—	

〃 9, 4	141	128	—	+	2170	○	—	—	—	—		
〃 〃 11	148	135	—	—	2170	○	—	—	—	—		
〃 〃 18	155	142	—	—	2230	○	—	—	—	—		
〃 〃 25	162	149	—	—	2240	○	—	—	—	—		
〃 10, 2	169	156	—	—	2240	○	—	—	—	—		
〃 〃 9	176	163	—	—	2280	○	—	—	—	包皮先き稍々糜爛		
〃 〃 16	183	170	—	—	2380	○	—	—	—	〃		
〃 〃 23	190	177	—	—	2380	○	—	—	—	〃		
〃 〃 30	197	184	—	—	2400	○	—	—	—	—		
〃 11, 6	204	191	—	—	2420	○	—	—	—	鼻口糜爛		
〃 〃 13	211	198	—	—	2350	○	—	—	—	〃		
〃 〃 20	218	205	—	—	2330	○	—	—	—	〃		
〃 〃 27	225	212	—	—	2400	○	—	—	—	〃		
〃 12, 4	232	219	—	—	2410	○	—	—	—	〃		
〃 〃 11	239	226	—	—	2210	○	—	—	—	〃		
〃 〃 18	246	233	—	—	2380	○	—	—	—	〃		
〃 〃 25	253	240	—	—	2380	○	—	—	—	〃		
5, 1, 1	260	247	—	—	2420	○	—	—	—	〃		
〃 〃 8	267	254	—	—	2400	○	—	—	—	〃		
〃 〃 15	274	261	—	—	2350	○	—	—	—	—		
〃 〃 22	281	268	—	—	2330	○	—	—	—	—		
〃 〃 29	288	275	—	—	2400	○	—	—	—	—		
〃 2, 5	295	282	—	—	2410	○	—	—	—	—		
〃 〃 12	302	289	—	—	2210	○	—	—	—	—		
〃 〃 19	309	296	—	—	2280	○	—	—	—	—		
〃 〃 26	316	303	—	—	2340	○	—	—	—	—		
〃 3, 5	323	310	—	—	2300	○	—	—	—	—		
〃 〃 12	330	317	—	—	2410	○	—	—	—	—		
〃 〃 19	337	324	—	—	2270	○	—	—	—	—	5, 3, 21 ネオエーラミゾール注射	
〃 〃 26	344	331	—	—	1830	○	—	—	—	—	5, 3, 28 同上	
〃 4, 2	351	338	—	—	1700	○	—	—	—	—	5, 4, 4 同上	
〃 〃 9	358	345	—	—	1760	○	—	—	—	—		

S 65 白色 体重 2090g. 昭和4年4月17日家兎S 55（千株43代通過毒）より右睾丸實質内に0.5接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 4, 17	1		—	—	2090			—	—	—	—	
” ” 24	8		—	—	1770			—	—	—	—	
” 5, 1	15		—	—	1930			—	—	—	—	
” ” 8	22	3	++	+	1930		+++	—	—	—	—	
” ” 15	29	10	++	+	1950		+++	—	—	—	—	4, 5, 16 RH 摘出
” ” 22	36	17	+	+	1990		○	—	—	—	—	
” ” 29	43	24	+	+	2090		○	—	—	—	—	4, 5, 18 摘出跡
” 6, 5	50	31	++	+	2090		○	—	—	—	—	拇指頭大腫脹
” ” 12	57	38	++	+	2030		○	—	LH+++	—	—	”
” ” 19	64	45	++	+	1950		○	—	”	—	—	雀卵大中央部潰瘍
” ” 26	71	52	++	+	2090		○	—	St. dec.	—	—	”
” 7, 3	78	59	+++	++	2000		○	—	”	L眼 T++P+	—	”
” ” 10	85	66	++	+	2010		○	—	”	”	—	”
” ” 17	92	73	+	+	2000		○	—	”	”	—	”
” ” 24	99	80	—	+	2090		○	—	”	—	—	St. dec.
” ” 31	106	87	—	+	2080		○	—	”	—	—	”
” 8, 7	113	94	—	+	2140		○	—	—	—	—	”
” ” 14	120	101	—	+	2140		○	—	—	—	—	—
” ” 21	127	108	—	—	2180		○	—	—	—	包皮尖端腫脹	—
” ” 28	134	115	—	—	2020		○	—	—	—	”	—
” 9, 4	141	122	—	—	2020		○	—	—	—	”	—
” ” 11	148	129	—	—	2120		○	—	—	—	”	—
” ” 18	155	136	—	—	2120		○	—	—	—	”	—
” ” 25	162	143	—	—	2200		○	—	—	—	”	—
” 10, 2	169	150	—	—	2250		○	—	—	—	”	—
” ” 9	176	157	—	—	2320		○	—	—	—	包皮尖端糜爛	—
” ” 16	183	164	—	—	2250		○	—	—	—	—	

〃 〃 23	190	171	—	—	2340		○	—	—	—	—	
〃 〃 30	197	178	—	—	2350		○	—	—	—	—	
〃 11, 6	204	185	—	—	2400		○	—	—	R眼$T_{++}P_{+}$	—	
〃 〃 13	211	192	—	—	2380		○	—	—	〃	—	
〃 〃 20	218	199	—	—	2330		○	—	—	〃	—	
〃 〃 27	225	206	—	—	2410		○	—	—	〃	—	
〃 12, 4	232	213	—	—	2240		○	—	—	〃	—	
〃 〃 11	239	220	—	—	2250		○	—	—	〃	—	
〃 〃 18	246	227	—	—	2370		○	—	—	〃	—	
〃 〃 25	253	234	—	—	2430		○	—	—	〃	—	
5, 1, 1	260	241	—	—	2460		○	—	—	〃	—	
〃 〃 8	267	248	—	—	2420		○	—	—	〃	—	
〃 〃 15	274	255	—	—	2400		○	—	—	〃	—	
〃 〃 22	281	262	—	—	2350		○	—	—	〃	—	
〃 〃 29	288	269	—	—	2380		○	—	—	〃	—	
〃 2, 5	295	276	—	—	2370		○	—	—	〃	—	
〃 〃 12	302	283	—	—	2340		○	—	—	〃	—	
〃 〃 19	309	290	—	—	2300		○	—	—	R眼$T_{+++}P_{+++}$	—	
〃 〃 26	316	297	—	—	2350		○	—	—	〃	—	
〃 3, 5	323	304	—	—	2380		○	—	—	〃	—	
〃 〃 12	330	311	—	—	2320		○	—	—	〃	—	5, 3, 21 ネオエーラミゾール注射
〃 〃 19	337	318	—	—	2340		○	—	—	〃	—	
〃 〃 26	344	325	—	—	2430		○	—	—	R目$T_{++}P_{+}$	—	5, 3, 28 同上
〃 4, 2	351	332	—	—	2390		○	—	—	〃	—	5, 4, 4 同上
〃 〃 9	358	339	—	—	2440		○	—	—	R目$T_{+}P_{-}$	—	

Nr. 133　白色　体重 2010 g.　昭和4年5月10日家兎S 64（千株44代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 10	1		—	—	2010		—	—	—	—	—	

〃 〃 17	8		—	—	2020		—	—	—	—	—		
〃 〃 24	15		—	—	2100		—	—	—	—	—	4, 5, 29 RH摘出	
〃 〃 31	22	4	++	++	2200		RH++	—	—	—	—		
〃 6, 7	29	11	+	+	2160		○	—	—	—	—		
〃 〃 14	36	18	+++	+	2150		○	—	—	—	—	4, 6, 17 背皮内及び L睾丸實質内に再接種	
〃 〃 21	43	25	+++	+++	2050	—	○	—	—	—	—		
〃 〃 28	50	32	+++	+++	2000	—	4, 7, 1 LH++	—	—	—	—	4, 7, 1 LHは索狀に觸知す	
〃 7, 5	57	39	+++	+	2010	—	〃	—	—	—	—		
〃 〃 12	64	46	++	+	2260	—	〃	—	—	—	—		
〃 〃 19	71	53	—	—	2110	—	St. dec.	—	—	—	—		
〃 〃 26	78	60	—	—	2150	—	〃	—	—	—	—		
〃 8, 2	85	67	—	—	2100	—	〃	—	—	—	—		
〃 〃 9	92	74	—	—	2120	—	〃	—	—	—	—		
〃 〃 16	99	81	—	—	2110	—	〃	—	—	—	—		
〃 〃 23	106	88	—	—	2110	—	〃	—	—	—	—		
〃 〃 30	113	95	—	—	2200	—	〃	—	—	—	—		
〃 9, 6	120	102	—	—	2040	—	〃	—	—	—	—		
〃 〃 13	127	109	—	—	2150	—	〃	—	—	—	—		
〃 〃 20	134	116	—	—	2190	—	〃	—	—	—	—		
〃 〃 27	141	123	—	—	2200	—	〃	—	—	—	—		
〃 10, 4	148	130	—	—	2210	—	—	—	—	—	—		
〃 〃 11	155	137	—	—	2240	—	—	—	—	—	—		
〃 〃 18	162	144	—	—	2240	—	—	—	—	—	—		
〃 〃 25	169	151	—	—	2160	—	—	—	—	—	—		
〃 11, 1	176	158	—	—	2200	—	—	—	—	—	—		
〃 〃 8	183	165	—	—	2280	—	—	—	—	—	—		
〃 〃 15	190	172	—	—	2240	—	—	—	—	—	—		
〃 〃 22	197	179	+	++	2240	—	—	—	—	—	—		
〃 〃 29	204	186	±	+	2330	—	—	—	—	—	—		
〃 12, 6	211	193	—	—	2350	—	—	—	—	—	—		
〃 〃 13	218	200	—	—	2400	—	—	—	—	—	—		

〃 〃 20	225	207	—	—	2460	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	232	214	—	—	2420	—	—	—	—	—	—	
5, 1, 3	239	221	—	—	2240	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	246	228	—	—	2160	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	253	235	—	—	2350	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	260	242	—	—	2480	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 31	267	249	—	—	2410	—	—	—	—	—	—	
〃 2, 7	274	256	—	—	2380	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	281	263	—	—	2460	—	—	—	—	5, 2, 18 R眼P_{++}	—	
〃 〃 22	288	270	—	—	2400	—	—	—	—	眼瞼炎	—	
〃 3, 1	295	277	—	—	2370	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 8	302	284	—	—	2360	—	—	—	—	R眼$T_{+}P_{--}$	—	
〃 〃 15	309	291	—	—	2380	—	—	—	—	兩眼P_{+}	—	
〃 〃 22	316	298	—	—	2480	—	—	—	—	同及び兩眼瞼炎	—	
〃 〃 29	323	305	—	—	2310	—	—	—	—	〃	—	
〃 4, 5	330	312	—	—		—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 12	337	319	—	—	2480	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 19	344	326	—	—	2300	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 26	351	333	—	—	2480	—	—	—	—	〃	—	
〃 5, 2	358	340	—	—	2500	—	—	—	—	〃	—	

Nr. 134　白色　体重 2000 g.　昭和4年5月10日家兎S 64（千株44代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 10	1		—	—	2000							
〃 〃 17	8		—	—	2090							
〃 〃 24	15	2	—	—	2090		—					4, 5, 29 RH 摘出 TP_{++}
〃 〃 31	22	7	±	±	2010		○					
〃 6, 7	29	14	+	+	2020		○					

〃 〃 14	36	21	+	+	2020		○					4, 6, 17 LH及び背皮内再接種
〃 〃 21	43	28	+	+	2060	—	○					
〃 〃 28	50	35	+	+	2050	—	○					
〃 7, 5	57	42	++	++	1930	—	4, 7, 1 LH+					LH索状に觸知す
〃 〃 12	64	49	++	++	1870	—	+					
〃 〃 19	71	56	+	+	1830	—	+					
〃 〃 26	78	63	—	+	1830	—	St. dec.					
〃 8, 2	85	70	—	+	1850	—	〃					
〃 〃 9	92	77	—	+	1850	—	〃					
〃 〃 16	99	84	—	—	1830	—	〃					
〃 〃 23	106	91	—	—	1910	—	—					
〃 〃 30	113	98	—	—	2000	—	—					
〃 9, 6	120	105	—	—	1850	—	—					
〃 〃 13	127	112	—	—	1830	—	—			4, 9, 17 R眼T+P+	R大腿部脱毛	
〃 〃 20	134	119	—	—	1980	—	—				漸次全身に及ぶ	
〃 〃 27	141	126	—	—	2100	—	—					
〃 10, 4	148	133	—	—	1960	—	—					
〃 〃 11	155	140	—	—	2000	—	—				同上益々脱毛	
〃 〃 18	162	147	—	—	2000	—	—					
〃 〃 25	169	154	—	—	2000	—	—				發毛し始む	
〃 11, 1	176	161	—	—	2030	—	—					
〃 〃 8	183	168	—	—	2030	—	—	—	—	—	〃	
〃 〃 15	190	175	—	—	2050	—	—	—	—	—	〃	
〃 〃 22	197	182	—	—	2110	—	—	—	—	—	〃	
〃 〃 29	204	189	—	—	1750	—	—	—	—	—	—	
〃 12, 6	211	196	—	—	1760	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	218	203	—	—	1840	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	225	210	—	—	1860	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	232	217	—	—	1860	—	—	—	—	—	—	
5, 1, 3	239	224	—	—	1850	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	246	231	—	—	1740	—	—	—	—	—	—	

〃 〃 17	253	238	—	—	1770	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	260	245	—	—	1810	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 31	267	252	—	—	1730	—	—	—	—	—	—	
〃 2, 7	274	259	—	—	1750	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 14	281	266	—	—	1700	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 21	288	273	—	—	1720	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 28	295	280	—	—	1670	—	—	—	—	—	右耳内に悪臭ある分泌物蓄留	
〃 3, 7	302	287	—	—	1730	—	—	—	—	—	〃	
〃 〃 14	309	294	—	—	1750	—	—	—	—	—	4, 4, 8 兩部膝關節部雀卵大のゴム腫狀の腫瘤	
〃 〃 21	316	301	—	—	1640	—	—	—	—	—		
〃 〃 28	323	308	—	—	1610	—	—	—	—	—		
〃 4, 4	330	315	—	—	1480	—	—	—	—	—		
〃 〃 11	337	322	—	—	1410	—	—	—	—	—		
〃 〃 18	344	329	—	—	1360	—	—	—	—	—		
〃 〃 25	351	336	—	—	1440	—	—	—	—	—		
〃 〃 26	252	337										死　亡

Nr. 135　白色　体重 2030 g.　昭和4年5月10日家兎S 64（千株44代通過毒）より右睾丸實質内に0.5接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 10	1		—	—	2030		—	—	—	—	—	
〃 〃 17	8		—	—	2050		—	—	—	—	—	
〃 〃 24	15		—	—	2060		—	—	—	—	—	4, 5, 29 RH 摘出 (RH+)
〃 〃 31	22	4	—	—	2070		○	—	—	—	—	
〃 6, 7	29	11	—	—	2070		○	—	—	—	—	
〃 〃 14	36	18	++	+	2070		—	—	—	—	—	
〃 〃 21	43	25	+++	+	2010	—	—	—	—	—	—	4, 6, 17 LH 及び背皮内に再接種
〃 〃 28	50	32	+++	++	2000	+	LH+	—	—	—	—	
〃 7, 5	57	39	+++	++	1980	—	+	—	—	—	—	

〃 〃 12	64	46	++	++	2020	—	++	—	—	—	—
〃 〃 19	71	53	++	++	2100	—	++	—	—	—	—
〃 〃 26	78	60	+	++	2110	—	St. dec.	—	—	—	—
〃 8, 2	85	67	—	++	2150	—	〃	—	—	—	—
〃 〃 9	92	74	—	++	2090	—	〃	—	—	—	—
〃 〃 16	99	81	—	++	2160	—	—	—	—	—	—
〃 〃 23	106	88	—	+	2240	—	—	—	—	—	—
〃 〃 30	113	95	—	+	2290	—	—	—	—	—	—
〃 9, 6	120	102	—	—	2160	—	—	—	—	—	—
〃 〃 13	127	109	—	—	2220	—	—	—	—	—	—
〃 〃 20	134	116	—	—	2280	—	—	—	—	—	—
〃 〃 27	141	123	—	—	2300	—	—	—	—	—	—
〃 10, 4	148	130	—	—	2430	—	—	—	—	—	—
〃 〃 11	155	137	—	—	2455	—	—	—	—	—	—
〃 〃 18	162	144	—	—	2410	—	—	—	—	—	—
〃 〃 25	169	151	—	—	2360	—	—	—	—	—	—
〃 11, 1	176	158	—	—	2350	—	—	—	—	—	—
〃 〃 8	183	165	—	—	2380	—	—	—	—	—	—
〃 〃 15	190	172	—	—	2400	—	—	—	—	—	—
〃 〃 22	197	179	—	—	2380	—	—	—	—	—	—
〃 〃 29	204	186	—	—	2380	—	—	—	—	—	—
〃 12, 6	211	193	—	—	2400	—	—	—	—	—	—
〃 〃 13	218	200	—	—	2410	—	—	—	—	—	—
〃 〃 20	225	207	—	—	2410	—	—	—	—	—	—
〃 〃 27	232	214	—	—	2260	—	—	—	—	—	—
5, 1, 3	239	221	—	—	2270	—	—	—	—	—	—
〃 〃 10	246	228	—	—	2200	—	—	—	—	—	—
〃 〃 17	253	235	—	—	2370	—	—	—	—	—	—
〃 〃 24	260	242	—	—	2480	—	—	—	—	—	—
〃 〃 31	267	249	—	—	2340	—	—	—	—	—	—
〃 2, 7	274	256	—	—	2380	—	—	—	—	—	—

〃 〃 14	281	263	—	—	2310	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 21	288	270	—	—	2230	—	—	—	—	兩眼瞼炎	—	
〃 〃 28	295	277	—	—	2320	—	—	—	—	〃	—	
〃 3, 7	302	284	—	—	2440	—	—	—	—	兩眼P_{++}	—	
〃 〃 14	309	291	—	—	2530	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 21	316	298	—	—	2500	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 28	323	305	—	—	2440	—	—	—	—	〃	—	
〃 4, 4	330	312	—	—	2410	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 11	337	319	—	—	2400	—	—	—	—	R眼$T_{+++}P_{+}$	—	
〃 〃 18	344	326	—	—	2490	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 25	351	333	—	—	2580	—	—	—	—	〃	—	
〃 5, 2	358	340	—	—	2530	—	—	—	—	〃	—	

Nr. 136　白色　体重 1910 g.　昭和4年5月29日家兎 Nr. 134（千株45代通過毒）より
睾丸實質内に 0.5 及び背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 29	1		—	—	1910	—	—	—	—	—	—	
〃 6, 5	8		—	—	1910	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 12	15		—	—	1890	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 19	22	3	—	—	1870	—	4, 6, 17 RH++	—	—	—	—	4, 6, 17 RH 摘出
〃 〃 26	29	10	+	+	1870	—	○	—	—	—	—	
〃 7, 3	36	17	++	+	1770	—	LH—	—	—	—	—	4, 6, 24 LH 及び背皮内に同菌種再接種
〃 〃 10	43	24	+	+	1870	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	50	31	+	+	1880	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	57	38	+	++	1890	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 31	64	45	+	++	1900	—	—	—	—	—	—	
〃 8, 7	71	52	—	+	1880	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 14	78	59	—	—	1880	—	—	—	—	—	—	

〃 〃 21	85	66	—	+	1880	—	—	—	—	L眼 T++P+	—
〃 〃 28	92	73	—	+	1880	—	—	—	—	L眼 T+++P+++	—
〃 9, 4	99	80	—	+	1830	—	—	—	—	R眼 T++P+	—
〃 〃 11	106	87	—	+	1860	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 18	113	94	—	—	1880	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 25	120	101	—	—	2030	—	—	—	—	〃	—
〃 10, 2	127	108	—	—	2060	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 9	134	115	—	—	2120	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 16	141	122	—	—	2000	—	—	—	—	〃	—
〃 〃 23	148	129	—	—	2000	—	—	—	—	兩眼 T+++P++	包皮尖端糜爛
〃 〃 30	155	136	—	—	2100	—	—	—	—		
〃 11, 6	162	143	—	—	2120	—	—	—	—	4, 11, 1	4, 11, 1
〃 〃 13	169	150	—	—	2120	—	—	—	—	L眼 T+++P++	包皮に大豆大丘疹
〃 〃 20	176	157	—	—	2130	—	—	—	—	〃	〃
〃 〃 27	183	164	—	—	2130	—	—	—	—	〃	〃
〃 12, 4	190	171	—	—	2000	—	—	—	—	〃	〃
〃 〃 11	197	178	—	—	2000	—	—	—	—	—	—
〃 〃 18	204	185	—	—	2030	—	—	—	—	—	—
〃 〃 25	211	192	—	—	2130	—	—	—	—	—	—
5, 1, 1	218	199	—	—	2140	—	—	—	—	—	—
〃 〃 8	225	206	—	—	2140	—	—	—	—	—	—
〃 〃 15	232	213	—	—	2170	—	—	—	—	—	—
〃 〃 22	239	220	—	—	2210	—	—	—	—	—	—
〃 〃 29	246	227	—	—	2200	—	—	—	—	—	—
〃 2, 5	253	234	—	—	2130	—	—	—	—	—	—
〃 〃 12	260	241	—	—	2100	—	—	—	—	—	—
〃 〃 19	267	248	—	—	2100	—	—	—	—	—	—
〃 〃 26	274	255	—	—	2140	—	—	—	—	—	—
〃 3, 5	281	262	—	—	2140	—	—	—	—	—	—
〃 〃 12	288	269	—	—	2130	—	—	—	—	—	—
〃 〃 19	295	276	—	—	2180	—	—	—	—	—	—

〃 〃 26	302	283	—	—	2140	—	—	—	—	—	—	
〃 4, 2	309	290	—	—	2100	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 9	316	297	—	—	2000	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	323	304	—	—	1980	—	—	—	—	—	—	死　亡

Nr. 141　白色　体重 2400 g.　昭和4年6月17日家兎 Nr. 136（千株46代通過毒）より
右睾丸實質内に 0.5 右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 6, 17	1				2400	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	8	1			2410	+	—	—	—	—	—	
〃 7, 1	15	8			2420	++	—	—	—	—	—	4, 7, 1 背皮の接種部摘出
〃 〃 8	22	15			2460	○	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	29	22			2430	○	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	36	29			2320	○	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	43	36			2240	○	—	—	—	—	—	
〃 8, 5	50	43	—	—	2260	○	—	—	—	—	—	
〃 〃 12	57	50	—	+	2210	○	—	—	—	—	—	
〃 〃 19	64	57	—	+	2210	○	—	—	—	—	—	
〃 〃 26	71	64	+	++	2340	○	—	—	—	—	—	
〃 9, 2	78	71	+	++	2460	○	—	—	—	—	—	
〃 〃 9	85	78	—	++	2511	○	+	—	—	R眼 $T_{+++}P_{++}$	—	
〃 〃 16	92	85	++	++	2420	○	+++	—	—	〃	—	4, 9, 17 RH 摘出 TP_{+}
〃 〃 23	99	92	+	++	2340	○	○	—	LH++	T_{++} P_{+}	—	
〃 〃 30	106	99	+	++	2340	○	○	—	St. dec.	T_{+} P_{+}	—	
〃 10, 7	113	106	+	++	2380	○	○	—	〃	〃	—	
〃 〃 14	120	113	++	++	2410	○	○	—	〃	〃	—	
〃 〃 21	127	120	+++	++	2250	○	○	—	〃	〃	—	
〃 〃 28	134	127	++	+	2200	○	摘出跡拇指大腫瘤	—	〃	〃	—	

〃 11, 4	141	134	++	+	2150	○	〃	—	〃	〃	—	
〃 〃 11	148	141	++	++	2120	○	〃	—	〃	〃	—	
〃 〃 18	155	148	++	++	2070	○	〃	—	〃	—	—	
〃 〃 25	162	155	+++	++	2000	○	〃	—	〃	—	—	
〃 12, 2	169	162	++	++	1950	○	〃	—	〃	—	—	
〃 〃 9	176	169	+	+	2070	○	〃	—	〃	—	—	
〃 〃 16	183	176	+	+	2070	○	〃	—	—	兩眼瞼炎	—	
〃 〃 23	190	183	+	+	2070	○	〃	—	—	〃	—	
〃 〃 30	197	190	—	+	2250	○	〃	—	—	〃	—	
5, 1, 6	204	197	—	+	2220	○	〃	—	—	〃	—	
〃 〃 13	211	204	—	—	1870	○	〃	—	—	〃	—	
〃 〃 20	218	211	—	—	1890	○	〃	—	—	〃	—	
〃 〃 27	225	218	—	—	1920	○	ゴム腫狀	—	—	〃	—	
〃 2, 3	232	225	—	—	1810	○	雀卵大 〃	—	—	〃	—	5, 2, 10 ネオエーラミゾール注射
〃 〃 10	239	232	—	—	1750	○	〃	—	—	〃	—	
〃 〃 17	246	239								〃		死亡

Nr. 142 白色 体重 1970 g. 昭和4年8月6日家兎C9（千株48代通過毒）より
右睾丸實質内に 0.5 右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	発病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 8, 6	1		—	—	1970	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	8		—	—	1970	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	15	1	—	—	2070	—	+	—	—	—	—	
〃 〃 27	22	8	—	—	1970	—	+	—	—	—	—	
〃 9, 3	29	15	—	—	2040	—	+	—	—	—	—	
〃 〃 10	36	22	+	+	1990	—	++	—	—	—	—	
〃 〃 17	43	29	+	+	1940	—	++	—	—	—	—	
〃 〃 24	50	36	+	+	1940	—	+++	LH+	—	—	—	

〃 10, 1	57	43	++	+	2190	—	+++	—	+	—	—	
〃 〃 8	64	50	+++	++	2180	—	+++	—	+++	—	—	4, 10, 9 RH 摘出 TP++
〃 〃 15	71	57	+++	++	2400	—	○	—	+++	—	—	
〃 〃 22	78	64	+++	++	2400	—	○	—	St. dec.	—	—	4, 10, 25 摘出跡胡桃大に腫脹
〃 〃 29	85	71	++	+	2250	—	○	—	〃	—	—	
〃 11, 5	92	78	+	++	2290	—	○	—	〃	—	—	〃
〃 〃 12	99	85	—	++	2280	—	○	—	—	—	—	〃
〃 〃 19	106	92	—	+	2220	—	○	—	—	—	—	〃
〃 〃 26	113	99	—	+	2240	—	○	—	—	—	—	〃
〃 12, 3	120	106	—	+	2320	—	○	—	—	—	—	〃
〃 〃 10	127	113	—	+	2250	—	○	—	—	—	—	〃
〃 〃 17	134	120	—	+	2340	—	○	—	—	—	—	〃
〃 〃 24	141	127	—	+	2300	—	○	—	—	L眼P++	—	〃
〃 〃 31	148	134	—	—	2310	—	○	—	—	〃	—	〃
5, 1, 7	155	141	—	—	2160	—	○	—	—	〃	—	—
〃 〃 14	162	148	—	—	2390	—	○	—	—	〃	—	—
〃 〃 21	169	155	—	—	2510	—	○	—	—	〃	—	—
〃 〃 28	176	162	—	—	2440	—	○	—	—	〃	—	—
〃 2, 4	183	169	—	—	2400	—	—	—	—	〃	—	
〃 〃 11	190	176	—	—	2370	—	—	—	—	〃	—	5, 2, 10 ネオエーラミゾール注射
〃 〃 18	197	183	—	—	2380	—	—	—	—	L眼T+P+	—	
〃 〃 25	204	190	—	—	2310	—	—	—	—	〃	—	5, 2, 17 同上
〃 3, 4	211	197	—	—	2380	—	—	—	—	—	—	5, 2, 24 同上
〃 〃 11	218	204	—	—	2380	—	—	—	—	—	—	5, 3, 3 同上
〃 〃 18	225	211	—	—	2350	—	—	—	—	—	—	5, 3, 10 同上
〃 〃 25	232	218	—	—	2480	—	—	—	—	—	—	
〃 4, 1	239	225	—	—	2350	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 8	246	232	—	—	2350	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	253	239	—	—	2340	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	260	246	—	—	2350	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	267	253	—	—	2480	—	—	—	—	—	—	

〃 5, 6	274	260	—	—	2460	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	281	267	—	—	2460	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	288	274	—	—	2460	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	295	281	—	—	2440	—	—	—	—	—	—	
〃 6, 3	302	288	—	—	2330	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	309	295	—	—	2380	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	316	302	—	—	2390	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	323	309	—	—	2400	—	—	—	—	—	—	
〃 7, 1	330	316	—	—	2440	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 8	337	323	—	—	2410	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	344	330	—	—	2450	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	351	337	—	—	2420	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	358	344	—	—	2250	—	—	—	—	—	—	

Nr. 143　白色　体重 2270 g.　昭和4年8月6日家兎C9（千株48代通過毒）より
右睾丸實質內に 0.5 及び右背皮內に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 8, 6	1		—	—	2270	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	8		—	—	2270	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	15		—	—	2190	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	22	1	—	—	2310	—	+	—	—	—	—	
〃 9, 3	29	8	—	+	2250	—	+	—	—	—	—	4, 9, 9 RH 摘出 TP++
〃 〃 10	36	15	+	+	2320	—	++	—	—	—	—	
〃 〃 17	43	22	—	—	2280	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 24	50	29	—	—	2360	—	○	—	—	—	—	
〃 10, 1	57	36	—	—	2400	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 8	64	43	—	—	2400	—	○	—	LH+++	—	—	
〃 〃 15	71	50	+	±	2350	—	○	—	+++	—	—	

〃 〃 22	78	57	—	+	2460	—	○	—	+++	—	—	
〃 〃 29	85	64	+	+	2460	—	○	—	+++	—	—	RH 摘出
〃 11, 5	92	71	+	+	2400	—	○	—	+++	—	—	跡雀卵大
〃 〃 12	99	78	+	++	2500	—	○	—	+++	—	—	
〃 〃 19	106	85	+	++	2400	—	○	—	+++	—	—	
〃 〃 26	113	92	++	++	2400	—	○	—	+++	—	—	
〃 12, 3	120	99	+	++	2530	—	○	—	St. dec.	—	—	
〃 〃 10	127	106	—	++	2500	—	○	—	〃	—	—	
〃 〃 17	134	113	—	—	2420	—	○	—	〃	—	—	
〃 〃 24	141	120	—	—	1960	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 31	148	127	—	—	1960	—	○	—	—	—	—	
5, 1, 7	155	134	—	—	1950	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 14	162	141	—	—	2000	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 21	169	148	—	—	2070	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 28	176	155	—	—	2070	—	○	—	—	—	—	
〃 2, 4	183	162	—	—	2120	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 11	190	169	—	—	2230	—	○	—	—	—	—	5, 2, 10 ネオエーラミゾール注射
〃 〃 18	197	176	—	—	2240	—	○	—	—	R眼 T++P++	—	
〃 〃 25	204	183	—	—	2120	—	○	—	—	〃	—	5, 2, 17 同上
〃 3, 4	211	190	—	—	2120	—	○	—	—	—	—	5, 2, 24 同上
〃 〃 11	218	197	—	—	2270	L —	LH—	—	—	—	—	5, 3, 3 同上
〃 〃 18	225	204	—	—	2180	+	—	—	—	—	—	5, 3, 10 LH及びL背皮内再接種
〃 〃 25	232	211	—	—	2350	—	—	—	—	—	—	
〃 4, 1	239	218	—	—	2370	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 8	246	225	—	—	2220	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	253	232	—	—	2330	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	260	239	—	—	2290	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	267	246	—	—	2170	—	—	—	—	—	—	
〃 5, 6	274	253	—	—	2150	—	—	—	—	—	發腫	
〃 〃 13	281	260	—	—	2300	—	—	—	—	—	包皮赤浮〃	
〃 〃 20	288	267	—	—	2330	—	—	—	—	—	〃	

〃 〃 27	295	274	—	—	2480	—	—	—	—	—	〃	
〃 6, 3	302	281	—	—	2450	—	—	—	—	—	稍々減少	
〃 〃 10	309	288	—	—	1860	—	—	—	—	—	〃	
〃 〃 17	316	295	—	—	1830	—	—	—	—	—	〃	
〃 〃 24	323	302	—	—	1740	—	—	—	—	—	〃	
〃 7, 1	330	309	—	—	1890	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 8	337	316	—	—	2000	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	344	323	—	—	2020	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	351	330	—	—	2100	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	358	337	—	—	2100	—	—	—	—	—	—	

Nr. 144 白色 体重 2180 g. 昭和4年8月6日家兎C9（千株48代通過毒）より
右睪丸實質内に 0.5 及び右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 8, 6	1		—	—	2180	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	8		—	—	2180	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 20	15		—	—	2200	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 27	22		—	—	2160	—	—	—	—	—	—	
〃 9, 3	29		—	—	2140	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	36	1	+	+	2250	—	+	—	—	—	—	
〃 〃 17	43	8	+	+	2170	—	++	—	—	—	—	4, 9, 17 RH 摘出
〃 〃 24	50	15	+	—	2200	—	○	—	—	—	—	
〃 10, 1	57	22	—	—	2210	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 8	64	29	—	+	2300	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 15	71	36	+	+	2390	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 22	78	43	+++	+	2350	—	○	—	—	—	—	
〃 〃 29	85	50	+++	+	2330	—	○	—	LH+	—	—	
〃 11, 5	92	57	++	+	2390	—	○	--	+	—	—	

〃 〃 12	99	64	++	+	2490	−	○	−	+	−	−	
〃 〃 19	106	71	++	+	2410	−	○	−	+	−	−	
〃 〃 26	113	78	+	+	2450	−	○	−	+	−	−	
〃 12, 3	120	85	+	+	2500	−	○	−	−	−	−	
〃 〃 10	127	92	−	+	2540	−	○	−	−	−	−	
〃 〃 17	134	99	−	−	2570	−	○	−	−	−	−	
〃 〃 24	141	106	−	−	2640	−	○	−	−	−	−	
〃 〃 31	148	113	−	−	2630	−	○	−	−	−	−	
5, 1, 7	155	120	−	−	2540	−	○	−	−	−	−	
〃 〃 14	162	127	−	−	2600	−	○	−	−	−	−	
〃 〃 21	169	134	−	−	2600	−	○	−	−	−	−	
〃 〃 28	176	141	−	−	2670	−	○	−	−	−	−	
〃 2, 4	183	148	−	−	2650	−	−	−	−	−	−	5, 2, 10 ネオヒーラミゾール注射
〃 〃 11	190	155	−	−	2620	−	−	−	−	−	−	5, 2, 17 同上
〃 〃 18	197	162	−	−	2620	−	−	−	−	−	−	5, 2, 24 同上
〃 〃 25	204	169	−	−	2440	−	−	−	−	−	−	5, 3, 3 同上
〃 3, 4	211	176	−	−	2500	−	−	−	−	−	−	5, 3, 10 LH及び背皮内再接種
〃 〃 11	218	183	−	−	2480	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 18	225	190	−	−	2550	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 25	232	197	−	−	2570	−	−	−	−	−	−	
〃 4, 1	239	204	−	−	2530	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 8	246	211	−	−	2530	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 15	253	218	−	−	2540	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 22	260	225	−	−	2500	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 29	267	232	−	−	2520	−	−	−	−	−	−	
〃 5, 6	274	239	−	−	2500	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 13	281	246	−	−	2530	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 20	288	253	−	−	2640	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 27	295	260	−	−	2670	−	−	−	−	−	−	
〃 6, 3	302	267	−	−	2610	−	−	−	−	−	−	
〃 〃 10	309	274	−	−	2520	−	−	−	−	−	−	

〃 〃 17	316	281	—	—	2580	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	323	288	—	—	2600	—	—	—	—	—	—	
〃 7, 1	330	295	—	—	2410	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 8	337	302	—	—	2520	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	344	309	—	—	2580	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 22	351	316	—	—	2600	—	—	—	—	—	—	
〃 〃 29	358	323	—	—	2450	—	—	—	—	—	—	

Nr. 150 白色 体重 2130 g. 昭和4年9月9日家兎 Nr. 143（千株49代通過毒）より右睾丸實質内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 9, 9	1		—	—	2130			—	—	—	—	
〃 〃 16	8		—	—	2050			—	—	—	—	
〃 〃 23	15	7	—	—	2027		+	—	—	—	—	
〃 〃 30	22	14	—	—	1850		+	—	—	—	—	4, 10, 2 RH 摘出 TP卅
〃 10, 7	29	21	++	++	1750		5,10,2++	—	—	—	—	
〃 〃 14	36	28	+++	++	1720		○	—	—	—	—	大に衰弱
〃 〃 21	43	35	+++	++	1770		○	—	—	—	—	〃
〃 〃 28	50	42	+++	++	1820		○	—	—	—	—	
〃 11, 4	57	49	+++	++	1850		○	—	LH+++	—	—	4, 11, 21 LH は脱出す
〃 〃 11	64	56	+++	++	1910		○	—	+++	—	—	
〃 〃 18	71	63	+++	+++	1850		○	—	+++	—	—	
〃 〃 25	78	70	++	+++	1850		○	—	St. dec.	—	—	
〃 12, 2	85	77	++	+++	1830		○	—	〃	—	—	
〃 〃 9	92	84	+	+	1880		○	—	〃	—	—	
〃 〃 16	99	91	+	+	1950		○	—	〃	—	—	
〃 〃 23	106	98	—	+	2130		○	—	〃	—	—	
〃 〃 30	113	105	—	—	2160		○	—	〃	—	—	
5, 1, 6	120	112	—	—	2020		○	—	〃	—	—	

〃 〃 13	127	118	—	—	2020		○	—	〃	—	—	
〃 〃 20	134	126	—	—	2000		○	—	〃	—	—	
〃 〃 27	141	133	+	++	2260		○	—	〃	—	—	
〃 2, 3	148	140	—	—	2300		○	—	〃	—	—	5, 2, 10 ネオエーラミゾール注射
〃 〃 10	155	147	—	—	2300		○	—	脱落	—	—	
〃 〃 17	162	154	—	—	2330		○	—	—	—	—	5, 2, 17 同上
〃 〃 24	169	161	—	—	2290		○	—	—	—	—	〃 〃 24 同上
〃 3, 3	176	168	—	—	2150		○	—	—	—	—	〃 3, 3 同上
〃 〃 10	183	175	—	—	2240		○	—	—	—	—	
〃 〃 17	190	182	—	—	2380		○	—	—	—	—	
〃 〃 24	197	189	—	—	2520		○	—	—	—	—	
〃 〃 31	204	196	—	—	2490		○	—	—	—	—	
〃 4, 7	211	203	—	—	2370		○	—	—	—	—	
〃 〃 14	218	210	—	—	2400		○	—	—	—	—	
〃 〃 21	225	217	—	—	2410		○	—	—	—	—	
〃 〃 28	232	224	—	—	2490		○	—	—	—	—	
〃 5, 5	239	231	—	—	2370		○	—	—	—	—	
〃 〃 12	246	238	—	—	2400		○	—	—	—	—	
〃 〃 19	253	245	—	—	2410		○	—	—	—	—	
〃 〃 26	260	252	—	—	2370		○	—	—	—	—	
〃 6, 2	267	259	—	—	2370		○	—	—	—	—	
〃 〃 9	274	266	—	—	2380		○	—	—	—	—	
〃 〃 16	281	273	—	—	2300		○	—	—	—	—	
〃 〃 23	288	280	—	—	2180		○	—	—	—	—	
〃 〃 30	295	287	—	—	2000		○	—	—	—	—	
〃 7, 7	302	294	—	—	1800		○	—	—	—	—	
〃 〃 14	309	301	—	—	1750		○	—	—	—	—	
〃 〃 17	312	304						—	—	—	—	死亡

Nr. 153　白色　体重 2290 g.　昭和 4 年10月 2 日家兎 Nr. 149（千株50代通過毒）より
右睪丸實質内に 0.5 右背皮内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 10, 2	1		—	—	2290	—	—	—	—	—	—	
” ” 9	8		—	—	2300	—	—	—	—	—	—	
” ” 16	15	1	—	—	2370	—	+	—	—	—	—	
” ” 23	22	8	+	+	2300	—	+++	—	—	—	—	4, 10, 23 RH 摘出 TP
” ” 30	29	15	++	+	2240	—	○	—	—	—	—	
” 11, 6	36	22	++	+++	2350	—	○	—	—	—	—	
” ” 13	43	29	++	++	2240	—	○	—	—	—	—	
” ” 20	50	36	+++	++	2250	—	○	—	—	—	—	
” ” 27												不明となる

（C）腹腔内接種接種によるもの

S 29　白色　体重 1450 g.　昭和 4 年 2 月21日家兎 S 10（千株41代通過毒）腹腔内に 0.5 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 2, 21	1		—	—	1450	○	○	—	—	—	—	
” ” 28	8		—	—	1450	○	○	—	—	—	—	
” 3, 7	15		—	—	1350	○	○	—	—	—	—	
” ” 14	22		—	—	1410	○	○	—	—	—	—	
” ” 21	29		—	—	1400	○	○	—	—	—	—	
” ” 28	36		—	—	1450	○	○	—	—	—	—	
” 4, 4	43		—	—	1470	○	○	—	—	—	—	

〃 〃 11	50		—	—	1470	○	○	—	—	—	—	4, 4, 13 右陰
〃 〃 18	57	6			1410	○	○	—	RH卄	—	—	囊に小指頭の浸
〃 〃 25	64	13	卄	+	1450	○	○	—	卅	—	—	潤を有せる硬結
〃 5, 2	71	20	卄	+	1460	○	○	—	卅	—	—	あり（TP卄）
〃 〃 9	78	27	卄	—	1400	○	○	—	卅	—	—	漸次增大して潰
〃 〃 16	85	34	±	—	1300	○	○	—	卅	—	—	瘍を形成す
〃 〃 23	92	41	—	—	1360	○	○	—	卅	—	—	終始睾丸の腫脹
〃 〃 30	99	48	—	—	1430	○	○	—	St. dec.	—	—	は認めず
〃 6, 6	106	55	—	—	1290	○	○	—	〃	—	—	
〃 〃 13	113	52	—	—	1360	○	○	—	〃	—	—	
〃 〃 20	120	59	—	—		○	○	—	〃	—	—	死　亡

S 30　白色　体重 2245 g.　昭和4年2月21日家兎S 10（千株41代通過毒）より腹腔内に0.5接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 2, 21	1				2245			—		—	—	
〃 〃 28	8				2245			—		—	—	
〃 3, 7	15				2300			—		—	—	4, , 19 兩H
〃 〃 14	22				2230			—		—	—	拇指頭大に腫脹
〃 〃 21	29	3			2250			—	兩H卄	—	—	4, 3, 26 兩H
〃 〃 28	36	10	卄	+	2250			—	○	—	—	摘出 TP $\frac{10}{I}$
〃 4, 4	43	17	卅	卄	2300			—	○	—	—	
〃 〃 11	50	24	+	+	2390			—	○	—	—	
〃 〃 18	57	31	—	卄	2430			—	○	—	4, 4, 21 包皮光端丘疹卄	4, 4, 23 鼻部
〃 〃 25	64	38	卄	+	2490			—	○	—		に丘疹 卄
〃 5, 2	71	45	卄	+	2460			—	○	—	〃 卅	卄
〃 〃 9	78	52	卄	—	2520			—	○	—	St. dec.	St. dec.
〃 〃 16	85	59	—	—	2560			—	○	—	—	—
〃 〃 23	92	66	—	—	2470			—	○	—	—	—

〃 〃 30	99	73	—	—	2460		—	○	—	—	—	
〃 6, 7	106	80	—	—	2460		—	○	R目$T_{+}i_{+}$	—	—	
〃 〃 14	113	87	—	—	2330		—	○	R目$T_{\pm}P_{++}$	—	—	
〃 〃 21	120	94	—	—	2540		—	○	—	—	—	
〃 〃 24	123	101	—	—	2540		—	○	—	—	4, 6, 24 左背皮内に再接種（同菌株）	
〃 〃 26	125	103	—	—			—	○	—	—		
〃 〃 28	127	105	—	—			—	○	—	—		
〃 〃 30	129	107	—	—	2360		—	○	—	—		
〃 7, 3	132	110	—	—	2530		LIG++	○	—	—		
〃 〃 8	137	115	—	—	2430		摘出TP_{++}	○	—	—		
〃 〃 15	144	122	—	—	2430		〃	○	—	—		
〃 〃 22	151	129	—	—	2460		〃	○	—	—		
〃 〃 29	158	136	—	—	2490		—	—	—	—		
〃 8, 6	165	143	—	—	2570		—	—	—	—		
〃 〃 13	172	150	—	—	2470		—	—	—	—		
〃 〃 20	179	157	—	—	2470		—	—	—	—		
〃 〃 27	186	164	—	—	2210		—	—	—	—		
〃 9, 3	193	171	—	—	2420		—	—	—	—		
〃 〃 10	200	178	—	—	2500		—	—	—	—		
〃 〃 17	207	185	—	—	2500		—	—	—	—		
〃 〃 24	214	192	—	—	2490		—	—	—	—		
〃 10, 1	221	199	—	—	2490		—	—	—	—		
〃 〃 8	228	206	—	—	2500		—	—	—	—		
〃 〃 15	235	213	—	—	2430		—	—	—	—		
〃 〃 22	242	220	—	—	2430		—	—	—	—		
〃 〃 29	249	227	—	—	2560		—	—	—	—		
〃 11, 6	256	224	—	—	2560		—	—	—	—		
〃 〃 13	263	241	—	—	2430		—	—	—	—		
〃 〃 20	270	248	—	—	2430		—	—	—	—		
〃 〃 27	277	255	—	—	2410		—	—	—	—		
〃 12, 4	284	262	—	—	2450		—	—	—	—		

〃 〃 11	291	269	—	—	2460			—	—	—	—	
〃 〃 18	298	276	—	—	2460			—	—	—	—	
〃 〃 25	305	283	—	—	2480			—	—	—	—	中　止

（D）　靜脈內接種によるもの

S 32　白色　体重 2570 g.　昭和4年2月21日家兎S 10（千株41代通過毒）より耳靜脈內に 1.0 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睪丸	淋巴腺腫脹	睪丸	角膜實質炎	其他	
4, 2, 21	1		—	—	2570			—	—	—	—	
〃 〃 27	7		—	—	2570			—	—	—	—	
〃 3, 6	14		—	—	2480			—	—	—	—	
〃 〃 13	21		—	—	2290			—	—	—	—	
〃 〃 20	28		—	—	2370			—	—	—	—	
〃 〃 27	35		—	—	2390			—	—	—	—	
〃 4, 3	42		—	—	2390			—	—	—	—	
〃 〃 10	49		—	—	2350			—	—	—	—	
〃 〃 17	56	3	—	+	2340			—	RH++	—	—	4, 4, 15 RH +
〃 〃 24	63	10	+++	+	2360			—	—	—	—	4, 4, 17 RHは腹腔內に入り壓出しがたし
〃 5, 1	70	17	—	—	2410			—	—	—	—	
〃 〃 8	77	24	—	—	2440			—	—	—	—	
〃 〃 15	84	31	—	—	2460			—	—	—	—	
〃 〃 22	91	38	—	—	2310			—	—	—	—	
〃 〃 29	98	45	—	—	2460			—	—	—	—	
〃 6, 5	105	52	—	—	2350			—	—	—	—	
〃 〃 12	112	59	—	—	2320			—	—	—	—	
〃 〃 19	119	66	—	—	2480			—	—	—	—	
〃 〃 24	124	70	—	—				—	—	—	—	4, 6, 24 LH實質內及び左背皮內に再接種（同菌株）
〃 〃 26	126	72	—	—				—	—	—	—	

〃 〃 28	128	74	—	—				—	—	—	—	
〃 7, 1	131	77	—	—				—	—	—	—	
〃 〃 3	133	79	—	—	2430			—	—	—	—	
〃 〃 5	135	81	—	—				—	—	—	—	
〃 〃 12	142	88	—	—	2330			—	—	—	—	
〃 〃 19	149	95	—	—	2480			—	—	—	—	
〃 〃 26	156	102	—	—	2370			—	—	—	—	
〃 8, 2	163	109	—	—	2220			—	—	—	—	
〃 〃 9	170	116	—	—	2250			—	—	—	—	
〃 〃 16	177	123	—	—	2270			—	—	—	—	
〃 〃 23	184	130	—	—	2300			—	—	—	—	
〃 〃 30	191	137	—	—	2340			—	—	—	—	
〃 9, 6	198	142	—	—	2440			—	—	—	—	
〃 〃 13	205	149	—	—				—	—	—	—	
〃 〃 20	212	156	—	—				—	—	—	—	
〃 〃 27	219	163	—	—				—	—	—	—	
〃 10, 4	226	170	—	—	2670			—	—	—	—	
〃 〃 11	233	177	—	—	2610			—	—	—	—	
〃 〃 18	240	184	—	—	2700			—	—	—	—	
〃 〃 25	247	191	—	—	2640			—	—	—	—	
〃 11, 2	254	198	—	—	2400			—	—	—	—	
〃 〃 9	261	205	—	—	2470			—	—	—	—	
〃 〃 16	268	212	—	—	2400			—	—	—	—	
〃 〃 23	275	219	—	—	2290			—	—	—	—	
〃 〃 30	282	226	—	—	2380			—	—	—	—	
〃 12, 7	289	233	—	—	2390			—	—	—	—	
〃 〃 14	296	240	—	—	2450			—	—	—	—	
〃 〃 21	303	247	—	—	2650			—	—	—	—	
〃 〃 28	310	254	—	—	2640			—	—	—	—	5, 1, 13 左背皮内に再接種(同菌株)
5, 1, 13	326	270	—	—	2620			—	—	—	—	
〃 〃 15	328	272	—	—	2620			—	—	—	—	
〃 〃 28	341	285	—	—	2660			—	—	R目$T_{+}P_{++}$	—	

S 33　白色　体重 2570 g.　昭和4年2月21日家兎 S 10（千株41代通過毒）より耳靜脈內 1.0 注射

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歷日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 2, 21	1		—	—	2570			—	—	—	—	
〃 〃 27	7		—	—	2570			—	—	—	—	
〃 3, 6	14		—	—	2510			—	—	—	—	4, 3, 7 肛門稍々糜爛
〃 〃 13	21		—	—	2350			—	—	—	—	同上
〃 〃 20	28		—	—	2440			—	—	—	—	—
〃 〃 27	35		—	—	2540			—	—	—	—	
〃 4, 3	42		—	—	2510			—	—	—	—	
〃 〃 10	49	2	+	++	2500			—	兩H＋	—	—	4, 4, 17 兩H摘出
〃 〃 17	56	9	++	+	2510			—	○	—	—	
〃 〃 24	63	16	+++	+	2360			—	○	—	—	
〃 5, 1	70	23	+++	+	2340			—	○	—	—	
〃 〃 8	77	30	++	+	2510			—	○	—	—	
〃 〃 15	84	37	—	—	2650			—	○	—	—	
〃 〃 22	91	44	—	—	2560			—	○	—	—	
〃 〃 29	98	51	—	—	2600			—	○	—	—	
〃 6, 5	105	58	—	—	2650			—	○	—	—	
〃 〃 12	112	65	—	—	2690			—	○	4, 6, 11 R 目	—	
〃 〃 19	119	72	—	—	2640			—	○	$T_+P_{++}i_+$	—	
〃 〃 24	124	77	—	—				—	○	$T_{++}P_+i_+$	—	
〃 〃 26	126	79	—	—				—	○	$T_\pm P_+$	—	4, 6, 24 左背皮內再接種（同菌株）
〃 〃 29	129	82	—	—	2660			—	○	$T_\pm P_+$	—	
〃 7, 1	131	84	—	—				—	○	—	—	
〃 〃 3	133	86	—	—	2730			—	○	—	—	
〃 〃 8	138	91	—	—	2730			—	○	—	全身稍々脫毛	
〃 〃 15	145	98	—	—	2720			—	○	—	〃	
〃 〃 22	152	105	—	—	2600			—	○	—	〃	

〃 〃 29	159	112	—	—	2520			—	○	—	全身稍々脱毛	
〃 8, 5	166	119	—	—	2470			—	○	—	〃	
〃 〃 12	173	126	—	—	2450			—	○	—	〃	
〃 〃 19	180	133	—	—	2520			—	○	—	〃	
〃 〃 26	187	140	—	—	2520			—	○	—	〃	
〃 9, 2	194	147	—	—	2520			—	○	—	〃	
〃 〃 9	201	154	—	—	2520			—	○	—	發生しかゝる	
〃 〃 16	208	161	—	—	2530			—	○	—	〃	
〃 〃 23	215	168	—	—				—	○	—	殆んど改復	
〃 〃 30	222	175	—	—				—	○	—	—	
〃 10, 7	229	182	—	—	2580			—	○	—	—	
〃 〃 14	236	189	—	—	2910			—	○	—	4, 10, 9	
〃 〃 21	243	196	—	—	2840			—	○	—	包皮先端糜爛	
〃 〃 28	250	203	—	—	2900			—	○	—	〃	
〃 11, 4	257	210	—	—	2850			—	○	—	〃	
〃 〃 11	264	217	—	—	2870			—	○	—	〃	
〃 〃 18	271	224	—	—	2640			—	○	—	〃	
〃 〃 25	278	231	—	—	2650			—	○	—	〃	
〃 12, 2	285	228	—	—	2550			—	○	—	〃	
〃 〃 9	292	245	—	—	2540			—	○	—	〃	
〃 〃 16	299	252	—	—	2700			—	○	—	〃	
〃 〃 23	306	259	—	—	2900			—	○	—	—	
〃 〃 30	313	266	—	—	2900			—	○	—	—	
5, 1, 6	320	273	—	—	2920			—	○	—	—	
〃 〃 13	327	280	—	—	2800			—	○	—	—	5, 1, 13 左背皮内再接種（同菌株）
〃 〃 20	334	287	—	—	2900			—	○	—	—	
〃 〃 23	337	290	—	+	2860			—	○	—	—	
〃 〃 25	339	292	++	+++	2860			—	○	—	—	
〃 〃 28	342	295	+	+	2780			—	○	—	—	
〃 2, 4	349	302	+	+	2820			—	○	—	—	

S 34　白色　体重 1700 g.　同　上

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 2, 21	1		—	—	1700			—	—	—	—	
〃 〃 27	7		—	—	1700			—	—	—	—	
〃 3, 6	14		—	—	1700			—	—	—	—	
〃 〃 13	21		—	—	1530			—	—	—	—	
〃 〃 20	28		—	—	1650			—	—	—	—	
〃 〃 27	35		+	—	1690			—	—	—	—	
〃 4, 3	42		+	++	1820			—	—	—	—	
〃 〃 10	49		+++	+++	1770			—	4, 4, 11 兩H+	—	—	4, 4, 17 兩H 摘出
〃 〃 17	56	7	+++	++	1800			—	+	—	—	
〃 〃 24	63	14	+++	++	1780			—	○	—	—	
〃 5, 1	70	21	+++	+	1880			—	○	—	—	
〃 〃 8	77	28	++	+	1930			—	○	—	—	
〃 〃 15	84	35	+	+	1910			—	R +++	—	—	RH 摘出跡拇指頭大腫脹
〃 〃 22	91	42	+	+	1880			—	+++	—	—	
〃 〃 29	98	49	++	+	1960			—	+++	—	—	雀卵大ゴム腫狀となる
〃 6, 5	105	56	+	+	1900			—	St. dec.	—	—	
〃 〃 12	112	63	+	+	1980			—	〃	—	—	拇指頭大となる
〃 〃 19	119	70	—	+	2000			—	〃	—	—	同　上
〃 〃 24	124	75	—	±				—	—	—	—	4, 6, 24 左背皮內に再接種（同菌株）
〃 〃 27	127	78	++	+++	1950			—	—	—	—	
〃 〃 29	129	80	++	++				—	—	—	—	
〃 7, 1	131	82	++	++				—	—	—	—	
〃 〃 3	133	84	++	++	2000			—	—	—	—	
〃 〃 10	140	91	—	—				—	—	—	—	

（E）前房内接種によるもの

S 36　白色　体重 2850 g.　昭和4年2月21日家兎S 10（千株41代通過毒）より右前房内 0.1 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候	全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		角膜	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 2, 21	1		—	—	2850		—	—	—	—	
〃 〃 23	3		—	—		瞳孔領の白濁	—	—	—	—	
〃 〃 25	5		—	—		同上	—	—	—	—	
〃 〃 27	7		—	—		僅かに白濁	—	—	—	—	
〃 3, 1	9		—	—		—	—	—	—	—	
〃 〃 3	11		—	—		—	—	—	—	—	
〃 〃 5	13	1	—	—	2760	瞳孔の周圍にパンヌス	—	—	—	—	
〃 〃 7	15	3	—	—		同上	—	—	—	—	
〃 〃 9	17	5	—	—		同上	—	—	—	—	
〃 〃 11	19	7	—	—	1550	$T_{+}.\ P_{+}.\ i_{+}$	—	—	—	—	
〃 〃 18	26	14	—	—	1540	$T_{+}.\ P_{++}.\ i_{+}$	—	—	—	—	
〃 〃 21	29	17	—	—	1530	$T_{\pm}.\ P_{+}.\ i_{++}$	—	—	—	—	
〃 〃 28	36	24	+	+	1600	同上	—	—	—	—	右前房水 WR —
〃 4, 4	43	31			1720	$T_{+++}.\ P_{++}.\ i_{+}$	—	—	—	—	
〃 〃 11	50	38	++	+	1670	同上	—	—	—	—	
〃 〃 18	57	45	+	+		$T_{+++}.\ P_{++}.\ i_{+}$	—	—	—	—	
〃 〃 25	64	52	++	+		$T_{+}.\ P_{\pm}.\ i_{+}$	—	—	—	—	
〃 5, 2	71	59	++	+	1820	$T_{-}.\ P_{-}$	—	—	—	—	
〃 〃 9	78	66	+	+	1840	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	85	73	+	+	1840	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	92	80	++	+	1750	—	—	—	—	—	
〃 〃 30	99	87	+++	+	1750	—	—	—	—	—	
〃 6, 7	106	94	+++	++	1760	—	—	—	—	—	
〃 〃 14	113	101	++	++	1760	—	—	—	—	—	

〃 〃 21	120	108	+	+	1710	—	—	—	—	—	4, 6, 24 背皮及びLH兩接種（同菌株）
〃 〃 28	127	115	++	++	1610	—	—	—	—	—	
〃 7, 3	132	120	+	+		—	—	—	—	—	
〃 〃 10	139	127	+	+		—	—	—	—	—	
〃 〃 17	146	134	±	+	1740	—	—	—	—	—	
〃 〃 24	153	141	±	+	1740	—	—	—	—	—	
〃 〃 31	160	148	—	—	1810	—	—	—	—	右大眼内側脫毛	
〃 8, 7	167	155	—	—	1760	—	—	—	L目 T_+P_+	〃	
〃 〃 14	174	162	—	—	1760	—	—	—	L目 T_+P_{++}	〃	
〃 〃 21	181	169	—	—	1780	—	—	—	〃	—	
〃 〃 28	188	176	—	—	1810	—	—	—	〃	—	
〃 9, 4	195	183	—	—	1700	—	—	—	〃	—	
〃 〃 11	202	190	—	—	1830	—	—	—	T_+ P_+	—	
〃 〃 18	209	197	—	—	1830	—	—	—	〃	—	
〃 〃 25	216	204	—	—	1830	—	—	—	〃	—	
〃 10, 2	223	211	—	—	1900	—	—	—	〃	—	
〃 〃 9	230	218	—	—	1910	—	—	—	〃	—	
〃 〃 16	237	225	—	—	2000	—	—	—	〃	—	
〃 〃 23	244	232	—	—	2120	—	—	—	〃	—	
〃 〃 30	251	239	—	—	2090	—	—	—	T_{++} P_{++}	—	
〃 11, 6	258	246	—	—	2110	—	—	—	〃	—	
〃 〃 13	265	253	—	—	2100	—	—	—	〃	—	
〃 〃 20	272	260	—	—	2100	—	—	—	〃	—	
〃 〃 27	279	267	—	—	2000	—	—	—	〃	—	
〃 12, 4	286	274	—	—	2090	—	—	—	〃	—	
〃 〃 11	293	281	—	—	2100	—	—	—	〃	—	
〃 〃 18	300	288	—	—	2100	—	—	—	〃	—	
〃 〃 25	307	295	—	—	2250	—	—	—	T_{+++} P_{+++} i_+	—	
5, 1, 1	314	302	—	—	2170	—	—	—	L 目 T_{+++} P_{+++} i_+	—	
〃 〃 8	321	309	—	—	2090	—	—	—	〃	—	
〃 〃 11	326	314	—	—	2120	—	—	—	〃	—	

〃 〃 15	328	316	—	—		—	—	—	〃	—	5, 1, 13 LH及び背皮内再接種(同菌株)
〃 〃 17	330	318	—	—		—	—	—	〃	—	
〃 〃 19	332	320	—	—		—	—	—	〃	—	
〃 〃 21	334	322	—	—		—	—	—	〃	—	
〃 〃 23	336	324	—	—	2230	—	—	—	〃	—	
〃 〃 28	341	329	—	—	2170	—	—	—	〃	—	
〃 2, 4	348	336	—	—	2220	—	—	—	〃	—	
〃 〃 11	355	343	—	—		—	—	—	〃	—	5, 2, 12 ネオエーラミゾール注射
〃 〃 18	362	350	—	—		—	—	—	〃	—	
〃 〃 25	369	357	—	—	2130	—	—	—	T_{++} P_{++}	—	5, 2, 19 同上
〃 3, 4	376	364	—	—		—	—	—	T_{+} P_{+}	—	5, 2, 26 同上
〃 〃 5	377	365	—	—		—	—	—	T_{+} P_{+}	—	
〃 〃 7	379	366							〃		死亡

S 37 白色 体重 2485 g. 昭和4年2月21日家兎S 10 (千株41代通過毒) より右前房内 0.1 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候	全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		角膜	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 2, 21	1		—	—	2485		—	—	—	—	
〃 〃 23	3		—	—		眼孔領角膜白濁	—	—	—	—	
〃 〃 25	5		—	—		黄白色溷濁	—	—	—	—	
〃 〃 27	7		—	—	2485	黄白色溷濁	—	—	—	—	
〃 3, 3	11		—	—		同上	—	—	—	—	
〃 〃 5	13		—	—	2360	點狀黄白色溷濁	—	—	—	—	
〃 〃 7	15	1	—	—		瞳孔領周圍パンヌス	—	—	—	—	
〃 〃 9	17	3	—	—		同上	—	—	—	—	
〃 〃 11	19	5	—	—		同上	—	—	—	—	
〃 〃 13	26	12	—	—	2410	T_{++}. P_{++}. i_{++}	—	—	—	—	
〃 〃 21	29	15	—	—	2480	T_{+}. P_{-}. i_{+}	—	—	—	—	
〃 〃 28	36	22	+	+	2370		—	—	—	—	前房水 WR—

〃 4, 4	43	29	+	+	2470	T_{III}. P_{II}. i_{+}	—	—	—	—	
〃 〃 11	50	36	—	—	2540	T_{III}. P_{II}. i_{+}	—	—	—	—	前房水 WR—
〃 〃 18	57	43	+	+	2600	T_{II}. P_{+}	—	兩H±	—	—	兩H稍々緊脹
〃 〃 25	64	50	III	+	2570	同　上	—	—	—	—	
〃 5, 2	71	57	II	+	2570	—	—	—	—	—	
〃 〃 9	78	64	+	+	2590	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	85	71	+	+	2590	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	92	78	+	+	2580	—	—	—	—	—	
〃 〃 30	99	85	+	+	2740	—	—	—	—	—	
〃 6, 7	106	92	+	+	2610	—	—	—	—	—	
〃 〃 14	113	99	—	+	2630	—	—	—	—	—	
〃 〃 21	120	106	—	+	2710	—	—	—	—	—	4, 6, 24 背皮及びLH再接種（同菌株）
〃 〃 28	127	113	—	+	2590	—	—	—	—	—	
〃 7, 3	132	118	—	—	2780	—	—	—	—	—	
〃 〃 10	139	125	—	—	2620	—	—	—	—	大眼内側脛毛	
〃 〃 17	146	132	—	—	2770	—	—	—	—	〃	
〃 〃 24	153	139	—	—	2770	—	—	—	—	〃	
〃 〃 31	160	146	—	—	2450	—	—	—	—	〃	
〃 8, 7	167	153	—	—	2590	—	—	—	—	〃	
〃 〃 14	174	160	—	—	2530	—	—	—	—	—	
〃 〃 21	181	167	—	—	2500	—	—	—	—	—	
〃 〃 28	188	174	—	—	2520	—	—	—	—	—	
〃 9, 4	195	181	—	—	2530	—	—	—	—	—	
〃 〃 11	202	188	—	—	2680	—	—	—	—	—	
〃 〃 18	209	195	—	—	2500	—	—	—	—	—	
〃 〃 25	216	202	—	—	2500	—	—	—	—	—	
〃 10, 2	223	209	—	—		—	—	—	—	—	
〃 〃 9	230	216	—	—	2670	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	237	223	—	—	2800	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	244	230	—	—		—	—	—	—	—	
〃 〃 30	251	237	—	—	2810	—	—	—	L目 $T_{II}P_{II}$	—	

〃 11, 6	258	244	—	—	2810	—	—	—	T+ P++	—	
〃 〃 13	265	251	—	—	2170	—	—	—	〃	—	
〃 〃 20	272	258	—	—	2180	—	—	—	〃	—	
〃 〃 27	279	265	—	—	2510	—	—	—	〃	—	
〃 12, 4	286	272	—	—	2500	—	—	—	〃	—	
〃 〃 11	293	279	—	—	2430	—	—	—	〃	—	
〃 〃 18	300	286	—	—	2430	—	—	—	〃	—	
〃 〃 25	307	293	—	—	2540	—	—	—	P+	—	
5, 1, 1	314	300	—	—	2390	—	—	—	—	—	
〃 〃 8	321	307	—	—	2490	—	—	—	—	—	
〃 〃 13	326	312	—	—	2360	—	—	—	—	—	
〃 〃 15	328	314	—	—	2360	—	—	—	—	—	
〃 〃 17	330	316	—	—		—	—	—	—	—	
〃 〃 19	332	318	—	—		—	—	—	—	—	
〃 〃 21	334	320	—	—		—	—	—	—	—	
〃 〃 23	336	322	—	—	2460	—	—	—	—	—	
〃 〃 28	341	327	—	—	2420	—	—	—	—	—	
〃 2, 4	348	334	—	—	2500	—	—	—	—	—	
〃 〃 11	355	341	—	—		—	—	—	—	—	5, 2, 12 ネオエーラミゾール注射
〃 〃 18	362	348	—	—	2570	—	—	—	L目 T++P+	—	
〃 〃 25	369	355	—	—	2580	—	—	—	T+ P+	—	5, 2, 19 同上
〃 3, 4	376	362	—	—	2570	—	—	—	—	—	5, 2, 26 同上
〃 〃 5	377	363	—	—		—	—	—	—	—	5, 3, 5 ネオイマミコール1.0耳静脈内注射
〃 〃 10	382	368	—	—		R目T+P+前房内出血	—	—	L目 P+	—	
〃 〃 12	384	370	—	—	2590	〃	—	—	—	—	
〃 〃 17	389	375	—	—		〃	—	—	—	—	
〃 〃 24	396	382	—	—	2390	〃	—	—	—	—	
〃 〃 31	403	389	—	—	2650	—	—	—	—	—	
〃 4, 7	410	396	—	—	2750	—	—	—	—	—	
〃 〃 14	417	403	—	—	2580	—	—	—	—	—	
〃 〃 21	424	410	—	—	2710	—	—	—	—	—	

〃 〃 28	431	417	—	—		—	—	—	—	—	
〃 5, 5	438	424	—	—	2720	—	—	—	—	—	
〃 〃 12	445	431	—	—	2990	—	—	—	—	—	
〃 〃 19	452	438	—	—	2850	—	—	—	—	—	
〃 〃 26	459	445	—	—	2800	—	—	—	—	—	
〃 6, 2	466	452	—	—	2800	—	—	—	—	—	
〃 〃 9	473	459	—	—	2800	—	—	—	—	—	
〃 〃 16	480	466	—	—	2820	—	—	—	—	—	
〃 〃 23	487	473	—	—	2820	—	—	—	—	—	
〃 〃 30	494	480	—	—	2830	—	—	—	—	—	
〃 7, 7	501	487	—	—	2960	—	—	—	—	—	
〃 〃 14	508	494	—	—	2800	—	—	—	—	—	
〃 〃 21	515	501	—	—	2830	—	—	—	—	—	
〃 〃 28	522	508	—	—	2850	—	—	—	—	—	
〃 8, 4	529	515	—	—	2810	—	—	—	—	—	

（F）　硬腦膜下接種によるもの

S 74　白色　体重 2160 g.　昭和4年4月5月2日家兎 S 62（千株44代通過毒）より硬腦膜下に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 2	1		—	—	2160			—	—	—	—	
〃 〃 9	8		—	—	2200			—	—	—	—	
〃 〃 16	15		—	—	2440			—	—	—	—	
〃 〃 23	22		—	—	2300			—	—	—	—	
〃 〃 30	29		—	—	2210			—	—	—	—	
〃 6, 6	36		—	—	2460			—	—	—	—	
〃 〃 13	43		—	—	2410			—	—	—	—	

〃 〃 20	50		—	—	2410			—	—	—	—	
〃 〃 27	57		++	++	2470			—	—	—	—	
〃 7, 4	64		++	++	2410			—	—	—	—	
〃 〃 11	71		+	+	2530			—	—	—	—	
〃 〃 18	78		+	+	2510			—	—	—	—	
〃 〃 25	85		—	—	2500			—	—	—	—	
〃 8, 1	92		—	—	2500			—	—	—	—	
〃 〃 4	95											不明となる

S 75　白色　体重 1970 g.　昭和 4 年 5 月 2 日家兎 S 62（千株44代通過毒）より硬腦膜下に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 2	1		—	—	1970			—	—	—	—	
〃 〃 9	8		—	—	1980			—	—	—	—	
〃 〃 16	15		—	—	2000			—	—	—	—	
〃 〃 23	22		—	—	2300			—	—	—	—	
〃 〃 30	29		—	—	2260			—	—	—	—	
〃 6, 6	36		—	—	2300			—	—	—	—	
〃 〃 13	43		—	—	2270			—	—	—	—	
〃 〃 20	50		—	—	2200			—	—	4, 6, 23 R眼 $T_{+}P_{++}$	R 睾膜發赤	
〃 〃 27	57	5	—	—	2220			—	—	〃	〃	
〃 7, 4	64	12	—	—	2210			—	—	R眼 $T_{+++}P_{++}$	〃	
〃 〃 8	68	16						—	—	R $T_{+++}P_{+++}i_{+}$	同上腫大	病理教室へ

S 76　白色　体重 1880 g.　昭和4年5月2日家兎 S 62（千株44代通過毒）より硬腦膜下に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 2	1		—	—	1880			—	—	—	—	
〃 〃 9	8		—	—	1900			—	—	—	—	
〃 〃 16	15		—	—	2000			—	—	—	—	
〃 〃 23	22		—	—	2150			—	—	—	—	
〃 〃 30	29		—	—	2090			—	—	—	—	
〃 6, 6	36		—	—	2250			—	—	—	—	
〃 〃 13	43		—	—	2330			—	—	—	—	
〃 〃 20	50		+++	+	2380			—	4, 6, 23 RH++	—	—	
〃 〃 27	57	5	+++	+	2160			—	〃	4, 6, 30 R. T+P++	—	
〃 7, 4	64	12	+++	+	2020			—	St. dec.	〃	—	
〃 〃 11	71	19	+++	+	2120			—	〃	R. T+++	—	
〃 〃 18	78	26	++	+++	2200			—	—	R. T++	R.睾膜膨隆	
〃 〃 25	95	33	++	++	2220			—	—	〃	〃	
〃 8, 1	92	40	+	++	2250			—	—	—	—	下半身麻痺大小便失禁
〃 〃 6	97	45										不明となる

（G）　腦實質內接種によるもの

S 77　白色　体重 1960 g.　昭和4年5月2日家兎 S 62（千株44代通過毒）より腦實質內に 0.2 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 2	1		—	—	1960			—	—	—	—	
〃 〃 9	8		—	—	1960			—	—	—	—	

〃 〃 16	15		—	—	1960			—	—	—	—	
〃 〃 23	22		—	—	2050			—	—	—	—	
〃 〃 30	29		—	—	1820			—	—	—	—	
〃 6, 6	36		—	—	1970			—	—	—	—	
〃 〃 13	43		—	—	2000			—	—	—	—	
〃 〃 20	50		—	+	2110			—	両H+	—	—	
〃 〃 27	57		++	++	2090			—	+	—	—	
〃 7, 4	64		++	+++	2050			—	+	—	—	
〃 〃 11	71		+	+	1900			—	+	—	—	
〃 〃 18	78		—	+	1890			—	+	—	—	
〃 〃 25	85		—	+	2010			—	+	—	—	
〃 8, 1	92		—	+	1940			—	+	—	—	
〃 〃 8	99		—	+	2020			—	+	—	—	
〃 〃 15	106		—	+	1950			—	±	—	—	
〃 〃 22	113		—	+	1930			—	±	—	—	
〃 〃 29	120		—	+	2060			—	±	—	—	
〃 9, 5	127		—	+	2120			—	±	—	—	
〃 〃 12	134		—	+	2200			—	±	—	—	
〃 〃 19	141		—	+	2250			—	±	—	—	
〃 〃 26	148		—	—	2220			—	±	—	—	
〃 10, 3	155		—	—	2200			—	±	—	—	
〃 〃 10	162		—	—	2250			—	±	—	—	
〃 〃 17	169		—	—	2250			—	±	—	—	
〃 〃 24	176		—	—	2300			—	±	—	—	

S 78 白色 体重 2120 g. 昭和4年5月2日家兎 S 62（千株44代通過毒）より腦實質内に 0.2 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 2	1		—	—	2120			—	—	—	—	

〃 〃 9	8		−	−				−	−	−	−
〃 〃 16	15		−	−	1870			−	−	−	−
〃 〃 23	22		−	−	2000			−	−	−	−
〃 〃 30	29		−	−	2030			−	−	−	−
〃 6, 6	36		−	−	2040			−	−	−	−
〃 〃 13	43		−	−	2100			−	−	−	−
〃 〃 20	50		−	−	2090			−	−	4, 6, 23	−
〃 〃 27	57	5	+	+	2180			−	−	T++P++L眼 L眼 T+P++	−
〃 7, 4	64	12	++	+	2170			−	4, 7, 7 RH++	〃	−
〃 〃 11	71	19	++	+	2290			−	LH+	〃	−
〃 〃 18	78	26	++	+	2180			−	〃	L眼 T+P+++	−
〃 〃 25	85	33	++	+	2200			−	St. dec.	L眼 T++P−	−
〃 8, 1	92	40	+	+	2200			−	〃	L眼 T++P+	−
〃 〃 8	99	47	+	+	2200			−	〃	〃	−
〃 〃 15	106	54	+	+	2180			−	−	〃	−
〃 〃 22	113	61	+	+	2140			−	−	〃	−
〃 〃 29	120	68	+	+	2110			−	−	〃	−
〃 9, 5	127	75	−	+	2220			−	−	〃	−
〃 〃 12	134	82	−	+	2220			−	−	L眼 T++P+	−
〃 〃 19	141	89	−	+	2200			−	−	〃	−
〃 〃 26	148	96	−	−	2290			−	−	〃	−
〃 10, 3	155	103	−	−	2500			−	−	〃	−
〃 〃 10	162	110	−	−	2410			−	−	〃	−
〃 〃 17	169	117	−	−	2440			−	−	〃	−
〃 〃 24	176	124	−	−	2440			−	−	R眼 T+P+ L眼 T+P+	−
〃 〃 31	183	131	−	−	2410			−	−	R眼 T+P+	−
〃 11, 7	190	138	−	−	2470			−	−	L −	−
〃 〃 14	197	145	−	−	2480			−	−	〃	−
〃 〃 21	204	152	−	−	2320			−	−	〃	−
〃 〃 28	211	159	−	−	2310			−	−	〃	−
〃 12, 5	218	166	−	−	2330			−	−	〃	−

〃 〃 12	225	173	—	—	2430			—	—	〃	
〃 〃 19	232	180	—	—	2400			—	—	〃	
〃 〃 26	239	187	—	—	2440			—	—	〃	
5, 1, 2	246	194	—	—	2460			—	—	〃	
〃 〃 9	253	201	—	—	2330			—	—	〃	
〃 〃 16	260	208	—	—	2470			—	—	〃	
〃 〃 23	267	215	—	—	2450			—	—	—	
〃 〃 30	274	222	—	—	2510			—	—	—	
〃 2, 6	281	229	—	—	2600			—	—	—	
〃 〃 13	288	236	—	—	2600			—	—	—	
〃 〃 20	295	243	—	—	2580			—	—	—	
〃 〃 27	302	250	—	—	2570			—	—	—	
〃 3, 6	309	257	—	—	2570			—	—	—	5, 3, 21 ネオエーラミゾール注射
〃 〃 13	316	264	—	—	2540			—	—	—	
〃 〃 20	323	271	—	—	2600			—	—	—	5, 3, 28 同上
〃 〃 27	330	288	—	—	2600			—	—	—	5, 4, 4 同上
〃 4, 3	337	295	—	—	2590			—	—	—	5, 4, 11 同上
〃 〃 10	344	302	—	—	2490			—	—	—	5, 4, 18 同上
〃 〃 17	351	309	—	—	2550			—	—	—	
〃 〃 24	358	316	—	—	2620			—	—	—	

(H) 脾臓内接種によるもの

S 80 白色 体重 1780 g. 昭和4年5月2日家兎S 62 (千株44代通過毒) より脾臓内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 2	1		—	—	1780							
〃 〃 9	8		—	—	1780							
〃 〃 16	15		—	—	1730							

〃 〃 23	22		—	—	1640							
〃 〃 30	29		—	—	1460				4, 6, 10			
〃 6, 6	36		±	+	1500				RH++ LH++			
〃 〃 13	43	4	++	+	1410				〃			4, 6, 17 死亡
〃 〃 17	47	8	++	+	1400				〃			病理教室へ

S 81　白色　体重 2430 g.　昭和4年5月2日家兎 S 62（千種44代通過毒）より脾臓内に 0.25 接種

月日	血清反應及症候		血清反應		体重	局所症候		全身症候				備考
歴日	接種後日數	發病後日數	W. R.	Mu. R.		背皮	睾丸	淋巴腺腫脹	睾丸	角膜實質炎	其他	
4, 5, 2	1		—	—	2430			—	—	—	—	
〃 〃 9	8		—	—	2210			—	—	—	—	
〃 〃 16	15		—	—	2200			—	—	—	—	
〃 〃 23	22		—	—	2230			—	—	—	—	
〃 〃 30	29		—	—	2120			—	—	—	—	
〃 6, 6	36		—	—	2120			—	—	—	—	
〃 〃 13	43		—	—	2100			—	—	—	—	
〃 〃 20	50		—	—	2100			—	—	—	—	
〃 〃 27	57		—	—	2200			—	—	—	—	
〃 7, 4	64		—	—	2130			—	—	—	—	
〃 〃 11	71		—	—	2180			—	—	—	—	
〃 〃 18	78		—	—	2100			—	—	—	—	
〃 〃 25	85		—	—	1980			—	—	—	—	
〃 8, 1	92		—	—	1960			—	—	—	—	
〃 〃 8	99		—	—	1790			—	—	—	4, 8, 18	
〃 〃 15	106		—	—	1790			—	—	—	包皮尖端小豆大硬結腫瘤	
〃 〃 22	113	5	—	—	1670			—	—	—		
〃 〃 29	120	12	—	—	1610			—	—	—	同上及び肛門腫瘤	大に衰弱
〃 9, 5	127	19	—	—	1420			—	—	—		
〃 〃 12	134	26	—	—	1480			—	—	—	〃	

19	141	33	—	—	1480	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃	死亡
〃 26	148	40	—	—	1580	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃	
〃 10, 3	155	47	—	—	1710	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	肛門部丘疹狀の硬結	
〃 10	162	54	—	—	1710	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃	
〃 17	169	61	—	—	1750	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃	
〃 24	176	68	—	—	1650	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃	
〃 31	183	75	—	—	1470	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
〃 11, 6	189	81															

り。

3．睾丸莢膜に瀰慢性肥厚を來し(S. 7)，若くは一所に限局して孤立せる1個若くは2乃至3個の大豆大乃至蜿豆大の硬結を陰嚢並に睾丸と關係なく觸知し得る事 (S. 54) あり，即ち瀰慢性睾丸周圍炎若くは限局性睾丸周圍炎と思はるゝ場合なり。

4．陰嚢の刺入點に小豆大の丘疹を生じ，該部は一旦治癒し更に睾丸の實質性腫脹を來せる例 (S. 4)，又は睾丸には腫脹を認めず陰嚢のみに定型的の初期硬結を生ぜる場合 (Nr. 163) もあり，即ち陰嚢の潰瘍なり。

以上の塲合に多くは局所に多數のバルリダを證明し得たり。

極期。は初期症候の異るに從ひて一定せず，初期症候に準じて觀察するに大体次の如し。

1．初期症候の 1) に相當するものは，(a) 睾丸腫脹は數日にして極度に達し，病變は睾丸にのみ局在し，漸次消散して萎縮に陷るもの (Nr. 146)，(b) 睾丸腫脹は其の硬度漸次增加し，全睾丸が一つの大なる硬結となるもの (Nr. 154)，(c) 腫脹せる睾丸は硬結となり，遂には陰嚢と癒着して該部の皮膚は壞死に陷り潰瘍を形成し，黑色の厚き痂皮を被る (Nr. 148) ものあり。

2．限局性睾丸炎と思はるゝものは，(a) 漸次硬結は大となり多くは接種後1ヶ月位にして吸收し初む，(b) 時には硬結が癒合して磊塊狀となり長き經過をとるものあり (Nr. 160)。

3．瀰慢性睾丸周圍炎は，(a) 前者と同樣に睾丸被膜の肥厚が漸次增加して著明に觸知し得るに至りたる後，多くは1ヶ月位にして吸收に傾く (Nr. 156)，(b) 限局性睾丸周圍炎と認めらるゝものに於ては1ヶ月位にして吸收に傾くものあれども，屢々硬結は增大し蚕豆大若くは尙大となり，硬結は癒合して磊塊狀となり，遂には護謨腫狀となる事あり (Nr. 158)。

4．陰嚢に於ける丘疹狀の初期硬結は1乃至2週にして潰瘍を形成し益々增大し，其の邊緣は堤狀となり遂に黑色の厚き

痂皮を被り，痂皮脱落し吸收に傾くもの，及び痂皮脱落後睾丸脱出し脱腸を伴ひ出血を來たすもの (S. 6) (S. 62) (Nr. 181)，稀には睾丸脱落する事あり (Nr. 131)。

消　散　期

1．睾丸萎縮に陷るもの比較的多くして極期に於ける 1) の (a) 2) の (a) 等は多く此の運命をとる。

2．乾酪變性に陷り遂には瘻孔を形成し，內容を洩泄して萎縮硬化す，極期に於ける 1) の (c), 2) の (b), 3) の (b) 等に此の形態を取るもの屢々あり。

3．陰囊に於ける潰瘍は多くの場合滲潤去り，瘢痕を殘して治癒し睾丸は萎縮す。

實驗例に於ける局所症候の潛伏期，發現期間及び全經過日數を表示すれば第2表の如し。

第　2　表

家兎番號	接種月日	潛伏期	局所症候發現期間	全經過
S. 2	19/XII 1928	20	78	98
〃 3	〃	20	X	
〃 4	〃	17	X	
〃 5	〃	26	X	
〃 6	〃		—	
〃 7	〃	13	85	98
〃 8	〃	13	X	
〃 9	〃		X	
Nr. 160	3/XII 1929	21	85	106
〃 161	〃	14	105	119
〃 163	20/XII 1929	16	X	
〃 164	〃	14	22	36
〃 165	〃	14	99	113
S. 10	30/I 1929	17	X	
〃 11	〃	15	75	90
〃 12	〃	17	X	
〃 13	〃	15	52	67
〃 14	〃	15	40	55
〃 15	〃	16	290	306
〃 16	〃	19	X	
Nr. 120	10/I 1929	14	X	
Nr. 125	21/II 1929	19	X	
〃 126	〃	26	X	
〃 127	〃	18	87	105
A. 35	10/III 1929	14	X	
S. 38	〃	15	X	
〃 40	〃	15	X	
〃 41	〃	16	X	

” 42	”	13	X	
” 43	”	13	X	
” 50	26/Ⅲ 1929	21	91	112
” 51	”	23	X	
” 53	”	27	X	
” 54	”	21	36	57
S. 60	17/Ⅲ 1929	15	X	
” 61	”	14	98	112
” 62	”	13	X	
” 63	”	15	X	
” 64	”	13	X	
” 65	”	19	X	
” 66	”	21	112	133
Nr. 131	2/Ⅴ 1929	32	129	161
” 132	”	18	X	
” 133	10/Ⅴ 1929	18	X	
” 134	”	19	X	
” 135	”	18	X	
” 136	29/Ⅴ 1929	19	X	
” 137	”	21	120	141
” 138	”			
Nr. 139	17/Ⅵ 1929	49	119	168
” 140	”	14	14	28
” 141	”	84	X	
Nr. 142	6/Ⅷ 1929	14	X	
” 143	”	21	X	
” 144	”	39	X	
” 145	”	21	182	203
” 146	”	14	49	63
” 147	”	14	70	84
” 148	9/Ⅸ 1929	19	72	91
” 149	”	8	X	
” 150	”	13	X	
Nr. 151	2/Ⅹ 1929	21	77	98
” 152	”	14	42	56
” 153	”	14	X	
” 154	23/Ⅹ 1929	12	107	119
” 155	”	12	X	
” 156	”	21	15	36
” 157	13/Ⅺ 1929	7	X	
” 158	”	7	X	
” 159	”	13	X	

表中 Xは摘出の爲め局所症候發現期間不明のもの

更に之を春夏秋冬の各季節に分ち，潜伏期，發現期間及び全經過日數を表示すれば第3表の如し。

第　3　表

期間＼四季	春	夏	秋	冬
潜伏期	18	30	14	17
局所症候發病期間	98	87	63	93
全經過	119	109	77	119

上表の示す所によれば潜伏期は秋は最も短く夏は最も長し。

全身症候

局所病竈は何等治療を加へずとも1ヶ月乃至2ヶ月の間に自然治癒を營み，全身に傳搬し種々の全身症候を呈す。

近隣の淋巴腺腫脹は背皮內接種に於ては殆んど每常著明なる鼠蹊腺腫脹を認め（拙著本誌9卷，2號），睪丸實質內接種に於ては該腺腫脹を臨床上認め得る場合は比較的尠し，稀には拇指頭大に著明に腫脹を來せる場合（Nr. 139）あり。膝膕腺は長期間バルリダを含有し，而かも腺移植を爲す時は殆んど100%陽性成績を擧げ得る事は Brown & Pearce 等によりて立證せられたる所なるも，臨床上觸知し得らるゝ場合は尠く，又觸知し得ても多くは小にして米粒大乃至小豆大なり，著者も熟達せざる間は多くは之を看過したるも，近來は注意深く觀察する時は往々明かに觸知し得べく，其の頻度は鼠蹊腺腫脹よりも多きが如き感あり，其の他遠隔せる淋巴腺は殆んど臨床上認むる事能はざりき。

非接種の睪丸卽ち左睪丸に屢々腫脹を來し，接種睪丸と同樣に種々なる症候及び經過をとるものあり，多くは感染後1乃至2ヶ月の間に本症を發するも，稀には接種後155日の長日月後現はるゝものあり（Nr. 138）。

皮膚。に來る變化としては屢々脫毛を見る，之は大腿（S. 11），臀部（Nr. 125）若くは全身（Nr. 134）に來り，2乃至3週後に極期に達し漸次毛髮發生す，又滲潤を伴ひ或は肉芽樣の形を有する皮疹を發し，或るものは紅疹樣に或るものは丘疹狀に時としては漸次增大し，遂には護謨腫狀となり雞卵大乃至鵞卵大に腫脹する事あり。

好發部位は臀部（Nr. 125），尾部（Nr. 145），四肢就中膝關節（Nr. 137），鼻梁（A. 35），頰部（A. 35），眼瞼部（S. 12）にして，時には爪溝部に滲潤を有する肉芽樣の肥厚を生ずる事あり（Nr. 125），之等の症候は普通發病後2乃至4ヶ月に現出するも，稀には異常に遲く感染後1ヶ年後を經て初めて發する例（Nr. 120）あり，又長期間觀察するに，以上の皮疹は自然治癒し更に又他部に生じ，又は同時に2乃至3ヶ所に發生することあり。

粘膜。には包皮，肛門，鼻粘膜，口唇，眼瞼，就中其の皮膚との移行部に比較的屢々輕き滲潤を有する糜爛又は丘疹狀の形を以て來り，時には耳粘膜に糜爛を生じ爲めに惡臭を有する汚物を多量に蓄積する事(Nr. 134, Nr. 140)あり，皮膚の變化と同じく多くは感染後2乃至4ヶ月後に發症す。

眼。に於て最も多きは角膜に於ける變化にして，輕きものは輕度のパンヌスを生じ，角膜周圍より發生し3乃至4日にして消失するものあり，中等度のものはパンヌス稍々多數發生し，之に輕度の角膜滲潤を伴ひ稀には水泡性角膜炎の如き觀を呈する事あるも，多くは中等度の白濁を來し角膜實質炎の症候を呈し，1乃至2ヶ月持續の後に消散するも，高度のものにありては溷濁は深く全角膜に及び，年余恐らくは生涯不治と思はるゝ場合あり，時々瞳孔不正にして明かに虹彩炎を併發せる場合(S. 4)，全眼球炎を發せる場合(A. 35)，稀には角膜の實質性炎症高度にして蓄膿(Nr. 138)を發せる場合あり。以上の眼症候は多くは感染後3乃至4ヶ月後に發生するも，稀には晩期即ち感染後308日にして發病せしもの(S. 60)あり，而して一度消散し復發病するが如き例(S. 60)あり，又一眼の場合又は兩眼共に犯さるゝ場合あり。

骨。に於ける變化はレントゲンの應用によりて，屢々比較的早期に發見することを得と(Brown & Pearce)云はるゝも，臨床上看過し易し，本實驗例に於ては，Nr. 120の如きは晩期即ち感染後約1ヶ年半後著明に右頰部に骨の肥厚に似たる變化と同時に該部の軟部にも護謨腫狀鶏卵大の腫瘤を來し，レントゲン寫眞によりて明かに上顎骨の瀰慢性肥厚を認め得たり。

中樞神經。に於ける症候としては感染後約3ヶ月にして兩眼に不斷の眼球振盪症を發し，擧動不安となれるもの(S. 53及びS. 54)，感染後1ヶ月半にして常に頭部を右側に曲げ左眼は稍々凸出せる例(S. 51)，又下半身麻痺を起し膀胱直腸の麻痺を供へる例(S. 8, S. 41, Nr. 127)あり，但し本例中S. 41は採血時跳躍し脊椎骨の脱臼を來せる爲め，即ち外傷に因せる事明かなりき，他の2例に於ては斯る外傷は認めざりしも，S. 41の如き例ありしを以て表中中樞神經系の障碍より此の3例は全然除外せり。

上述の皮膚，睪丸，粘膜，眼，骨及び中樞神經系等に於ける全身症候の陽否及び感染後發病迄の日數を表示すれば第4表の如し。

觀察期間中エーラミゾール注射を施せるものあり，驅黴療法後は全身症候治癒に趨き爾後症候を發せざるを常とす，故に加療せざるものとする時は全身症候發生率は表示よりも稍々多きものと認む可し。

但し本實驗に於ける驅黴療法は，觀察期の末期に於て他の研究に資せんが爲めに行ひしものなれば，本成績は實際上驅黴療法を施さゞるものと大差なきものと思考す。

第　4　表

家兎番號	皮膚 陽否	皮膚 感染後日數	睾丸 陽否	睾丸 感染後日數	粘膜 陽否	粘膜 感染後日數	眼 陽否	眼 感染後日數	骨 陽否	骨 感染後日數	中樞神經 陽否	中樞神經 感染後日數	觀察日數及び備考
S. 2	−	−	−		−		−		−		−		273
” 3	−	−	−		−		−		−		−		49
” 4	−	−	−		−		+	98	−		−		251 (睾丸摘出)
” 5	−		+	44	−		+	175	−		−		292 (”)
” 6	−		−		−		−		−		−		65
” 7	−		−		−		+	173	−		−		262
” 8	−		−		+	126	−		−		−		132 (”)
” 9	−		−		−		−		−		−		282
Nr. 160	−		−		−		+	85	−		−		274
” 161	−		−		−		+	92	−		−		274
” 163	−		+	50	−		−		−		−		99
” 164	−		+	43	−		−		−		−		95
” 165	−		−		−		−		−		−		267
S. 10	−		−		−		−		−		−		44 (”)
” 11	+	84	−		+	98	+	240	−		−		247
” 12	−		−		+	41	+	272	−		−		308 (”)
” 13	−		−		−		−		−		−		329
” 14	−		−		−		−		−		−		70
” 15	−		−		−		+	113	−		−		309
” 16	−		−		−		+	115	−		−		328 (”)
Nr. 120	+	418	−		−		+	134	+	470	−		519 (”)
Nr. 125	+	127	−		−		−		−		−		152 (”)
” 126	−		+	85	−		−		−		−		533 (”)
” 127	−		+	29	−		+	92	−		−		181
A. 35	+	50	+	50	−		+	57	−		−		73 (”)
S. 38	+	122	−		+	206	+	115	−		−		262 (”)
” 40	−		−		−		+	71	−		−		290 (”)
” 41	−		−		−		+	80	−		−		291 (”)
” 42	−		−		+	57	+	115	−		−		353 (”)
” 43	−		−		−		+	59	−		−		353 (”)
” 50	−		−		+	148 199	−		−		−		351 {148…包皮 199…肛門
” 51	−		−		−		−		−		+	44	66 (”)
” 53	−		−		−		+	78	−		+	113	135 (”)
” 54	−		−		−		+	71	−		+	71	72 (”) 64日目に角膜炎を發し一度治し,更に308發病
S. 60	−		−		+	176	+	64 308	−		−		358
” 61	−		+	64	−		−		−		−		358
” 62	−		+	57	+	176	+	225	−		−		279 (”)
” 63	−		−		−		+	64.	−		−		358 (”)
” 64	−		−		+	176 204	−		−		−		358 {176…包皮 204…鼻 (”)

”	65	−		+	57	+	127	+	204	−		−		359	（睪丸摘出）
”	66	−		+	50	−		−		−		−		340	（ ” ）
Nr.	131	−		−		−		−		−		−		348	
”	132	−		−		−		−		−		−		46	
”	133	−		−		−		+	281	−		−		358	（ ” ）
”	134	+	127	−		+	295	+	131	−		−		352	（ ” ）
”	135	−		−		−		+	270	−		−		340	（ ” ）
”	136	−		−		+	148	+	85	−		−		323	（ ” ）
”	137	+	86	−		+	134	+	106	−		−		358	
”	138	−		+	155	−		+	92	−		−		358	
”	139	−		+	57	−		+	190	−		−		276	
”	140	−		−		+	267	−		−		−		274	
”	141	−		+	99	−		+	85	−		−		246	（ ” ）
Nr.	142	−		+	50	−		+	141	−		−		358	（ ” ）
”	143	−		+	64	+	274	+	197	−		−		358	（ ” ）
”	144	−		+	85	−		−		−		−		358	（ ” ）
”	145	+	183	−		−		−		−		−		216	
”	146	−		−		−		−		−		−		358	
”	147	−		−		−		−		−		−		217	
Nr.	148	−		−		−		+	162	−		−		186	
”	149	−		−		−		−		−		−		34	
”	150	−		+	57	−		−		−		−		312	（ ” ）
”	151	−		−		+	57	+	183	−		−		344	
Nr.	152	−		−		−		+	57	−		−		344	
”	153	−		−		−		−		−		−		50	（ ” ）
”	154	−		+	22	−		−		−		−		316	
”	155	−		+	64	−		−		−		−		79	（ ” ）
”	156	−		−		−		−		−		−		61	
Nr.	157	−		+	71	+	99	−		−		−		111	
”	158	−		+	78	−		−		−		−		169	
”	159	−		+	64	−		−		−		−		124	

表中　−……陰　性　　＋……陽　性

更に四季別に各部に於ける症候の發現率，並に1ヶ年を通じての發現率を表示すれば第5表の如し。

第　5　表

季節＼各部	皮膚	睪丸	粘膜	眼	骨	中樞神經
春	16%	24%	40%	72%	0	12%
夏	11%	56%	22%	44%	0	0
秋	0	50%	17%	25%	0	0
冬	13%	21%	13%	40%	4%	0
1ヶ年を通じての100分率	11%	31%	24%	51%	1%	4%

第4表及び第5表を通覽するに，眼に於ける變化が最も多く51%を示し，睪丸に於けるものの之に次ぎ31%にして，以下粘膜の24%，皮膚の11%，中樞神經系の4%，骨の1%等順次低下するを見る。

又四季別に於ける各部の症候の，感染後發病迄の日數並びに1年を通じての發病迄の平均日數を表示すれば第6表の如し。

第　6　表

季節＼各部	皮膚	睪丸	粘膜	眼	骨	中樞神經
春	96	72	165	130	—	76
夏	183	71	270	153	—	—
秋	—	59	78	134	—	—
冬	201	50	88	144	470	—
1ヶ年間の平均日數	155	63	153	133	470	76

第3項　睪丸實質內接種を施し局所の發病後之を摘出せるもの

本實驗は33例にして(第1表B)，右睪丸接種後確實に感染を認めたる後，即ち局所を穿刺しパルリダを證明し且つ多くは血淸反應陽性となりたることを確認したる後，直に罹病睪丸若くは同時に他側の睪丸をも摘出せる後其の局所々見，全身症候及び血淸反應との關係を觀察せり，血淸反應に關する方面は後項に讓る。

摘出後の局所は癒合して治癒するものあれども，又摘出後早きは3乃至4日晩きは50日平均2乃至3週間を經過して黴毒の病竈を生じ，該部の刺戟血淸中にはパルリダを證明し得る場合あり，即ち實驗33例中摘出後確實に其の局所に黴毒性變化を生じパルリダを證明せるもの8例(24%)を算す。

摘出後の全身症候發現率は，摘出せざるものに比して各部に2倍强の陽性成績を擧げ，明かに摘出せるものは其の發現率多きを認めたり。

摘出例及び非摘出例に於ける全身症候發現率を比較するに第7表の如し。

第　7　表

	各部	皮膚	睪丸	粘膜	眼	骨	中樞神經
否摘出36例	陽性數	3	11	5	13	0	1
	百分率	8%	31%	14%	36%	0	3%
摘出例33例	陽性數	5	11	12	23	1	2
	百分率	15%	33%	36%	70%	3%	7%

上表に於て實驗例33例中兩側摘出のもの10例，1側摘出のもの23例なるを以て(第1表B)

睪丸に於ける轉位は23例中11例即ち約半數に於て認められたるものとす。

第 4 項　腹腔內接種によるもの

實驗例は 3 例なりしも 1 例は接種の翌日死亡せるを以て之を除き，他の 2 例に就き觀察せるに（第 1 表 C)，1 例 (S. 29) は接種後52日目に右陰囊に小指頭大の滲潤を有する硬結を生じ該部にパルリダを認めたり，爾後該硬結は丘疹狀となり遂に潰瘍を形成し黴毒性初期硬結の如き形を呈せり，而して接種後 120 日目に漸次衰弱して斃死せり，此の間他部に病竈を臨床上認むる能はざりき。

他の例 (S. 30) は接種後27日目に兩側睪丸に一樣に拇指頭大の實質性腫脹を來し，該部の穿刺液中にパルリダを證明し得たり，接種後 2 ヶ月（發病後34日目）を經て包皮の前端及び鼻梁の兩側に黴毒性丘疹を生じ，3 ヶ月後には輕度の角膜炎を發し，4 ヶ月後に左鼠蹊腺に著明に觸知し得る拇指頭大の腺腫を認めたり，該腺よりの穿刺液中には顯微鏡的にパルリダを認め得ず，又之を他の健康家兎の睪丸實質內に接種せるも感染不能なりき。

第 5 項　靜脈內接種によるもの

實驗例（第 1 表 D）を通覽するに，接種後約50日を經て各例共に黴毒性睪丸炎を發し，其の後角膜實質炎及び脫毛等を起せり，S. 33 に於て接種後15日目の早期に肛門に輕度の糜爛を生ぜるも該部にはパルリダを證明し得ず，此の前後に於ては血淸反應も陰性なりしを以て該變化は黴毒性のものにあらずと思考す。

第 6 項　前房內接種によるもの

實驗例 3 例中 1 例は接種後 7 日目に斃死せるを以て之を除き，他の 2 例（第 1 表 E）を觀察するに何れも接種後 4 乃至 5 日間は輕度の炎症即ち角膜又は前房の輕き白濁を生ぜるを見たるも，1 週後には略々消失し（1 例は輕き白濁を殘せり)，約 2 週間の潛伏期を經て角膜にパンヌスの形成角膜の溷濁腫脹を來し，之等の症候は益々增加し全角膜炎を起し，共に虹彩炎を發起し何れも 2 ヶ月の經過後治癒せり，其の後 1 例 (S. 36) に於ては脫毛他眼の角膜炎を起して全觀察期間 379 日以內には治癒せず，他の 1 例 (S. 37) に於ても同樣に，後期に至りて他側の角膜炎を發起し，右側に於て一旦治癒し，後再び（接種後 384 日目）角膜實質炎を起したり。

第 7 項　硬腦膜下に接種せるもの

實驗例 3 例中（第 1 表 F)，第 1 例 (S. 74) は全觀察期間95日間に於ては臨床的症候を認め得ず，但し接種後57日目より 2 週間血淸反應陽性を示せるが故に感染は確實なるものと想像するに難らず。

第 2 例 (S. 75) 68日間の觀察に於て接種後53日目に右睾膜充血，次で高度の角膜實質炎を發起し，更に虹彩炎をも起せり，本例は接種後68日目に實驗家兎黴毒の病理組織的研究に從事せらるゝ本學の病理學教室青木氏に提供せり。

第3例 (S. 76) は97日間の觀察に於て，接種後50日目に右側睪丸に中等度の即ち拇指頭大の實質性腫脹を來し，接種後約2ヶ月を經て右角膜實質炎を發し益々高度となり，全角膜に深き溷濁を生じ右睫膜の膨隆を來せり。

第8項　腦實質內接種によるもの

實驗3例中 (第1表G) 第1例は接種後第3日に死亡せるを以て之を除き，他の2例に就き觀察せるに，第2例 (S. 77) は接種後50日目に兩側睪丸に輕度の腫脹を見るも，176日間の觀察に於て他に臨床的症候を認めざりき。

第3例 (S. 78) は接種後53日目に左眼に高度の角膜實質炎を見，67日目に兩側睪丸の腫脹を認めたり。

第9項　脾臟內接種によるもの

實驗例2例中 (第1表H) 第1例 (S. 80) は接種後3週間目より漸次全身衰弱を來し，40日目に兩側睪丸の瀰慢性腫脹を發し，接種後47日目に衰弱の爲め死亡せり，該屍体は前記病理學教室青木氏に提供せり，睪丸の穿刺液よりパルリダを證明す。

第2例 (S. 81) は189日間の觀察に於て，接種後109日目に包皮前端に小豆大の硬結及び肛門周圍に滲潤を有する糜爛を見る，肛門部のものは漸次增大して丘疹狀となり，該部には小數のパルリダを證明し得たり。

第10項　血清反應と實驗的家兎黴毒との關係

A. 睪丸實質內接種を施せるもの

實驗例36例 (第1表A) に於て觀察するに，血清反應は略々局所病竈の發現期間に平行して其の消長を共にす，而して其の陽性反應の持續日數は一般に局所病竈の發現期間よりも長し，ある一部分即ち全試驗動物の約$\frac{1}{3}$ (36例中13頭) に於ては局所病竈發現期間より短し，斯る例證は概して局所病竈の治癒期遷延して睪丸萎縮し索狀に觸知し得る期間長きものなり，又1例 S. 15 の如きは局所病竈激烈にして壞死に陷り，極めて長期間即ち290日も持續したるに拘はらず血清反應はワ氏反應に於て2ヶ月，村田氏反應に於て3ヶ月陽性を保持せるのみなりき，又局所症候の極めて輕微なるものに於ては血清反應現はれざるものあり。又現はるゝも極めて微弱なるを常とす (Nr. 138, Nr. 146, Nr. 147, Nr. 164)，此の場合に村田氏反應の方ワ氏反應より每常銳敏なり，Nr. 145 の如きは8月6日盛夏の候に接種せるものにして，接種後21日間の潛伏期を以て發病し，右睪丸は極めて輕度の腫脹を呈せるのみにして此の間血清反應は陰性なりしに，10月初旬に至りて俄然腫脹增大し，血清反應も陽性となり，爾後局所症候に順應して陽性を示せり。

全身症候中睪丸に變化を來せしものは血清反應陽性を呈するも (Nr. 138, Nr. 164)，其他の全身症候 (角膜實質炎，肛門及び包皮の黴毒性丘疹等) を發起せる場合に於ては概して血

第 8 表

家兎番號	血清反應陽性期間 ヴ氏反應	血清反應陽性期間 村田氏反應	局所症候發現期間	局所病症	備考
S. 2	99	92	78	⧻	
〃 3	29+X	29+X	29+X	⧻	
〃 6	—	35	—	—	
〃 7	85	92	85	++	
〃 9	15	15	41	⧻	
Nr. 160	67	97	85	⧻	
〃 161	36	92	105	⧻	
〃 163	50	50	83+X	⧻	
〃 164	—	—	22	+	再接種により LH ⧻ となり血清反應之に順應す
〃 165	78	100	99	⧻	
S. 11	50	43	75	+	
〃 13	43	43	52	⧻	
〃 14	35	35	40	⧻	
〃 15	57	185	290	⧻	
Nr. 127	99	141	87	++	
S. 50	78	99	91	⧻	
〃 54	29	29	36	+	
〃 61	71	86	98	⧻	
〃 66	71	141	112	⧻	
Nr. 131	64	64	161	⧻	
〃 132	22+X	22+X	25+X	⧻	
〃 137	57	99	120	+	
〃 138	1	1	3	±	感染後155日にして LH. ++ 血清反應も陽性となる
〃 139	148	148	119	⧻	
〃 140	8	29	14	+	
〃 145	71	78	184	⧻	
Nr. 146	—	—	49	+	
〃 147	—	—	70	±	
〃 148	50	99	72	⧻	
〃 151	50	71	77	⧻	
〃 152	99	106	42	++	
〃 154	78	113	107	⧻	
〃 156	29	43	15	+	
〃 157	71+X	92+X	105+X	⧻	RH St. dec. に LH ⧻ となりし事が血清反應に關係を及ぼせるが如し
〃 158	148+X	155+X	163+X	⧻	同 上
〃 159	87	106+X	114+X	⧻	
計	1705	2126	2429		
1頭平均日數	61	79	78		

清反應現はれず，但しNr. 120の場合を觀察するに，接種後418日後に右顴骨部に雞卵大の護謨腫狀の腫瘤を生じ，骨にも肥厚を認めたる例に於て本症候に略々一致して村田氏反應弱陽性を呈せり。

血清反應中ワ氏反應と村田氏反應とを比較するに，概して村田氏反應の方早く現はれ且つ其陽性期間長し，尤も例外として實驗例36例中2例（6%）に於ては村田氏反應の陽性期間短きものを認めたり(S. 2, S. 11)，但し其長しと云ふも多くは1週間位にして，稀には其2倍或は3倍に達せるものあり（S. 66, Nr. 140)。

血清反應陽性期間，局所症候陽性期間及び局所病竈の程度を表示すれば第8表の如し。

B．睪丸實質內接種を施し局所の發病後之を摘出せるもの

摘出時に當り必ず血清反應を檢し，其の後隔日に2週間採血檢血し爾後は1週1回づゝ規則的に行ひたり，本實驗例33例（第1表B）を通覽するに次の如し。

1．摘出時血清反應陰性のもの

之に屬するものは摘出當時局所病竈の輕きものにして次の如く區別する事を得。

（イ）摘出後血清反應依然として陰性なりしもの（Nr. 135, Nr. 143)。

（ロ）摘出後血清反性陽性となりたるもの（Nr. 125, Nr. 133, Nr. 134, Nr. 136, Nr. 150, Nr. 155, S. 8, A. 35）あるも多くは程度弱くして持續日數短し。

2．摘出時血清反應陽性のもの

（イ）摘出時强陽性（卌）を示すものは摘出後反應程度減弱するを見たり（Nr. 120, Nr. 126, S. 10, S. 40)。

（ロ）摘出時中等度陽性（卄）を示せるものは摘出後陰性（－）若くは弱陽性（＋）となり（S. 5, S. 41, S. 65, Nr. 141)，或は强陽性（卌）となるもの（S. 12）あり，但しS. 12の如きも檢査成績を詳細に觀察する時は（第1表B）摘出後3日目に一度反應程度輕減したり，又S. 51は摘出後1週間以內に於て强陽性なりしも，2週間以內に於ては中等度陽性となり，摘出後の陽性期間は極めて短く18日間を算せり。

（ハ）摘出時弱陽性（＋）のものに於て摘出後陰性となりたるもの（S. 4, S. 62)，及び摘出後弱陽性を持續するもの若くは中等度陽性となりたる例（Nr. 144, Nr. 153）あり，但しNr. 144は陽性期間極めて短く僅に21日に過ぎず，Nr. 153は觀察期間50日の短期間にして是亦充分なる觀察を遂げ得ざりき。

要するに血清反應は一般に摘出によりて著しく其の程度減弱す，今實驗例に於ける摘出前の反應持續日數，摘出時の反應程度，摘出後1週間目の反應程度，摘出後の反應持續日數，全反應持續日數，摘出時の局所症候程度等を表示すれば第9表の如し。

第 9 表

家兎番號	摘出前の反應日數		摘出時の反應度		摘出後1週間目の反應程度		摘出後の反應持續日數		反應の全持續日數		摘出時の局所症候
	W. R.	Mu. R.	W. R.	Mu. R.	W. R.	Mu. R.	W. R.	Mu. R.	W. R.	Mu. R.	++
S. 4	1	0	+	−	−	−	4	0	5	0	++ b
" 5	5	19	++	+++	+	++	23	23	28	42	++ b
" 8	0	1	−	+	+	+	35	35	35	36	++ b
Nr. 120	7	1	+++	++	++	+	91	70	98	71	+++ b
S. 10	2	2	+++	+	+	+	13	13	15	15	+++ b
" 12	7	1	++	+	+++	+	70	70	77	71	+++ b
" 16	3	3	+++	++	++	+	38	49	41	52	++ r
Nr. 125	0	0	−	−	+	−	49	0	49	0	++ b
" 126	34	34	+++	++	+++	++	57	64	91	98	++ b
A. 35	0	0	−	−	++	+	14	49	14	49	+ r
S. 38	7	7	++	++	−	−	6	6	13	13	+++ b
" 40	5	5	+++	++	++	++	42	70	47	75	+++ r
" 41	7	1	++	++	±	+	42	35	49	36	+ b
" 42	2	2	+++	+	++	+	15	15	17	17	++ r
" 43	7	9	+++	+	+	+	53	105	60	114	++ b
" 51	10	10	++	+	++	+	18	18	28	28	++ l
" 53	10	10	+++	+	++	+	25	25	35	35	++ r
" 60	2	2	+++	+	+	+	13	160	15	162	++ r
" 62	2	2	+	+	−	−	8	8	10	10	+ r
" 63	2	2	+++	++	−	−	6	6	8	8	++ r
" 64	2	2	+++	++	+	+	12	19	14	21	++ r
" 65	8	8	++	+	+	+	69	97	77	105	+++ r
Nr. 133	0	0	−	−	+	+	49	49	49	49	++ r
" 134	0	0	−	−	+	+	49	70	49	70	+ r
" 135	0	0	−	−	−	−	0	0	0	0	+ r
Nr. 136	0	0	−	−	+	+	42	49	42	49	++ r
" 141	2	36	++	++	+	++	104	118	106	154	+++ r
" 142	29	29	+++	++	+++	++	34	83	63	99	+++ r
" 143	0	6	−	+	−	−	1	1	1	7	++ r
" 144	7	7	+	+	+	−	14	7	21	14	++ r
" 150	0	0	−	−	++	++	77	84	77	84	++ r
" 153	0	0	+	+	++	++	28+X	28+X	28+X	28+X	+++ r
" 155	0	0	−	−	++	++	21	21	21	21	+ r
計	161	197					1904	1419	1255	1605	
1頭の平均日數	5	6					34	44	39	50	

C. 腹腔內接種によるもの

實驗例は皆接種後2ヶ月を經て睪丸炎を發起するに至りて初めて血淸反應陽性となり，爾後血淸反應は局所症候に順應する事睪丸實質內注射によるものと所見を一にす。

D. 靜脈內接種によるもの

前者と同樣に，接種後約2ヶ月を經て睪丸炎を起すに至りて初めて血淸反應陽性となり，爾後は睪丸實質內注射を施せしものと同樣の經過を取る。

E. 前房內接種によるもの

接種後7乃至8週間を經て角膜實質炎の極期に達す，此の時期に一致して血淸反應陽性となり其の持續期間約100日なり，村田氏反應はワ氏反應に比して約2乃至3週間長し。

第1例 (S. 36) は全經過中，右大腿部の脫毛及び左角膜實質炎等の全身症候を現出せるも睪丸炎の發起を認むる事能はざりき，右眼の接種局部の病竈は接種後36日目に高度に達せり，此の時期と略々同時に血淸反應陽性となり約4ヶ間持續せり，然るに角膜炎は約2ヶ月持續し其の治癒後は無症候となりたるを以て，血淸反應は之よりも尙2ヶ月間長く持續せるものなり。

第2例 (S. 37) も前者と略々同樣の狀態を呈せり，只本例に於ては全經過中兩側睪丸は一時稍々緊張度增加せるが如き感ありしも確實ならずして消散せり。

F. 硬腦膜下接種によるもの

第1例 (S. 74) は95日間の觀察に於て臨床的症候全く現はれず，接種後57日目に血淸反應中等度陽性を示し28日間持續したり。

第2例 (S. 75) は68日間の觀察に於て高度の角膜實質炎を發起せるも血淸反應は陰性に終りたり。

第3例 (S. 76) は97日間の觀察に於て接種後50日目に右睪丸腫脹を發起し同時に血淸反應陽性となり，爾後の經過は睪丸の變化に順應せる事睪丸實質內接種に於けるものに異ならず。

G. 腦實質內接種によるもの

實驗例は共に (第1表G) 接種後約2ヶ月を經て兩睪丸の輕度の炎症症候を發し，此の時期に一致して血淸反應陽性となり，爾後血淸反應は睪丸の變化と相平行する事睪丸實質內接種に於けるものに同じ。

村田氏反應の反應持續日數はワ氏反應の夫れよりも長し。

H. 脾臟內接種によるもの

第1例 (S. 80) は接種後40日目に兩側睪丸に於て中等度陽性となり同時に血淸反應明かに陽性となりたり。

第2例 (S. 81) は189日間の觀察に於て肛門及び包皮に黴毒性丘疹を見たるも，血淸反應

は常に陰性を示したり。

以上A. B. C. D. E. F. G. Hの場合を通覽するに，血清反應持續期間に於て村田氏反應の方ワ氏反應よりも長く，又村田氏の方反應早く現はれ晩く迄持續するか，或は同時に現はれ晩く迄持續するを普通とす，稀には村田氏反應の方持續期間短きものあるも之れは寧ろ例外に屬す。

第11項　リポイド蛋白注射と血清反應との關係

睾丸實質內に黴毒通過毒を接種後，局所症候並に血清反應陰性となりし後リポイド蛋白体オムナジンを靜脈內に注射を施す時は（第1表A S. 7, S. 9, S. 11等），注射後第1日乃至3日目に血清反應陽性となり，オムナジンの外，ヒリン，ガメラン及び牛乳等を用ひたれどもガメランは家兎に對して比較的毒性强く，牛乳にては注射後陽性に轉じ難く，ヒリンは最も鋭敏なる成績を得たれども，本實驗例中にはオムナジンの使用例の一部のみを記載せり，本問題は興味深厚なるものあり後日詳細に報告する所あらんと欲す。

第12項　再接種と血清反應との關係

實驗例を通覽するに次の如き場合に大別し得可し。

1．概して再接種による局所の陽性なる時は血清反應陽性にして，其の陰性なる時は血清反應も亦陰性なり，即ち再接種の局所病竈と其の消長を共にす（Nr. 133, Nr. 134, Nr. 135, Nr. 137, Nr. 161, Nr. 163, Nr. 164, Nr. 165, S. 7, S. 11, S. 13, S. 15 其の他）。

2．再接種の局所症候陰性にして血清反應陽性となるものあり，之を更に仔細に觀察するに次の2の場合を考定し得可し。

a）初回接種の局所病竈治癒し同時に血清反應陰性となりたる際，即ち初回の接種より相當日數を經過せる後再接種せるに，3日目に血清反應中等度の陽性を示し1週間位持續せるものあり（第1表D S. 34），本例は初回接種後124日目に再接種を行ひたり。

b）前者と同樣の場合に再接種を行ひて，一定日數（多くは3週間後）を經過せる後血清反應中等度陽性となり1週間以上持續せるもの（第1表S. 4, S. 9），本例は共に初回接種後62日目に再接種を行ひたり。

第4章　總括及び考按

本教室に保存せる黴毒病毒千株38代乃至53代の通過毒を以て283頭の家兎を用ひ，之等の動物の諸部に接種し長期間觀察せる（最短44日最長533日）臨床的症候及び血清反應の成績を總括して考察する事次の如し。

臨床的症候

A. 睪丸實質內接種によるもの

1. 潛　伏　期

1ヶ年を通じての潛伏期日數は約3週間なり，接種季節によりて異り，秋は13日，冬は17日，春は18日，夏は30日なり，即ち秋冬は最も短かく春之に次ぎ，夏は最長にして夏は秋冬の約2倍の日數を算す。

既に述べたるが如く，背皮內接種に於ては季節によりて潛伏期の差を認め得ざるに（病竈の强弱は偉大なる相異あり），睪丸實質內接種に於ては如斯大差ある所以は，前者に於ては既に述べたるが如く（本誌9卷2號）觀察に便にして微細なる變化を認識し得らるゝも，後者は輕微なる變化は之を認むる事不可能なるによるべし，即ち夏季に於てはパルリダの增殖緩徐なるが爲め，認識し得るに至る迄には時日を要するに因るものと認む，No. 140 の如きは6月中旬の初夏の候に注射せるに，接種15日目に極めて輕度の睪丸腫脹を認めしも忽ちにして消散し，7月—8月の盛夏の候には何等の變化を認め得ず血淸反應も陰性なりしも，9月下旬に至りて同睪丸に確實に中等度の腫脹を來し血淸反應も陽性となりし例の如きは，夏季にパルリダの發育の減弱を明にする事實を立證するに足るものなり。

斯の如くして夏季に於て潛伏期の遲延することは，パルリダ增殖の緩慢なるによる可き事は想像し得るも其の眞因に至りては果して奈邊に存するものなりやは興味ある問題なりとす。此の點を考慮するに，Weichrodt u. Johnel (1919) は睪丸に初期硬結を有する黴毒家兎を，体溫上昇の目的を以て1日2-3回30分間づゝ反覆して41°Cの孵卵器中に容れたるに初期硬結は3-4週間後に治癒し，パルリダは消失せることを報告し，Schamberg u. Ruhle (1926-1927), Franzier (1927), Wagner u. Breinl (1927) も亦之に類似の實驗成績を擧げ，山本 (1928) は試獸を實驗的に夏季に陰囊皮下若くは睪丸實質內に黴毒通過毒を接種したる當日より氷室內に飼育し，春秋冬に見るが如き硬結形成を認め，冬季は蒸氣發生汽罐室に接種直後より置きたるに著明なる硬結を見る事能はざりし事を立證し，夏季潛伏期の長きを氣溫の上昇に基因せしめたり，Brown & Pearce (1927) は種々なる光線狀態，即ち水銀アーク燈，散光光線及び遮光して暗室內に睪丸接種後の黴毒家兎を飼養して研究せるに，概して感染に對する反應作用は光線照射の强さ及び持續に關係する事を認めたり。著者も諸種の光線に對する黴毒家兎の關係を研究せるに，日光，紫外線，散光光線の照射する强弱が潛伏期の長短及び局所病竈の大さ並に全身傳搬の遲速，傳搬率等に至大の關係を及ぼす事を明確に立證し得たり，即ち夏季遮光して暗室內に黴毒病毒を接種せる家兎を持續的に放置する時は，對照動物に比して明かに早期に發病し，3月上旬の尙寒冷なる候日光若くは紫外線照射を病毒接種家兎に作用せしむる時は，局所病竈を形成せざるか若くは之を形成するも對照に比して其の程度輕微なるを認めたり（昭和

5年11月22日第5回日本衛生學會席上にて演述す），又一般に實驗的家兎黴毒に於ては，榮養發育佳良なる家兎は其の然らざるものに比し接種せる局所陽性率佳良にして，局所病竈も著明且つ潛伏期も短かきが如き感あり，概して試驗家兎は夏季に於ては食慾減退し榮養も衰ふる傾向あり，以上を綜合して考ふるに，夏季に於て潛伏期の長き原因を單に氣溫の上昇のみに基因せしむる能はずして，氣溫の上昇，光線の强弱及び榮養の良否等の諸因子が關係を及ぼすものと思考す。

2．局　所　症　候

接種後發せる局所症候は，其の經過の上よりは赤津の分類法に從ひて潛伏期，發展期（初期）極期及び退行期（消散期）に分ち，又病竈に於ける變化に關してはUhlenhuth u. Mulzerの分類法に從ひて陰囊の潰瘍，慢性睪丸炎及び睪丸被膜の肥厚に分つを便宜なりと思考す。

著者の實驗例に於ては，慢性睪丸炎の形を以て來るもの比較的多くして，之に屬するものは瀰慢性睪丸炎或は間質性睪丸炎及び限局性睪丸炎の狀態を呈す，前者の形をとるものは屢々陰囊の浮腫を伴ひ，間々睪丸は腹腔內にありて陰囊內に壓出し得ざるものあり，睪丸被膜の肥厚の形を以て來るものに於ては，限局性睪丸周圍炎又は瀰慢性睪丸周圍炎の狀態を呈し，屢々經過遲延し硬結は增大し陰囊と癒着し護謨腫狀を爲すことあり，陰囊の潰瘍を形成するものは定型的初期硬結に一致する形態及び經過をとる，以上大別せる3の形態は每回單獨に定型的に發現するものにあらずして，2っ或は3っのものが同時に併發する場合，又は相前後して發するが如き複雜なる症候を呈すること屢々あり，而して局所症候の發現期間は平均85日即ち約3ヶ月なり。

3．全　身　症　候

局所病竈は自然治癒し其の後に於て全身症候を發する狀況は全然人類黴毒に一致す。

全身症候中最も多きは眼に於ける病變にして全實驗例の51%を示し，之に次で睪丸の31%，粘膜の24%，皮膚の11%，中樞神經系の4%，骨の1%等の順位なり。

眼に於ける變化はNichols u. Reasonerは彼等の實驗例の70－75%に於て之を認め，Igerscheimerは10%に於て認めたりと云ふ，著者の實驗によれば，接種後眼に轉位症の發する迄の日數は最短57日，最長270日，再發例は308日にして，平均133日即ち約4ヶ月半なり，斯の如く長時日の後に發病するものなるを以て，觀察期間に比例して發病率も亦多かるべきを想像するに難からず，又轉位症として旣述の眼疾患が凡て黴毒性のものなりや否やは尙考慮すべき問題なり。

角膜及び前房內にパルリダを接種せるものに於て，該部に局所病竈發生後其の局所よりパルリダを證明する事は比較的容易なるも，如斯轉位症より證明する事は困難なり，但しBrown & Pearceは睪丸實質內接種後の眼に於ける轉位病竈よりパルリダを證明せる事を報告せり。

又著者は他の試驗に用ひたる家兎即ちヒリンを2ヶ月余注射し，爾後尚2ヶ月余持續して觀察せる20頭の家兎に於て，1例も眼に於て類似の變化を認めざりき，此等の點を綜合して考ふるに，既述の眼に於ける變化は黴毒病毒に因するものゝ如きも，凡ての場合に於て悉くパルリダの轉位に依りて發生せるものなりやは疑問なりとす，何となれば，睪丸，皮膚，粘膜等の轉位病竈よりは時期を撰ぶ時は多くはパルリダを證明し得べきも，眼の病竈よりは見出すこと困難なればなり。

皮膚に於ては鼻部及び尾部の如き比較的隆起せる部が好發部位なる事は他の研究家の謂ふ所と同樣なり，Uhlenhuth u. Grossmann は斯る隆起部に續發症の好發することは Hypophyse und des endokrinen System の影響が關與を有す可き事を推量せり。

骨に於ける變化は，接種より470日の長時日を經過したる後に右上顎部より顴骨部に亘りて彈力性硬度を有する凹凸不平の鶏卵大の腫瘤を觸知し，該部は漸次軟化し乾酪樣變性物を洩せり，上顎骨に骨の肥厚を觸知し，レントゲン寫眞によりて上顎骨の瀰慢性肥厚を證明せり，Brown & Pearce は特に骨の變化を注意して觀察し，視診及び觸診によりて實驗例の26%に於て比較的早期に發する病症なる事を報告せり，著者は實驗例の1%に於て而かも末期に於て認めたる著明なる例を見たり，初期に於てレントゲンの力を借らず，之を確認せんことは嚴密なる注意を要すべきものと思考す。

中樞神經。實驗例の4%に於て明に腦症を認めたり，其の他下半身麻痺して步行不能に陷り膀胱直腸の障碍を來せるもの4例ありしも，之は採血時に動物の恐怖の爲め突然跳躍して脊椎の脱臼及び脊髓外傷を惹起せるによるものなりしを以て，此の下半身麻痺に屬する例は全部統計表の神經中樞障碍中より除外せり，此所に中樞神經障碍の例として擧げし4%のものは，果して黴毒病毒に因するものなりや否やは組織中に直接若くは間接にパルリダを證明せざる上は斷言し能はざるも，既に Fontana u. Sangiorgi は陰囊接種を施せる家兎の腦實質中より塗抹標本を造りてパルリダを證明し，Plant u. Mulzer は斯る動物の腦を接種する事によりて多數のパルリダを有する特有の睪丸炎を發起せしめ，Uhlenhuth は腦より感染せしむる事は不能なりしも脊髓より感染せしめ得たり，但し確實なる組織的所見は認め得ざりき，然るに Steiner は屢々著明なる炎症症候，即ち軟腦膜及び脊髓被膜のみならず神經實質に於ても特に淋巴管の周圍に著明なるプラスマ細胞及び淋巴球の滲潤を認め，其の他 Biach, Jakob 等も同樣の炎症性滲潤を認めたり，之等の組織的變化が黴毒に特有なりや否やは著者の判斷に苦しむ所なれども，上記諸家の成績に徵すれば本實驗例も黴毒に因するものなりと認むるを以て妥當なりと信ず。

B. 睪丸實質內接種を施し局所の發病後之を摘出せるもの

1. 局所摘出後2乃至3週を經て約其の$\frac{1}{3}$に於て摘出跡に黴毒性滲潤を來し該部にパルリ

ダを證明せり，又他の$\frac{2}{3}$は第1期癒合を爲せり。

Hoffmann, Loehe u. Mulzer (1908) は家兎陰囊に黴毒病毒を接種せる後，腹部皮膚に於ける穿刺部に初期硬結發生せる例を報告し，Uhlenhuth u. Grossmann は全身黴毒を發起せる家兎の外見上健康なる皮膚に無菌的に亂切を加へたるに該部に黴毒性發疹を生ぜる例を公にし，又 Lesser (1918) は人間に於て同樣の所見，即ち黴毒患者が非黴毒疾患に罹りし際に該病竈部にパルリダを證明せる事，即 Herpesblaschen, Spitzen, Kondylomen 等を有する黴毒罹病婦人に於て上記病竈中にパルリダを證明し得たることを報告せり。如斯，黴毒に感染せる者に在りて他の健康部に機械的刺戟を加ふる時は該部に黴毒を誘發する傾向あるが如く，感染睪丸を摘出する時は該部に殘れるパルリダが增殖し易き狀態となりて摘出後其の跡に黴毒性滲潤を來す場合あるならんか。

2．全身症候發現率は摘出せるものは摘出せざるものに比して2倍强大にして，罹病睪丸若くは兩睪丸を摘出する事は全身感染率を著しく高からしむ。

Brown & Fearce も去勢せる家兎に於ては病毒の蔓延が確實なる傾向あることを認め，Pearce & von Allen (1926) は感染前家兎の甲狀腺を全摘出若くは部分的摘出も亦同樣の結果を示せることを報告せり，斯くして內分泌の作用を有する腺は實驗家兎黴毒の經過に意義を有する事を推定せしめたり。

著者の實驗は罹病睪丸摘出により病毒蔓延の著明に多き事を確實にせり，之1の限局せる病竈を摘出せる事が病毒蔓延を誘發せる一因となり，加之睪丸なる內分泌腺の摘出も亦其の重因をなし，此の兩者相關聯して斯の如き結果を招致せしものならんか。

C．腹腔內接種によるもの

4週乃至7週の潛伏期を以て睪丸若くは陰囊に黴毒性變化を生じ，爾後の症候は睪丸實質內接種に於けるものと同樣なり。

D．靜脈內接種によるもの

約2ヶ月の潛伏期を以て睪丸若くは陰囊に黴毒性變化を發し，爾後の症候は睪丸實質內接種に於けるものに等し。

Uhlenhuth u. Mulzer は，血管內接種を施すことによって全身黴毒を可及的規則的ならしむるには幼若家兎の撰擇を必要事と爲せり，著者の例は何れも家兎は成熟せるものなりしも全部規則的に感染を起せり，即ち接種材料が適當なる時は必ずしも幼若なることを要せず，成熟家兎に在りても100%規則的感染を爲さしめ得る事を立證せり。

E．前房內接種によるもの

約2週間の潛伏期を以て特有の角膜炎を發起し該部にパルリダを證明し得たり，全經過は約2ヶ月を要したり，全身症候としては何れも他眼の角膜實質炎を發起し，1例に於ては兩側

睪丸炎及び脱毛等を起せり。

先人の報告（Uhlenhuth u. Mulzer 等）を見るに，多くは4週乃至6週の潜伏期を有するが如し，又全身感染は極めて稀に來るものにして通常眼のみに止るものなりと解せらる，然れども著者の例に於ては皆全身感染を呈せり，長期間詳細に觀察を續くる時は多くの塲合に全身症候の發起を認め得べしと思考す。

F．中樞神經系に接種せるもの

硬腦膜下腔に接種せるものも腦實質内に接種せるものも，觀察期間中に於て皆其の接種局所の病竈症候を認め得ざりしも，全身症候（角膜實質炎若くは睪丸炎）は1例を除くの外全部に於て之を認めたり，臨床的に全身症候を認め得ざりし1例に於ても，接種後2ヶ月を經て明かに血清反應陽性を呈し3週間之を持續せり，是に由って病竈は體中の何れかの部分に於て醸成せられたることを推定し得べし。

從來の文献を閲するに，硬腦膜下若くは腦實質内接種に於ては極めて小數例に感染せしめ得たるに過ぎず，即ち Bertarelli は腦實質内接種に於て不成功に終はり，成功例は Uhlenhuth u. Mulzer, Plant u. Mulzer, Noguchi 等の報告あるも極めて少數の陽性成績を擧げ得たるに過ぎざるなり。

著者は100％に於て感染を成功し得て，決して先人の考へたるが如く困難なるものに非ざる事を立證せり。著者は之れより著者の用ひたるパルリダの菌株が所謂 Neurotrops なりや Dermatotrops なりやに關して考察を試みんとす。

抑も Neurotrops（以下Nと記す）Dermatotrops（以下Dと記す）の區別は Levaditi u. Marie (1913) が初めて唱導せる所にして，兩氏は兩型の區別點として潜伏期はNがDより長き事，家兎の皮膚に於ける病竈はNは Papulosquamöse たるにDは硬性下疳の形をとる事，Nは病毒の存在せる部の表皮に親和性を發揮するもDは明かに血管壁に滲潤性の變化を呈すること，Nは人間に對して皮膚疾患を徐々に發起せしめ又極めて徐々に自然治癒に傾く，再發は屢々非常に長期間の後に來るものにしてターベス，或はパラリーゼを起すもは，D腦黴毒，黴毒性腦膜炎又は護謨腫を形成す，Nは特にパラリーゼに認めらる。又兩型の何れかによりて一度感染し其の治癒後に於て更に他の異れる菌型を以て感染試驗を爲す場合には，過敏にして免疫關係が特異的なり等の諸點を擧げ得べし，Mulzer も此の兩型説に贊意を表し，Plant u. Mulzer (1922) はNは Liquor に變化を起すもDは然らずと爲し，Neuburger u. Terplan (1924) はNは特に腎臓を犯し易き事を説き，Plant u. Mulzer (1923) は又不完全なるサルヴルサン療法は驅黴療法前Nならざるものを N に轉化せしむと稱ふ，以上は兩型説を認むる者なるも他方に於ては之を否定する學者も亦尠からず，即ち Peracchia (1926) は諸所の母地より採取せるパルリダを實驗的に家兎に感染せしめたるに，臨床的症候に於ても又交叉免疫試驗に於ても

共に兩型を區別する事能はざりき，Bettaglia, Naegeli, Bergel 其の他の諸家も再型區別に就き的確なる成績を擧げ得ず，Kolle (1920) は Paralytikern より採取せるパルリダも常に定型的初期硬結を生ぜしめ得，確實なる免疫は同菌株の間にのみ常に成立するも異菌株間には成立せずして，何れの母地よりとりしものも此の關係は同樣なる事を報告せり。著者の用ひし菌株は人間の初期硬結より採取せるものにして，家兎の皮膚に對しては定型的初期硬結を生ぜしめ，潛伏期も比較的短かく，睪丸實質內接種後の神經系統の病變としては前述の如く多くは腦の黴毒就中腦腫瘍の存するが如き徵候が主なるものなり，之等の諸點より，當該菌株は Levaditi u. Marie 等主張する所のD種に一致す可きものなり，但し前述の中樞神經系の症候中，下半身並に膀胱，直腸の麻痺を來せるもの即ち Tabes の如き症候を呈せるもの4例ありたれども，本例中には明かに外傷に因するものあるを認めたるを以て統計中よりは全部之を除外せり，然れども其の全部が悉く外傷に因するものにあらずして一部は黴毒に因て發起せるものなることを想像し得可く（組織的檢索を缺けることを遺憾とす），若し此の事眞實ならば兩氏の再型說に抵觸するを免れざる可し。要之，著者の用ひし菌株を Levaditi u. Marie の所謂兩型に當嵌むれば最もDに近きも，又一面Nに類する點なきにあらず，而してDと云ひNと云ふも著者に於て深く知る所にあらざるも，以上の諸點を綜合して此の再型說に對して多少の疑念を懷くものなり。

血清反應

著者の採用せるワ氏反應及び村田氏反應を用ふる法は，パルリダの背皮內接種の場合に於ては既報の如く健康家兎の非特異性反應を殆んど呈する事なくして種々の實驗的家兎黴毒に應用し得可く，而して本法が血清反應に對して如何なる程度の意義を有するやを檢索せる結果次の如し。

A. 睪丸實質內接種を施せるもの

血清反應は局所病竈に略々平行す，概してワ氏反應發現期間は局所病竈發現期間よりも較々短く，村田氏反應は局所病竈發現期間と略々同一なり。

全身症候中睪丸並に陰囊の黴毒性變化は血清反應に影響を及ぼすも，其の他の病竈は概して血清反應に影響を及ぼさず。

B. 其他の部より接種を施せるもの

腹腔內，血管內，前房內，硬腦膜下，腦實質內及び脾臟內等に接種を施せるものは，全身症候としては大概接種後 1–2 ヶ月後に至りて睪丸若くは陰囊に黴毒性變化を發起し，血清反應は黴毒性病竈と略々其の消長を共にする事猶睪丸實質內接種によるものに於けるが如し。但し睪丸若くは陰囊に變化を起すことなく，血清反應の陽性を示すもの決して絕無にあらず，例へば前房內接種による S. 36 は角膜實質炎の外に何等臨床的症候發現せず，S. 74 は硬腦膜接種

後全く無症候なりしに拘らず何れも明に血清反應陽性となり，前者は約4ヶ月，後者は1ヶ月持續せるが如し，前房水のワ氏反應及び村田氏反應は常に陰性を示せり。前房水中のワ氏反應レアギンは血清中の夫れよりも極めて少量なることは明かなれども，此の點に關しては尙一歩を進めて研究せば蓋し興味津々たるものあらむ。

C．睪丸實質內接種を施し其局所の發病後之を摘出せるもの

接種後睪丸の腫脹を觸知し得る場合には概して血清反應も陽性となる，此の時に當り之を摘出するに其の翌日は多くは反應度減弱す，而して減弱の程度は一般に1週間目に於て最高度に達し，實驗例の約5分の1に於て陰性となり，斯くて減弱若くは陰性となりし儘經過するもの，減弱後更に漸時減弱し行くもの及び稀には陽性度の增强するものもあり。

血清反應の全持續日數はワ氏反應は39日，村田氏反應は50日にして，摘出せざるものに比するに約4割の短縮を示す，之に反し，全身傳搬率は摘出せるものは摘出せざるものに比して2倍以上大なることを示す，摘出及び否摘出のものに於て，其の血清反應，持續日數及び全身症候發生率の平均數を表示すれば第10表の如し。

第　10　表

	血清反應持續期間		全身症候發生率					
	W. R.	Mu. R.	皮膚	睪丸	粘膜	眼	骨	中樞神經
摘出せるもの	39	50	15%	33%	36%	70%	3%	7%
否摘出のもの	61	79	8%	31%	14%	36%	0	3%

此の結果より，全身症候は殆んど血清反應に關係なきも獨り睪丸の變化のみは血清反應と密接なる關係を有し，之と其の消長を共にすることは上述の如し。加之，全身症候として他側の睪丸若くは陰囊に黴毒性變化を來たす時は一度陰性となりし血清反應も再び陽性となることあり，然し睪丸黴毒も其の晩期に於て護謨腫狀硬結となり，又は睪丸實質若くは莢膜が萎縮して索狀となる時はワ氏反應は常に陰性なり，村田氏反應は斯かる時期に於て陽性となる事屢々あり，之等の事實より，吾人は睪丸若くは陰囊黴毒に於ける初期より極期に至る間の病竈は，血清反應が陽性となる爲めには頗る密接なる關係を有するものにして，畢竟ワ氏反應レアギンは該病竈より產出せらる可き事を想像し得べし。

D．接種局所病竈及び黴毒性睪丸變化と血清反應

接種局所病竈，即ち睪丸接種に於ては睪丸實質，睪丸莢膜及び陰囊に於ける局所病竈，又は背皮內接種に於ては其の局所の病竈，即ち初期硬結（拙著本誌第2號）の輕重，消長が血清反應の强弱，消長に相伴ひ，睪丸接種を行へるものは發病後之を摘出するに血清反應は減弱或は消失し著しく反應陽性期間短縮す，又初期疾患を缺けるもの又は甚だ微弱なるものは，縱令

後に至りて確實に黴毒性全身症候を發起すとも血清反應には影響を與へず，但し全身症候中陰囊若くは睪丸の黴毒性變化は血清反應を陽性ならしむ。然れども其の極期を過ぎて消散期より治癒期に入れる際，又は壞死に陷り滲潤の去りし後，或は睪丸莢膜の結節等が融合して護謨腫狀となれる時期に於ては血清反應は概して陰性を示す，之等の事實より，血清反應レアギンは初期硬結若くは陰囊及び睪丸に於ける黴毒性病竈の極期に於て該病竈より最も多量に產出せらるゝものなる事を想像し得。

極めて少數例に於ては，何等初期硬結又は陰囊及び睪丸に黴毒性變化を認めずして血清反應陽性を示し，而かも相當期間持續して陽性反應を呈せるもの，即ちS. 36及びS. 74の如きは，內臟か又は何かの部位に於て初期硬結若くは黴毒性變化をなせる睪丸に於けると同樣にレアギンを產出する病竈の存するもの潛在するにあらずや。

E. リポイド蛋白注射と血清反應

實驗的家兎黴毒に於て，接種局所の症候及び全身の臨床的症候並に血清反應も陰性となれるものに對してリポイド蛋白オムナジンの如きものを靜脈內に注射するに，注射後1乃至3日目位にして血清反應（ワ氏反應及び村田氏反應共に）を陽性に轉ぜしむること多し，但し健康家兎には1乃至2回の注射を以てしては決して陽性ならしむること無く，頻回反覆施行する時はワ氏反應をば陽性に轉ぜしむることあれども，村田氏反應は絕えて陽性となることなし，此の事實は，血清反應陰性黴毒の反應喚起法に應用し得可く頗る興味ある問題なるも，玆には單に此の事を豫報するに止め異日筆を改めて詳細に報告する所あらんとす。

F. 再接種と血清反應

概して再接種による局所病竈の陽否が血清反應の陽否と相順應する事は竹中の成績と同樣なるも，再接種による局所病竈は陰性なるに再接種後3日目に一時的に中等度陽性となり，次で1週間位持續して陰性となれるものあり，之は一時的に反應を喚起せる所謂1種の喚起反應なりと認む。

又再接種による局所症候は全然陰性なるに，再接種後約3週を經て血清反應陽性となり1週間以上持續するものあり，斯かる例證中1例即ちS. 9に於ては全身症候として右睪丸の腫脹を認めたり，即ち再接種に依りて其の局所には病竈を形成せずとも，他の何れかの部に感染の成立せる事を物語るものならんと思考す，此の事實は現時未だ一般に注視せられざるも，再接種試驗並に複雜なる關係を有する黴毒の免疫問題に關聯する所多く最も興味ある事項なりとす，尙本問題に就ては，前揭實驗例以外のものを加へて「實驗的家兎黴毒の重感染及び再感染に就て」なる題下に，其の大略を昭和5年4月3日大阪醫科大學に於ける第4回日本黴毒學會總會の席上に演述せり一言附記す。

G．ワ氏反應及び村田氏反應

兩者共に一長一短あるが故に併用するを可とすること，皮內接種の條に於て既報（拙著本誌2號）せるが如し。

第5章　結　　論

1．黴毒通過毒を以てせる實驗的家兎黴毒の臨床的症候は接種の部位によりて異れる局所症候を呈することは勿論なるも，全身症候としては如何なる部位より接種するも其の多數に於て睪丸若くは陰囊の黴毒性變化を發起し易し，其他の全身症候は睪丸實質內接種によるものと略々同樣なり。

2．睪丸實質內接種によるものは如何なる時期に於ても略々100％の陽性成績を示し，之が觀察には局所臨床上の經過に於ては潛伏期，初期，極期，消散期，又病竈の所見に在りては陰囊の潰瘍，慢性睪丸炎及び睪丸被膜の肥厚に分類するを便宜とす，局所症候發現期間は約2ヶ月半なり。

3．睪丸實質內接種によるものゝ潛伏期は平均秋は13日，冬は17日，春は18日，夏は30日にして，秋冬は最も短かく夏季に於て最長なり。

4．睪丸實質內接種によるものゝ身体諸部に於ける全身症候發生率は眼に於て51％，睪丸に31％，粘膜に24％，皮膚に11％，中樞神經に4％，骨に1％にして接種季節による差は不同なり，身体諸部に於ける接種後全身症候の發生するに至る迄の日數は睪丸に於て63日，中樞神經系は76日，眼は133日，粘膜は153日，皮膚は155日なり，骨に於ては著者は470日目に確實に變化を認めたれ共，Brown & Pearce の詳細なる觀察によれば比較的早期に發するが如きも之を臨床的に確認するは困難なり。

5．睪丸實質內接種を施し發病直後之を摘出するに，其の約$\frac{1}{3}$は摘出の跡に黴毒性滲潤を來し全身症候發生率は摘出せざるものに比して2倍强なり。

6．腹腔內，血管內，前房內，硬腦膜下腔，腦實質內及び脾臟內等に接種を行へるものは何れも感染可良にして，全身症候として睪丸若くは陰囊に黴毒性變化を發起するもの比較的多く，爾後の臨床的症候は睪丸實質內接種によるものと略々同樣なり。

7．一定の處置を加へたるワ氏反應及び村田氏反應は，略々非特異性反應を除去し得るを以て實驗的家兎黴毒に應じ得可し。

8．睪丸實質內接種を爲せる家兎の血淸反應は，接種局所の初期疾患と略々其の消長を共にす。

9．睪丸實質內接種を施し局所發病後之を摘出するものに於ては，血淸反應發現期間摘出せざるものに比し著しく短縮す（約4割）。

10. 睾丸實質以外の諸部に接種せるものは，概して全身症候として睾丸若くは陰囊の黴毒性變化を發起するに至りて初めて血清反應現はれ，爾後は睾丸の變化と其の消長を共にす，小數例に於ては全然睾丸若くは陰囊に變化存し又は全く無症候にして，而かも血清反應陽性を呈する場合あり

11. 睾丸若くは陰囊以外の全身症候，即ち角膜實質炎，脱毛，爪床炎，丘疹性滲潤，中樞神經系の障碍等に對しては多くの場合に於て血清反應に影響を及ぼすことなし。

12. 再接種が血清反應に及ぼす影響は概して再接種局所變化の陽否に相平行するも，往々接種局所の變化は陰性にして接種後 2–3 日目に一時的に反應を陽性に喚起せしむる場合，及び再接種後 3 週後に血清反應を陽性ならしめ睾丸等に變化を來すことを認め得る場合，又は全く臨床的には無症候なる場合あり。

13. リポイド蛋白は實驗家兎黴毒に於て屢々血清反應陰性黴毒を陽性に喚起せしむる事あり。

擱筆に當り終始御懇篤なる御指導と御校閲を賜はりたる緒方教授に對し深厚なる謝意を表す。

（本文の要旨は昭和 5 年11月15日第 8 回千葉醫學會總會の席上に於て演述せり）。

主　要　文　献

赤津; 日本微生物學會雜誌. 1921, 15卷. 205頁. **赤津**; 日本微生物學會雜誌. 1921, 15卷. 845頁. **安達**; 皮膚科紀要. 1925, 4卷. 393頁. 5卷. 11頁. **Broun & Pearce**; Journ. of exp. med. 1913, vol. 31, p. 769. **Broun & Pearce**; Journ. of exp. med. 1920, vol. 31. p. 731. **Broun & Pearce**; Journ. of exp. med. 1920, vol. 31. p. 729. **Broun & Pearce**; Journ. of exp. med. 1920, vol. 31. p. 475. **Broun & Pearce**; Journ. of exp. med. 1920, vol. 31. p. 749. **Broun & Pearce**; Journ. of exp. med. 1921, vol. 33. p. 495, 515. & 525. **Broun & Pearce**; Journ. of exp. med. 1926, vol. 43, p. 809. **Broun & Pearce**; Journ. of exp. med. 1927, vol. 45, p. 497. **Bertarelli**; Centralbl. f. Bakt. Orig. 1906, Bd. 41, S. 320. **Bertarelli u. Melli**; Centralbl. f. Bakt. Ref. 70, S. 187. **Chesney**; Journ. of exp. med. 1923, vol. 38, p. 697. **Chesney**; Journ. of exp. med. 1923, vol. 38. p. 627. **茅野**; 千葉醫學會雜誌. 1931. 2號 **Chesney & Kemp**; Journ. of exp. med. 1925, vol. 42. p. 457. **Faurnier u. Schwartz**; Deutsch. med. Wochenschr. 1927, S. 1134. **Franxier**; Arch. of dermat. & Syphil. vol. 14, p. 243. **Hoffmann, Loche u. Mulzer**; Deutsch. med. Wochenschr. Nr. 27, S. 1183. **本多**; 皮膚科紀要. 1928, 12卷. 621頁. **Hermanni**; Centralbl. f. Bakt. Ref. 1909, Bd. 47, S. 548. **Igerscheimer**; Grafe a. 1922, Bd. 109. **Kolle**; Deutsch. med. Wochenschr. 1926, S. 11. **Levaditi et Jamanouchi**; Handbuch d. pathogenen Mikroorganismen Legr. von Kolle u. Wasserman. 3 Aufl. **Levaditi et**

Marie; Handbuch d. pathogenen Mikroorganismen begr. von Kolle u. Wassermann. 3. Aufl. **Manteufer u. Worms;** Centralbl. f. Bakt. Orig. 1927, Bd. 102, S. 23. **Neisser;** Dermatol. Zeitschr. 1908, Bd. 15, S. 73. **Neisser;** Pathologie u. Therapie d. Syphilis 1911. **Nicols** & **Walker;** Journ. of exp. med. 1923, vol. 37, p. 525. **Parodi;** Centralbl. f. Bakt. Orig. 1907, Bd. 44, S. 428. **Plaut u. Mulzer;** München. med. Wochenschr. 1921, S. 833, u. S. 1211. **Plaut u. Mulzer;** München. med. Wochenschr. 1922, S. 496, u. S. 1779. **Plaut u. Mulzer;** München. med. Wochenschr. 1924, S. 9. **Pearce** & **von Allen;** Journ. of exp. med. 1926, vol. 43, p. 297. **Peracchia;** Archiv. f. Ps. 1926, Bd. 77. S. 494. **齋藤;** 十全會雜誌. 1929, 34卷. 1689頁. **Reasoner;** Journ. of exp. med. 1916. **Snessareff u. Finkerstein;** Zeitschr. f. d. ges. Neurol. u. Psychiatr. 1923, Bd. 84. S. 174. **Schamberg u. Ruhle;** Arch. of derm. & syphilology. 1926, vol. 14, p. 243. **Tiuffi;** Centralbl. f. Bakt. Orig. 1909, Bd. 52. S. 554, 555. 556, 557. **谷, 柿下, 齋藤;** 十全會雜誌. 1929, 33卷. 1319頁. **谷, 井上;** 十全會雜誌. 1929, 33卷. 467頁. **Uhlenhuth u. Malzer;** Beiträge zur experim. Pathologie u. Therapie der Syphilis mit besonderer Berücksichtigung der Impfyphilis der Kaninchen. 1913. **Uhlenhuth u. Grothmann;** Med. Klinik. 1926, Nr. 6, S. 217. **Weichrodt u. Johnel;** Deutsch. med. Wochenschr. 1919, Bd. 45, S. 483. **Wagner u. Breinl;** Arch. f. Derm. u. Syphil. 1927, Bd. 133, S. 434. **山本;** 皮膚科紀要. 1928, 12卷. 225頁. **Zinser, Hopkins** & **M. C. Burneey;** Journ. of exp. med. 1916. vol. 23, p. 329.

附　圖　說　明

第1圖　S. 61.
　　撮影日　10/VII 1929.
　　接種日　17/III 1929.　右睪丸實質內接種
　　接種後　85日
　　所　見　陰囊は左右共に睪丸と癒着し潰瘍を形成し壞死に陷り黑色の厚き痂皮を被る

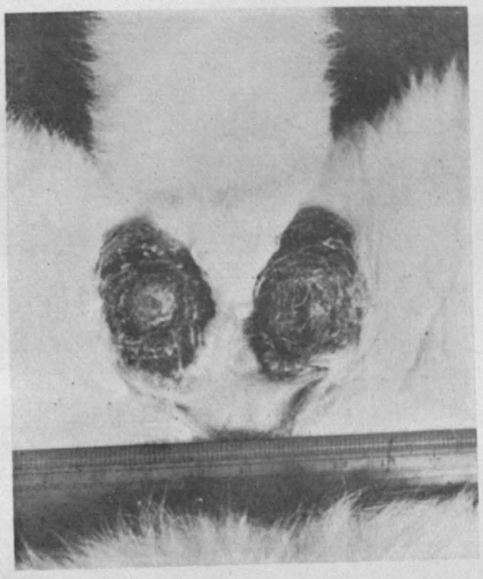
第2圖　A. 35.
　　撮影日　15/V 1929.
　　接種日　10/III 1929.　右睪丸實質內及び右背皮內接種
　　接種後　67日
　　所　見　兩側上下眼瞼部鳩卵大に腫脹し彈力性硬度を有し眼瞼緣は糜爛す，眼球不明なり，鼻梁の兩側に大豆大の丘疹狀の皮疹を生ず

第3圖　S. 30.
　　撮影日　2/V 1929.
　　接種日　21/II 1929.　腹腔內接種
　　接種後　71日
　　所　見　鼻梁上部の右側に大豆大の丘疹狀潰瘍

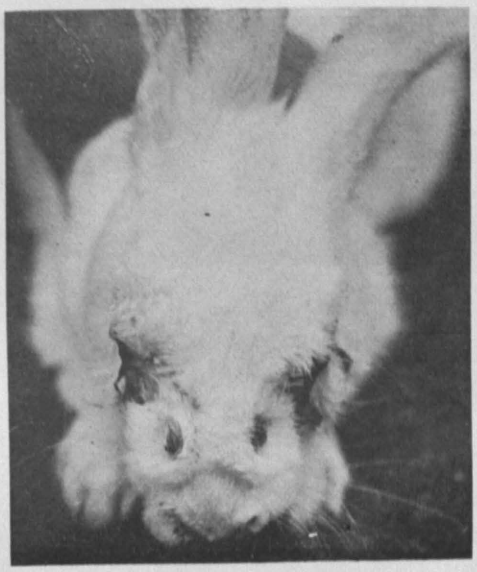
第4圖　S. 30.
　　撮影日　2/V 1929.

	接種日	21/Ⅱ 1929. 腹腔内接種
	接種後	71日
	所見	包皮に發せる丘疹様の潰瘍
第5圖	Nr. 120.	
	撮影日	10/Ⅲ 1930.
	接種日	10/Ⅰ 1929. 右睾丸實質内接種
	接種後	456日
	所見	右頰部に雞卵大の彈力性硬度を有する腫瘍を生じ表面は潰瘍を形成し黑色の薄き痂皮を被る
第6圖	Nr. 120.	
	撮影日	15/Ⅴ 1930.
	接種日	10/Ⅰ 1929. 右睾丸實質内接種
	接種後	491日
	所見	右頰部の腫脹大に減少し，大なる瘢痕を殘して略ぼ治癒せるも該部に骨の肥厚を觸知す
第7圖	Nr. 120.	
	撮影日	15/Ⅴ 1930.
	接種日	10/Ⅰ 1929. 右睾丸實質内接種
	接種日	491日
	所見	右上顎骨瀰慢性に肥厚す
第8圖	S. 8.	
	撮影日	8/Ⅴ 1929.
	接種日	10/Ⅰ 1929. 右睾丸實質内及び背皮内接種
	接種後	118日
	所見	下半身痲痺し，膀胱直腸痲痺す

第 1 圖



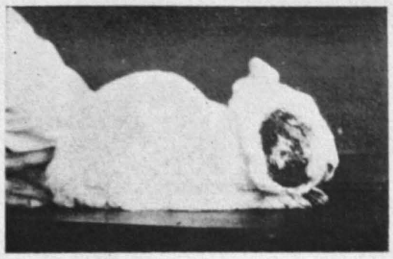
第 2 圖



第 3 圖

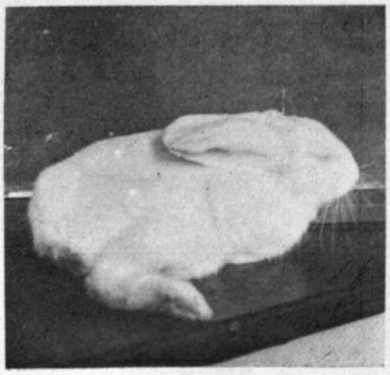
第 4 圖

第 5 圖



第 6 圖

第 8 圖



第 7 圖